

恵庭市 運動・スポーツ推進計画

～健康・スポーツ コミュニティ えにわ～

中間見直し

令和3年3月改訂

夢と健康を育むまち
恵庭市

目 次

第1章 計画策定の趣旨

I 計画策定の背景と趣旨	1
1 運動やスポーツを取り巻く状況.....	1
2 国や道の動向.....	4
3 「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」の制定.....	5
4 「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」の決議.....	5
II 計画の視点	7
III 計画の位置づけ	8
IV 計画の期間	9

第2章 計画の基本的な考え方

I 基本理念	10
II 基本方針	10
III 計画の体系	11

第3章 基本施策

I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進	12
1 子どもの運動やスポーツ活動の推進.....	12
2 高齢者の健康づくりの推進.....	13
3 気軽に参加できる多様な機会の充実.....	14
II 運動やスポーツ活動を支える環境づくり	17
1 地域の運動やスポーツ活動の充実.....	18
2 競技力の向上.....	19
III 運動やスポーツを楽しむ環境づくり	20
1 運動やスポーツに関する情報提供の充実.....	20
2 スポーツ施設及び関連施設の充実.....	21

第4章 計画の推進・進行管理

I 計画の推進	24
II 計画の進行管理	24

【資料】

○（資料1）基本施策のこれまでの取組と評価・課題、今後の方向性.....	29
○（資料2）恵庭市運動・スポーツ推進計画総合評価の推移（H28～R元年度）.....	53
○（資料3）恵庭市運動・スポーツ推進計画中間見直しに係るアンケート式..... （設問及び結果）	54
○（資料4）恵庭市スポーツ振興まちづくり条例.....	87
○（資料5）恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員名簿.....	91

第1章 計画策定の趣旨

I 計画策定の背景と趣旨

恵庭市は、平成23年に「恵庭市スポーツ振興基本計画」（以下「振興基本計画」という。）を策定し、市民一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じてスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会の実現」を目指し取り組んできました。

平成26年11月に「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」（以下「条例」という。）の制定及び「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」（以下「宣言」という。）の決議がなされたことにより、これらを踏まえてスポーツを通じた健康で活力あるまちづくりに取り組む必要があること、また国の「スポーツ基本計画」の中で「地方スポーツ推進計画」の策定が示されたことから平成28年度を初年度とする10ヵ年の計画となります「恵庭市運動・スポーツ推進計画」（以下「計画」という。）を策定いたしました。同じく平成28年度が初年度となる市の最上位計画「第5期恵庭市総合計画」との整合性を図るとともに、これまでの振興基本計画に健康寿命の延伸に向けた取り組みなどを融合し、さらに市の関係部署の計画との整合性も図りながら、条例及び宣言を踏まえた「スポーツによるまちづくり」に向けた基本理念、基本的な考え方とそれらを実現するための施策などを明らかにするものとして、策定したものです。

1 運動やスポーツを取り巻く状況

(1) 国内における社会情勢の変化と運動やスポーツとの関係

①生活環境の変化に伴う健康志向への対応

近年の生活環境の変化は、体力の低下や生活習慣病の増加をもたらすなど、私たちの健康に大きな影響を与えています。

誰もが健康で、明るく豊かな生活を望む中で、運動やスポーツを通じた健康・体力づくりに対する国民の意識やニーズが高まっており、こうしたことから国は「スポーツ基本計画」とともに「健康日本21（第2次）」を策定し、身体活動、運動及びスポーツを健康づくりの重要な取り組みとして、日常生活の中に取り入れられるよう推進しています。

活発な身体活動や適度な運動習慣は、生活習慣病の発症予防効果のほか、心の健康や生活の質、さらに近年ではロコモティブシンドローム^(注)への対策や認知機能の向上などにも良い影響を与えることが、明らかになってきています。

子どもから高齢者まで、「いつでも、どこでも」気軽に運動やスポーツに親しむことのできる環境整備は重要な課題であることから、誰もが取り組みやすく、楽しみながら健康を維持できる運動やスポーツの各種事業の展開が求められています。

(注) ロコモティブシンドローム：運動器症候群。略称はロコモ。筋肉や骨、関節などといった運動器のいずれか、または複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のことで、進行すると介護が必要になるリスクが高くなる。

②子どもの運動やスポーツ機会の充実

生活の利便化や活動場所の制限による身体活動機会の減少と、成人に限らず子どもにも生活習慣病の増加が著しい現代社会において、子どもが毎日の暮らしの中で運動やスポーツを通じて心身の育成や健康の増進を図り、いきいきと安心して過ごせる地域社会の実現が望まれています。

幼児期からのさまざまな運動やスポーツの体験は、心身の健やかな成長の後押しとなり、生涯にわたって豊かなスポーツライフを築くための基盤となります。また、今後ますますの高齢化に伴い、高齢者になっても介護に頼らずにすむよう、子どもの頃から運動能力を培っておくことが大切です。



しかし、近年は子どもの体力や運動能力の低下が社会問題となっており、その背景として学校・地域・家庭において、運動やスポーツに親しむ機会や場所の減少が指摘されています。

学校体育の重要性に加え、親子でスポーツにふれあい親しむことのできる地域のスポーツ環境の整備や、各種事業などへの参加機会の充実を図る必要があります。

③高齢化に応じた施策の展開

長寿社会の今日、いくつになってもアクティブな高齢期を過ごすための身体活動の取り組みと、健康的なライフスタイルへの関心が高まっています。このため、運動やスポーツの役割はますます大きくなっていくものと考えられ、運動やスポーツを通じた健康的な活動が、高齢化に対する意識を変えることにつながるものと期待されています。

今後は、「競技志向」や「楽しみ志向」のためのプログラムだけでなく、運動やスポーツへの取り組みが、地域活動へ参加するきっかけにもつなが

るような、身近な運動やスポーツの環境づくりが必要となります。

④地域社会における人と人とのつながり

核家族化や単身世帯の増加などのさまざまな社会情勢の変化に伴い、人間関係の希薄化が問題となってきています。人と接することなく買い物ができるようになった現代社会は便利になっ

た一方で、近所とのつながりは消えかけてきています。そうした中で、運動やスポーツは人と人とのつながりを生み出し、また楽しさなどを共有することができます。地域で運動やスポーツに何らかの形で参加することが、社会参加の場として新たな交流や連帯感を生み出すきっかけとなり、コミュニティづくりにつながることを期待されています。



(2) 「運動・スポーツに関するアンケート調査」から

市では計画の中間見直しの参考とするため、市民の運動やスポーツに関する考え方やニーズなどについてのアンケート調査を実施しました。アンケート調査では条例の趣旨を踏まえ、健康状態などに関する設問を設定しています。

※アンケート調査に関する内容については、資料3「恵庭市運動・スポーツ推進計画中間見直しに係るアンケート一式（設問及び結果）」に掲載しています。

■集計結果のポイント

- ① 自身を健康である・どちらかと言えば健康であると感じている人の割合が80.5%であるのに対し、体力に自信があると感じている人の割合は47.9%でした。

参照：「問2①あなたは現在、ご自身の健康状態をどう思われていますか？」
「問2②あなたは現在、ご自身の体力についてどう思われていますか？」

- ② 運動不足を感じている人の割合は77.0%でした。

参照：「問2③あなたは現在、運動不足を感じますか？」

- ③ 日頃から健康や体力維持のために心がけていることの回答のうち、「運動やスポーツをする」との回答数は全体の第7位、「できるだけ体を動かす」との回答数は全体の第9位でした。

参照：「問2④あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか？」

- ④ 運動やスポーツを行っている種目で一番多い回答は「ウォーキングや散歩など」となっており、次いで「ラジオ体操・ストレッチ体操など」「ランニング・ジョギング」となっています。また、利用場所の質問でも一番多い回答は「自宅」「公園」「道路・歩道」となっています。

参照：「問3 あなたは、学校の授業や職業として行ったものを除き、この1年間で行った健康のための運動やスポーツなどについて、あてはまるものを選んでください。」

「問5 ①あなたは、主にどこで運動やスポーツを行っていますか？」

- ⑤ 運動やスポーツを行っている人の活動頻度を見ると、週3日以上活動している人の割合が33.7%、週1～2回活動している人の割合が38.0%と高く、国の「第2期スポーツ基本計画」（週3回以上30%程度、週1回以上65%程度）や道の「第2期北海道スポーツ推進計画」（週1回以上65%以上）で設定している目標値を達成しています。

参照：「問4 ①あなたは、運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか？」

- ⑥ 1年間に何らかの運動やスポーツをした人の割合は、79.6%でした。また、何もしなかった人のうち、したくてもできなかった人の割合は13.4%でしたが、できなかった理由として一番多い回答は「仕事や家事の忙しさ」が最も多く、次いで「加齢により体力に自信がない」「積極的になれない」などの回答となっています。

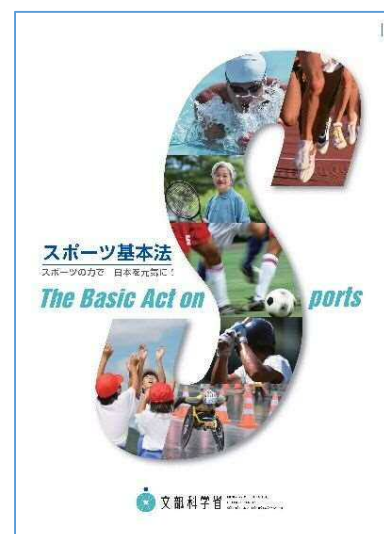
参照：「問7 ①あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか？」

「問7 ②あなたがしたくてもできなかったのは、どのような理由からですか？」

2 国や道の動向

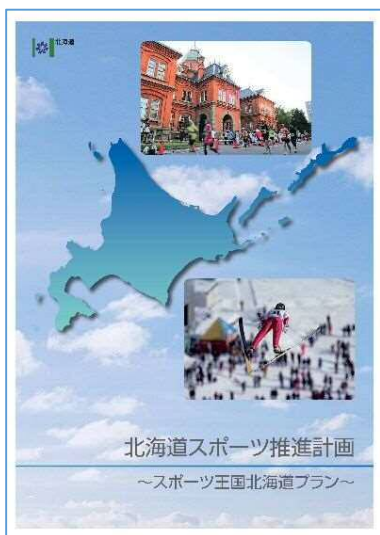
国では、平成22年に「人（する人、観る人、支える（育てる）人）の重視」「連携・協働」を基本的な考え方とする「スポーツ立国戦略」が策定され、翌年の平成23年8月には50年ぶりに「スポーツ振興法」が全面改正され「スポーツ基本法」が施行されました。

その前文には、スポーツは「世界共通の人類の文化である」「心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である」などと明記されているほか、国や地方自治体の責務、スポーツ団体の努力、国をはじめとした関係者の相互の連携・協働、また国において「スポーツ基本計画」を定め



ること、地方公共団体においてはその「スポーツ基本計画」を参酌して、地方の実情に即したスポーツ推進計画の策定に努めることなどが明記されています。

平成24年3月、「スポーツ基本法」の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として「スポーツ基本計画」が策定されました。



そして平成27年10月には、文部科学省の外局として「スポーツ庁」が設置され、従来取り組んできたスポーツの推進に加えて、スポーツを通じた健康の保持増進や地域社会の再生、2021年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催など、多数の府省に関連する施策が総合的に推進され、また、平成29年3月にスポーツ立国の実現をめざす上での重要な指針となる基本計画として「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。

北海道においては、国の「スポーツ基本法」の制定と「第2期スポーツ基本計画」を踏まえ、「第2期北海道スポーツ推進計画」を平成30年3月に策定しています。

3 「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」の制定

「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」は、恵庭市議会の全議員からなる「恵庭市議会スポーツ振興議員連盟」が議員提案し、平成26年11月28日に制定されました。

条例には、その前文にある「スポーツによる健康の維持及び増進」、「地域コミュニティづくりとそのための環境整備」、「世代等を超えたスポーツ振興及びスポーツを活かした活力あるまちづくり」という基本理念を謳うとともに、市民誰もが「夢を抱き、生涯を明るく健康に過ごすこと」を目指したスポーツを活かしたまちづくりの推進を目的に掲げ、市や議員の責務、市民やスポーツ関連団体、事業者の役割についても明記されています。

4 「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」の決議

条例の制定により、昭和60年に決議した「スポーツ都市宣言」は、「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」へと改められ、平成26年11月28日に決議されました。

「花、水、緑のまち」に住む私たち恵庭市民は、スポーツを愛し、楽しみ、親しみ、元気なまちにすることをめざすとともに、生涯にわたり健康で過ごすため、次の目標を掲げて、ここに「夢と健康を育むスポーツ都市」を宣言します。

1. すべての市民が生涯にわたりスポーツを楽しみ、スポーツに親しめる環境をつくり、健康でいきいきと暮らすためのたくましい心と身体を育みましょう。
1. すべての市民が、生涯にわたり進んでスポーツに参加（する・観る・応援する）し、人と人との和を大切にしたい思いや心と友情の輪を広げましょう。
1. すべての市民が、生涯にわたりスポーツを通じてこの美しい自然環境を感じ、子どもが健やかに育つ明るく豊かなまちづくりをすすめましょう。
1. すべての市民が生涯にわたりスポーツを愛し、争いのない平和な世界をめざしましょう。

II 計画の視点

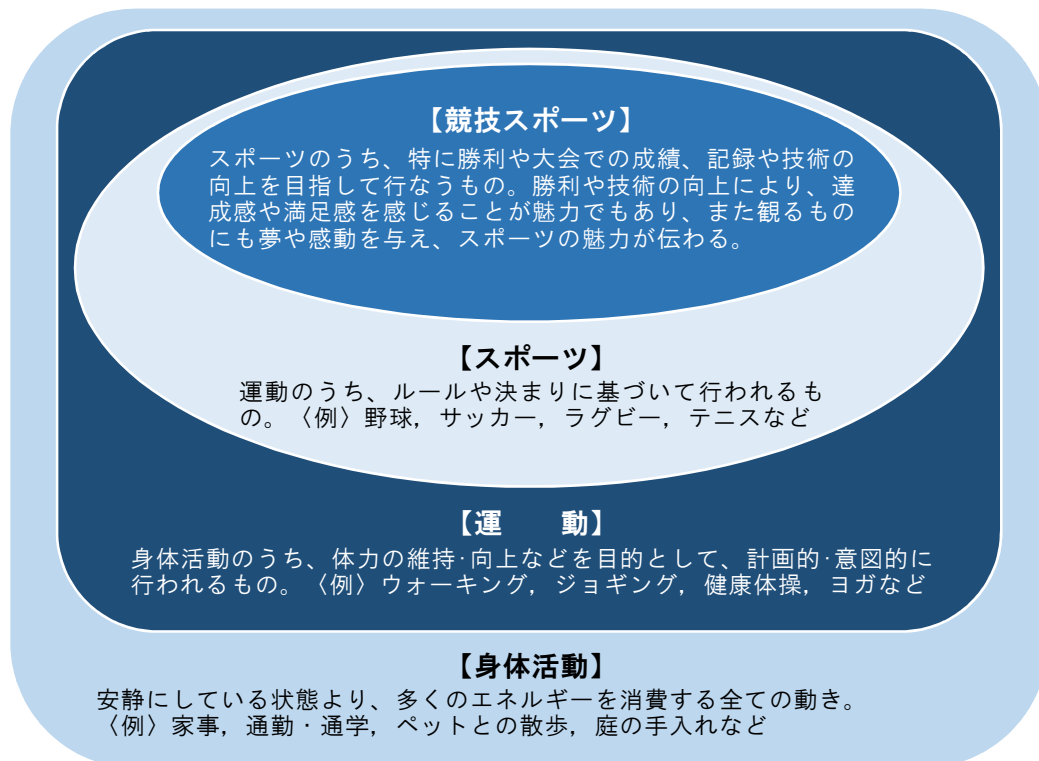
この計画では、これまでの「スポーツ」という言葉から、「運動やスポーツ」という幅の広い表現を使っています。

一般に「スポーツ」というと、ルールに基づき勝敗や記録を競う「競技スポーツ」と捉える人が多いのが現状のようですが、スポーツを多くの市民がより身近に感じ、「健康づくり」への意識を広げられるよう、スポーツの概念を広く捉えています。例えば、子どもの遊びや学校での体育、散歩や運動不足解消を目的に意識的に通勤手段を徒歩に替える、積極的に階段を利用する、毎朝必ずテレビの体操をするといったことなどもすべて含め、「運動やスポーツ」と表現することとしました。

また、介護予防や生活習慣病の改善などに関連した「運動の重要性」を共通の課題と捉え、異なる部署が相互連携を図り、市民の健康寿命の延伸に効果的な取り組みを推進します。「運動やスポーツ」は個人の健康で豊かな生活はもとより、コミュニティづくりや人と人をつなぐ機会を生み出し、豊かな人間関係の醸成にもつながります。

この計画では、「運動やスポーツ」を「する」「観る」「応援する」「支える」などの多様な活動を通じて、活力に満ちた恵庭のまちづくりを目指します。

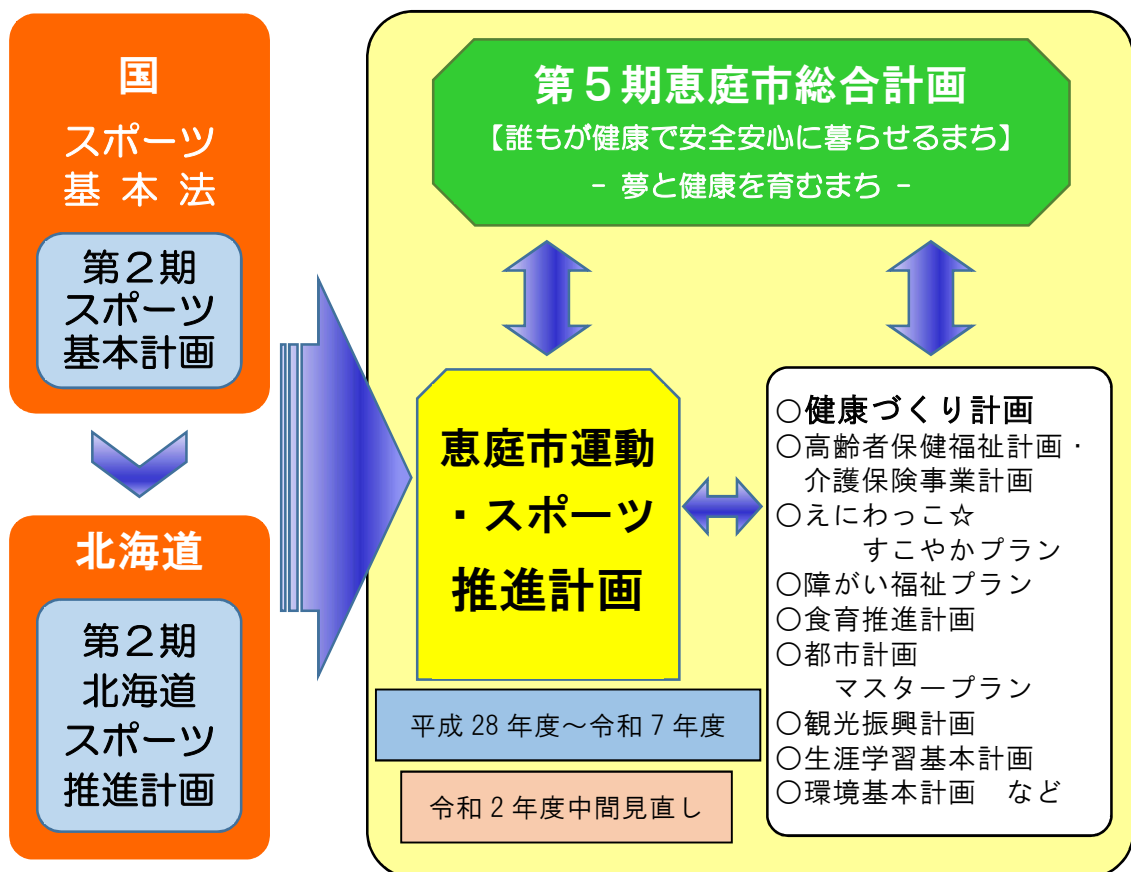
■ 身体活動・運動・スポーツ・競技スポーツの範囲 ■



Ⅲ 計画の位置づけ

本計画は、国において平成29年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」及び北海道において平成30年3月に策定された「第2期北海道スポーツ推進計画」を参酌し、「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」及び「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」を具現化し、その基本的な方向性を示すものです。

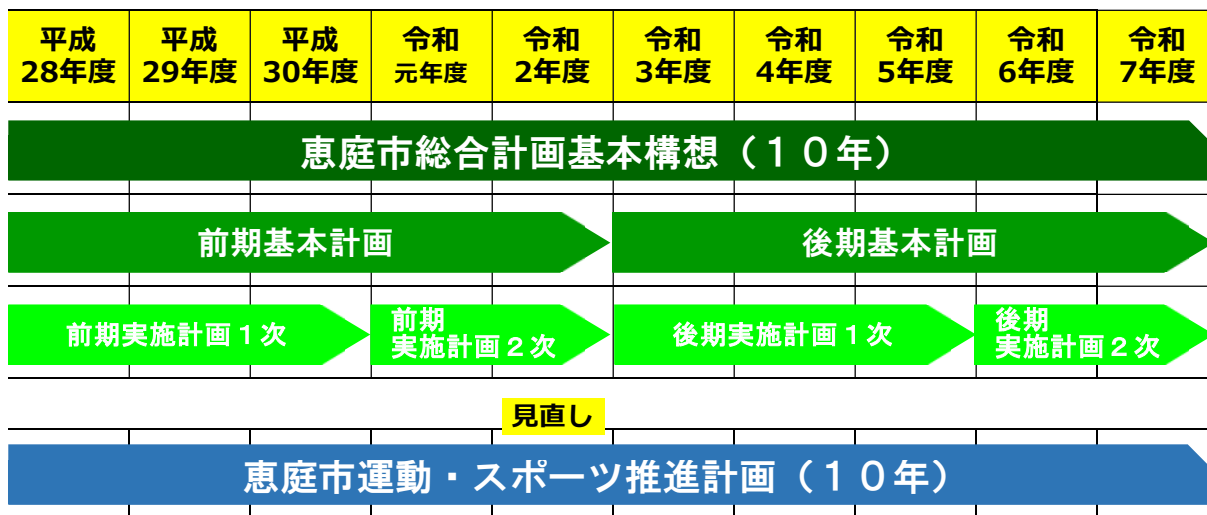
また、本計画は、第5期恵庭市総合計画の基本目標「Ⅱ. 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち」の個別計画として、総合計画並びに恵庭市健康づくり計画などに、他の関連する計画との整合性を図りながら推進するものです。



IV 計画の期間

計画期間は、平成28年度～令和7年度までの10年間とします。

なお、計画期間の中間年度（令和2年度）に、計画の見直しを行いました。



第2章 計画の基本的な考え方

I 基本理念

本計画が目指す理念は、次のとおりです。

夢と健康を育むまち
～ 健康・スポーツコミュニティ えにわ ～

本計画は、市民が生涯にわたって健康で元気に暮らせる「夢と健康を育むスポーツ都市」実現のため、「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」に基づき、誰もが気軽に運動やスポーツに親しむことができる環境を整え、健康に対する意識の向上、世代を超えたスポーツの振興及び健康の保持増進を図り、運動やスポーツを活かした活力ある地域コミュニティづくりを目指すために定められたもので、後期計画期間もこの理念を継承します。

II 基本方針

本計画を実現するため、前期5か年の検証結果（課題・今後の方向性）を十分に考慮しながら、以下の3つの基本方針をもって、施策の推進を図ります。

I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進

II 運動やスポーツ活動を支える環境づくり

III 運動やスポーツを楽しむ環境づくり

Ⅲ 計画の体系

I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進

1 子どもの運動やスポーツ活動の推進

- (1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり
- (2) 子どもの体力向上

2 高齢者の健康づくりの推進

- (1) 運動やスポーツへのきっかけづくり
- (2) 高齢者の健康づくり

3 気軽に参加できる多様な機会の充実

- (1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり
- (2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供
- (3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり
- (4) 多様な運動やスポーツの継続支援
- (5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興

II 運動やスポーツ活動を支える環境づくり

1 地域の運動やスポーツ活動の充実

- (1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化
- (2) 活動を支える人材の養成・確保

2 競技力の向上

- (1) ジュニア期からの競技力向上
- (2) 優秀競技者などへの支援

III 運動やスポーツを楽しむ環境づくり

1 運動やスポーツに関する情報提供の充実

- (1) 情報の収集・発信
- (2) スポーツ観戦の機会づくり

2 スポーツ施設及び関連施設の充実

- (1) 施設の有効活用
- (2) 計画的な施設管理の推進

第3章 基本施策

I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進

高齢社会において健康で自立した生活を送るためには、高齢期を迎える前から、日常的に運動やスポーツに親しむことなどによって、健康の維持や体力の向上を図ることが大切です。健康が保たれることによって、医療費や介護費抑制などの効果も大いに期待できます。

健康的な毎日を送るためにも、できるかぎり若い時期から運動やスポーツなどに親しむ機会（きっかけ）を作っていくことが必要であり、その機会に出会うことが重要です。

令和2年度実施の市民アンケート調査では、運動やスポーツを行う頻度が増加傾向にありますが、一方で運動やスポーツをしたくても仕事や子育てなどといった何らかの理由があるために、その機会に恵まれない人もいることから、ライフスタイルやライフステージの変化に合わせた運動やスポーツ機会の提供を図ることが必要です。

なかでも歩くことは、身体活動の基本であり、年代や生活様式を問わず誰もが、ひとりでも、仲間とも、あるいは世代を越えて一緒に取り組むことができます。

人々の健康は、自ら作り守ることを基本としながらも、個人だけではなく社会面から共に取り組むことが、まち全体の健康につながると考えられます。市全体が元気で健康になるよう、健康づくりから広がるまちづくりの展開に向け、歩くことを通じた市民の積極的な健康づくりを推進します。

1 子どもの運動やスポーツ活動の推進

子どもたちを取巻く社会環境や生活様式が大きく変化していることに伴い、子どもの運動能力や体力は低下しており、また運動をする・しないの二極化も進んでいるといった課題があります。

子どもたちが、生涯にわたって心も体もいきいきとたくましく成長していくためには、それらを支える基盤となる健康や体力が必要です。

そのためにも、幼児期のうちから家庭などにおいて楽しく体を動かす習慣を身につけることで運動能力や体力の向上を図るとともに、家族で積極的に運動やスポーツに参加することによって、子どもたちが運動やスポーツに興味・関心を持ち、好きになることで、身体を動かすことが日常化されるよう、健康的な生活習慣の確立を目指します。

(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり

幼児期から小学校低学年程度の子どものとその保護者を対象に、遊びを通して楽しみながら運動習慣を身につける教室や家庭でできるプログラムなど、保護者の意識啓発も併せた取り組みを推進します。

①	親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供（子育て支援課）	継続
②	幼児期の身体活動の促進（子育て支援課）	継続
③	幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立（子育て支援課・保健課）	継続
④	子どもひろばなどの活用（子ども家庭課）	継続

(2) 子どもの体力向上

運動の楽しさや魅力に触れてもらうことや体力を高めていく活動を通して、運動をする・しないの二極化を解消し、子どもたちの生活の基盤となる体力を育む取り組みを推進します。

①	外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成（子育て支援課）	継続
②	運動やスポーツ体験機会の充実（健康スポーツ課）	継続
③	学童クラブ等でのニュースポーツ ^(注) の普及（健康スポーツ課）	継続
④	トップアスリートなどとの交流（健康スポーツ課）	継続
⑤	スポーツ少年団への加入促進支援（健康スポーツ課）	継続
⑥	保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実（健康スポーツ課）	継続
⑦	丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進（子育て支援課・給食センター）	継続

(注) ニュースポーツ：年齢、性別、体力、技術にかかわらず、誰でも気軽にスポーツを楽しめることを目的とした比較的新しいスポーツ種目の総称。既存のスポーツのルールをやさしく改良したものや、自治体で考案したもの、各種競技団体が普及のために改良したもの、外国から入ってきた民族スポーツなどがあり、恵庭市では、パークゴルフ、カローリング、スカッドボール、スポンジテニスなど、多くのニュースポーツが行われている。

2 高齢者の健康づくりの推進

生活習慣病予防や介護予防においても、運動やスポーツが有効策のひとつとなっていることから、運動やスポーツを始めるための工夫を充実させることで、意識の啓発を図ります。

(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり

さまざまな関係機関や団体などと連携協力し、ニュースポーツや栄養・食生活など多様な角度から、運動やスポーツを始めるための取り組みを推進します。

①	ニュースポーツ体験機会の充実（健康スポーツ課）	継続
②	歩くなどの運動習慣につながる機会づくり（健康スポーツ課）	継続
③	栄養・食生活や運動などの各種事業の取り組み（介護福祉課・保健課）	継続

(2) 高齢者の健康づくり

健康の保持や介護予防のために、手軽に始められる運動などを紹介し、参加を促します。

①	住民主体による介護予防の普及啓発（介護福祉課）	継続
②	高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進（保健課）	継続

3 気軽に参加できる多様な機会の充実

それぞれのライフスタイルやライフステージにおいて運動やスポーツを始めることができるよう、健康・運動に関する正しい知識や、気軽に参加が可能なプログラムの提供により、身近な場所での運動やスポーツへの参加を促す取り組みを推進します。

(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり

健康・運動に関心の低い人に向けて、運動やスポーツの有効性や楽しさに気づくような取り組みを行うことで、意識の啓発を図ります。

①	日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発（保健課・健康スポーツ課）	継続
②	生活習慣病予防のための情報の提供（保健課・健康スポーツ課）	継続
③	年齢や健康状態に応じた相談体制の充実（保健課・健康スポーツ課）	継続

(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供

身近で手軽に行うことができる歩くことのみさまざまな取り組みを充実させ、歩くことによる健康づくりやまちづくりを推進します。

また、いつでも自由に始められるプログラムや高齢者にも参加可能なプログラム、競技スポーツへの入門機会となる各競技種目の初心者教室などの拡充を図るほか、障がいのある人も、運動やスポーツの楽しさを体験できる取り組みを進めます。

①	歩くことによる健康づくり事業の推進（再掲）（健康スポーツ課）	継続
②	ニュースポーツ体験機会の充実（再掲）（健康スポーツ課）	継続
③	気軽に参加できるプログラム等の充実（健康スポーツ課）	継続
④	初心者スポーツ教室などの充実（健康スポーツ課）	継続
⑤	高齢者も参加しやすいプログラムの充実（健康スポーツ課）	継続
⑥	障がいのある人への運動やスポーツの普及啓発（健康スポーツ課）	継続
⑦	施設などへのアクセス向上による運動・スポーツへの参加促進（健康スポーツ課）	継続

(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり

運動やスポーツをしたいと思っても機会がなかなか見つからないという子育て世代に、乳幼児と一緒にでも体を動かせるプログラムなどを開発し、参加者が地域で楽しむことができるような運動やスポーツの機会を提供します。

また、なかなか時間が取れずに運動やスポーツを定期的に行うことができない働き盛り世代に、わずかな時間でも参加可能なプログラムの提供を図ります。

①	子育て世代が参加しやすいプログラムの提供（子育て支援課）	継続
②	親子でできる運動や遊びプログラムの提供（子育て支援課）	継続
③	働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供（子育て支援課）	継続

(4) 多様な運動やスポーツの継続支援

技術レベルに応じた指導を受けることや、日ごろの成果を活かす機会として大会などに参加することは、技術やモチベーションを向上させ、運動やスポーツの継続にも効果的です。このため、各種競技団体などに対し、教室や大会の開催を今後も奨励し、継続したスポーツ活動を支援します。

①	各種運動プログラムやスポーツ教室の充実（健康スポーツ課）	継続
②	各種スポーツ大会の開催（健康スポーツ課）	継続

(5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興

恵庭市とその近郊などの豊かな自然環境を活かした、ウォーキングやノルディックウォーキング^(注)なども含めたアウトドアスポーツに親しむ機会を提供します。

また、冬の厳しい寒さを利用して楽しむウィンタースポーツを振興するため、スキー場やスケート場の開設、歩くスキーコースの整備など、冬期間の体力づくりを支援します。

①	アウトドアスポーツの普及推進（健康スポーツ課）	継続
③	ウィンタースポーツの普及推進（健康スポーツ課）	継続

(注) ノルディックウォーキング：クロスカン트리スキー選手の夏の間体力維持・強化トレーニングとしてポールを使った簡単な歩行運動として紹介されたのが始まりで、その後、誰でも簡単に覚えられ、短時間で最も運動効果の高いスポーツとして、ヨーロッパで広まった。運動能力や年齢を問わず誰にでも無理なく始められ、ポールを使うことから膝や腰の負担も軽く、ほぼ全身の筋肉が使われる効果的な全身運動は、医学会でも注目されている。ポールがバランス維持をサポートするので転びにくく、高齢者にも効果的である。

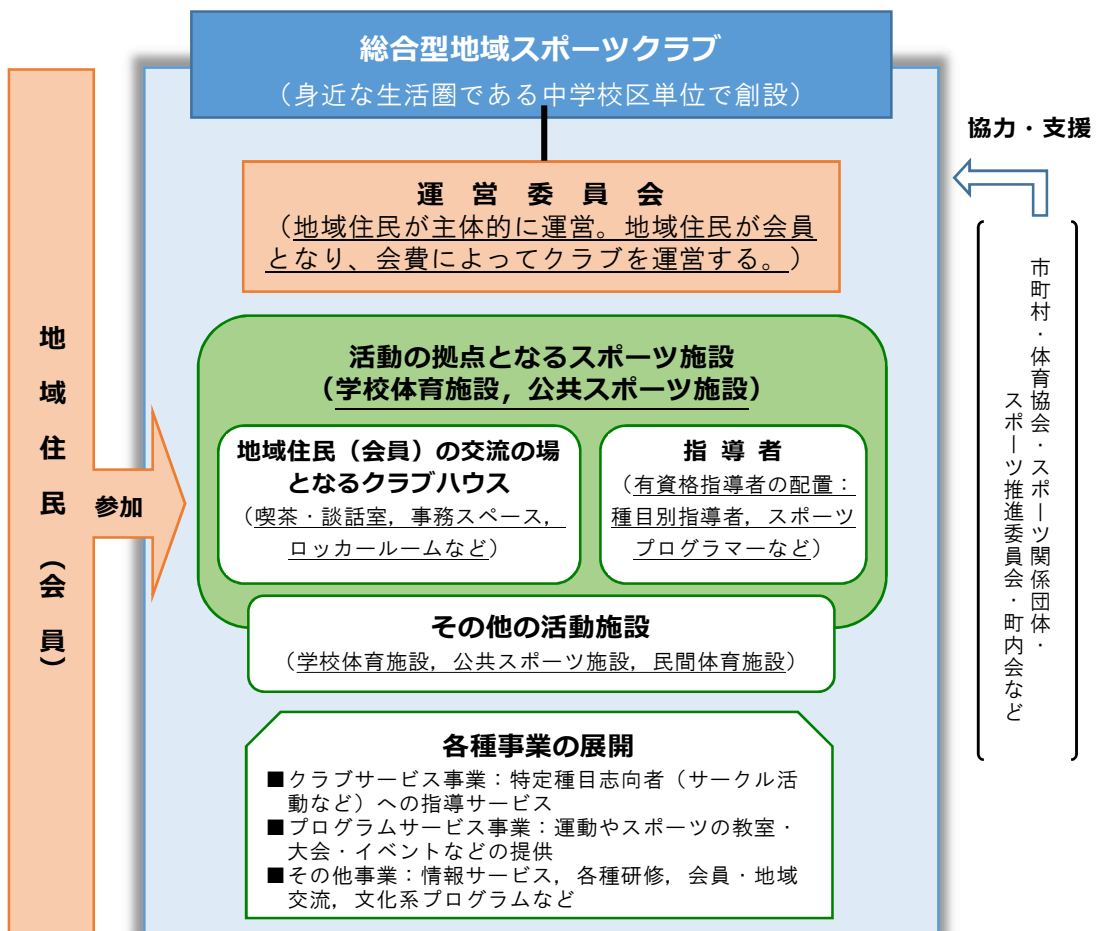
II 運動やスポーツ活動を支える環境づくり

市民の運動やスポーツを推進するためには、それぞれのライフスタイルやライフステージに応じて、気軽に、さらには継続して運動やスポーツに取り組むことのできるよう、支援して行く環境づくりが大切です。

本市には、各種競技団体や各種スポーツ少年団、それらを統括する体育協会をはじめ、総合型地域スポーツクラブ^(注)などの各種団体が活動し、それぞれの立場で市民の運動やスポーツ活動の支えとなっていることから、市民のさらなる運動やスポーツ活動を推進するためにも、各種団体活動の充実を図ります。

また、運動やスポーツによる人との出会いや交流の機会は、日常的に人が地域でつながるきっかけとなります。こうしたつながりは、地域において災害の際にも役立つほか、運動やスポーツをしていない人に興味や関心を持ってもらう機会となることから、運動やスポーツに関わる人を増やし、仲間を広げることによるコミュニティづくりを目指します。

(注) 総合型地域スポーツクラブ(概要は下図参照)：文部科学省や日本体育協会などが推奨している事業で、地域住民が運営主体となり、地域に住むいるいるな年齢層の人が、いつでも気軽に運動やスポーツに親しむことができるクラブのこと。特徴としては、複数種目の活動(指導も含む)が行われ、レベルに応じた活動が可能。スポーツ以外の活動が行えるクラブもある。また、地域が主体となっており、会員となっている地域住民の年代を越えた交流が活性化される。



1 地域の運動やスポーツ活動の充実

(1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化

競技スポーツの振興と市民の多様化した運動やスポーツへのニーズに対応するためにも、体育協会をはじめとした競技団体や、地域団体などの活動への支援や連携を推進します。

①	体育協会への支援や連携の強化（健康スポーツ課）	継続
②	スポーツ少年団活動への支援（健康スポーツ課）	継続
③	競技団体などへの育成支援（健康スポーツ課）	継続
④	各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援（健康スポーツ課）	継続
⑤	総合型地域スポーツクラブとの連携（教育総務課・健康スポーツ課）	継続
⑥	地域団体などにおける運動やスポーツの推進（健康スポーツ課）	継続

(2) 活動を支える人材の養成・確保

市民のさまざまなレベルでの運動やスポーツ活動を支えるため、指導者を発掘・養成するとともに、指導者間の情報交換の場を設定するなど、資質の向上に努めます。

また、運動やスポーツに対する市民の興味・関心を高める機会の提供を図るとともに、市民を対象にスポーツボランティア^(注)の意識啓発を図ります。

①	指導者の発掘と研修機会の拡充（健康スポーツ課）	継続
②	スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充（健康スポーツ課）	継続
③	運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化（健康スポーツ課）	継続
④	スポーツボランティア（注）の意識啓発（健康スポーツ課）	継続
⑤	健康や運動・スポーツ情報の充実（再掲）（健康スポーツ課）	継続

(注) スポーツボランティア：地域における各種競技団体や少年団などにおいて、報酬を目的とせず、クラブ・団体の運営や指導活動を日常的に支える活動や、国際大会や地域スポーツ大会などの不定期に開催されるイベントにおいて、個人の専門知識・技術、あるいは特別な知識を必要とせず誰でも参加が可能な支援活動のこと。

2 競技力の向上

(1) ジュニア期からの競技力向上

体育協会、スポーツ少年団、各種競技団体、学校などと連携・協働のもとに、子どもたちが運動やスポーツに継続的に取り組むことができる環境を整備するとともに、運動能力に優れた子どもの発掘、各年代における競技者の強化体制の整備及び競技者へ適切な指導ができる人材の養成などにより、競技レベルの維持・向上に向けた環境を整備します。

①	地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充（健康スポーツ課） 継続
②	学校部活動などへの専門指導者派遣支援（教育総務課・健康スポーツ課） 継続
③	選手育成事業などへの支援（健康スポーツ課） 継続
④	競技指導者などの養成・指導力向上のための研修機会の確保 （健康スポーツ課） 継続
⑤	競技スポーツに必要な栄養・食生活に関する情報の提供 （健康スポーツ課） 継続
⑥	高等教育機関などからのスポーツ医・科学情報 ^(注) の提供 （健康スポーツ課） 継続

(注) スポーツ医・科学情報：専門の機関による、競技力向上のためのトレーニングなどに関する情報や、スポーツ障害の予防・リハビリに役立つ情報。

(2) 優秀競技者などへの支援

国際・全国大会などに出場する競技者を等しく支援するため、補助金の交付を行うとともに、大会などにおいて優秀な成績を収めた競技者、スポーツの振興に多大な功績のあった人を顕彰します。

①	国際・全国大会などの出場者への支援（健康スポーツ課） 継続
②	優秀競技者などの顕彰（健康スポーツ課） 継続

Ⅲ 運動やスポーツを楽しむ環境づくり

子どもから高齢者までの市民誰もが、運動・スポーツに親しみ、継続して取り組んでもらうためには、さまざまな情報を市民がいつでも目にすることができるようにするとともに、運動やスポーツに興味・関心を持ってもらう機会に触れることも必要です。

また、運動やスポーツに取り組むうえで、身近で安全に運動やスポーツを楽しむことのできる各種施設が望まれます。

そのため、運動やスポーツに関する情報の発信、スポーツ施設の有効活用、学校施設やスポーツ施設以外の活動場所の利用促進などといった、環境づくりの充実を図ります。

さらには、スポーツ振興まちづくり審議会の意見に基づき、市外関連施設の利用の可能性について協議・検討を行うとともに、各種目ごとに定められているガイドラインを考慮しながら、北海道や関係機関及び市関係部署などと連携した感染症対策を実施し、利用促進に向けた環境づくりに取り組んでいきます。

1 運動やスポーツに関する情報提供の充実

多くの市民に運動やスポーツに親しんでもらうためには、市民のニーズに対応した健康や運動・スポーツに関するさまざまな情報を提供することが必要です。

体育協会、各種競技団体及び関係機関などと連携を図り情報を共有することで、市民にとって分かりやすい情報の発信に努めます。

(1) 情報の収集・発信

健康や運動・スポーツに関するさまざまな情報について、市民のニーズに対応し、これまでの広報紙やPRパンフレット、地域コミュニティ紙などの紙媒体情報のほか、ICT^(注)などを活用することで効果的な情報の発信を行うとともに、情報の収集にも取り組みます。

①	各種情報の収集を目的とした各関係機関などとの情報共有体制の構築	継続
②	多様な媒体を活用した情報の発信（介護福祉課）	継続
③	健康や運動・スポーツ情報の充実（介護福祉課）	継続

(注) ICT: Information and Communication Technologyの略。情報・通信に関する技術の総称。従来から使われている「IT (Information Technology)」に代わる言葉として使われている。

(2) スポーツ観戦の機会づくり

トップアスリートなどのプレーを間近に観ることで、感動や選手への憧れなどを抱いたり、応援を通してその場にいる知らない者同士に一体感や充実感などが生まれ、スポーツを観ることの楽しさを味わうことができます。こうしたことからスポーツへの興味や関心が高まることにつながるよう、スポーツ観戦機会の提供を図ります。

また、トップアスリートから、指導や助言を直接受けることのできる機会の促進を図ります。

①	スポーツ観戦の推進（健康スポーツ課）	継続
②	トップアスリートとの交流の機会づくり（健康スポーツ課）	継続
③	市民と一体となつて行う応援活動の推進（健康スポーツ課）	継続

2 スポーツ施設及び関連施設の充実

アンケート調査などにより市民のさまざまなニーズを把握し、市内にある屋内・外のスポーツ施設や関連施設の充実を検討するとともに、市外関連施設の利用の可能性についても協議・検討しながら、市民の健康で豊かな暮らしの拠点となり、楽しく安全に運動やスポーツを始めたり続けることができるよう、利用しやすい環境機能の充実を目指します。

また、各種目ごとに定められているガイドラインを考慮しながら、北海道や関係機関及び市関係部署などと連携した感染症対策を実施し、利用促進に向けた環境づくりに取り組んでいきます。

さらには、歩くことによる市民の健康づくりを進めるため、歩くことに興味・関心などを持つことができるよう、環境づくりを推進します。

(1) 施設の有効活用

市民の運動やスポーツに関するニーズを把握し、施設の充実に努めるほか、市民の継続的活動の拡大を図るため、既存施設の有効活用を工夫するとともに、学校施設や関連施設、さらには市外関連施設の利用の可能性についても協議・検討し利用できるよう調整を図ります。

①	歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進（健康スポーツ課）	継続
②	学校スポーツ施設の活用（教育総務課・健康スポーツ課）	継続
③	スポーツ施設の有効活用の促進（健康スポーツ課）	継続
④	市外関連施設の利用の可能性について協議・検討（健康スポーツ課）	新規

（２）計画的な施設管理の推進

年間を通じて練習環境が確保できる施設の整備を進めるとともに、老朽化が進む既存各種スポーツ施設について、市民の運動やスポーツに関するニーズの把握などにより、施設管理者との連携を図りながら、修繕などの計画に基づいた適切な維持管理及び更新に努めます。

通年型屋外スポーツ施設の整備については、サウンディング調査の結果に基づきスポーツ振興まちづくり審議会の意見を踏まえ、民間活用による整備に向けた検討を継続していきます。

また、すでに導入している指定管理者制度を継続し、施設の効率的・効果的な管理を図るとともに、指定管理者の創意工夫により、多くの市民が運動やスポーツに親しむことのできるプログラムの提供などを促進します。

さらには、各種目ごとに定められているガイドラインを考慮しながら、北海道や関係機関及び市関係部署などと連携した感染症対策を実施し、利用促進に向けた環境づくりに取り組んでいきます。

①	既存スポーツ施設の整備・改修の推進（健康スポーツ課）	継続
②	通年型屋外スポーツ施設の整備（健康スポーツ課）	継続
③	利用しやすい施設使用料などの検討（健康スポーツ課）	継続
④	利用促進に向けた、感染症防止対策への取組み（健康スポーツ課）	新規

【基本施策一覧】

基本理念	基本方針	基本施策			
		大項目	中項目	小項目	
夢と健康を育むまち 健康・スポーツ コミュニティ えにわ	I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進	1 子どもの運動やスポーツ活動の推進	(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり	① 親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供 ② 幼児期の身体活動の促進 ③ 幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立 ④ 子どもひろばなどの活用	
			(2) 子どもの体力向上	① 外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成 ② 運動やスポーツ体験機会の充実 ③ 学童クラブ等でのニュースポーツの普及 ④ トップアスリートなどの交流 ⑤ スポーツ少年団への加入促進支援 ⑥ 保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実 ⑦ 丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進	
			2 高齢者の健康づくりの推進	(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり	① ニュースポーツ体験機会の充実 ② 歩くなどの運動習慣につながる機会づくり ③ 栄養・食生活や運動などの各種事業の取り組み
				(2) 高齢者の健康づくり	① 住民主体による介護予防の普及啓発 ② 高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進
			3 気軽に参加できる多様な機会の充実	(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり	① 日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発 ② 生活習慣病予防のための情報の提供 ③ 年齢や健康状態に応じた相談体制の充実
				(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供	① 歩くことによる健康づくり事業の推進 ② ニュースポーツ体験機会の充実 ③ 気軽に参加できるプログラム等の充実 ④ 初心者スポーツ教室などの充実 ⑤ 高齢者も参加しやすいプログラムの充実 ⑥ 障がいのある人への運動やスポーツの普及啓発 ⑦ 施設などへのアクセス向上による運動・スポーツへの参加促進
		(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり		① 子育て世代が参加しやすいプログラムの提供 ② 親子でできる運動や遊びプログラムの提供 ③ 働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供	
		(4) 多様な運動やスポーツの継続支援		① 各種運動プログラムやスポーツ教室の充実 ② 各種スポーツ大会の開催	
		(5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興		① アウトドアスポーツの普及推進 ② ウィンタースポーツの普及推進	
		(6) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化		① 体育協会への支援や連携の強化 ② スポーツ少年団活動への支援 ③ 競技団体などへの育成支援 ④ 各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援 ⑤ 総合型地域スポーツクラブとの連携 ⑥ 地域団体などにおける運動やスポーツの推進	
		II 運動やスポーツ活動を支える環境づくり	1 地域の運動やスポーツ活動の充実	(2) 活動を支える人材の養成・確保	① 指導者の発掘と研修機会の拡充 ② スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充 ③ 運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化 ④ スポーツボランティアの意識啓発 ⑤ 健康や運動・スポーツ情報の充実（再）
				2 競技力の向上	(1) ジュニア期からの競技力向上
	(2) 優秀競技者などへの支援		① 国際・全国大会などの出場者への支援 ② 優秀競技者などの顕彰		
	III 運動やスポーツを楽しむ環境づくり		1 運動やスポーツに関する情報提供の充実	(1) 情報の収集・発信	① 各種情報の収集を目的とした各関係機関などの情報共有体制の構築 ② 多様な媒体を活用した情報の発信 ③ 健康や運動・スポーツ情報の充実
				(2) スポーツ観戦の機会づくり	① スポーツ観戦の推進 ② トップアスリートとの交流の機会づくり ③ 市民と一体となつて行う応援活動の推進
			2 スポーツ施設及び関連施設の充実	(1) 施設の有効活用	① 歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進 ② 学校スポーツ施設の活用 ③ スポーツ施設の有効活用の促進 ④ 市外関連施設の利用の可能性について協議・検討
		(2) 計画的な施設管理の推進		① 既存スポーツ施設の整備・改修の推進 ② 通年型屋外スポーツ施設の整備 ③ 利用しやすい施設使用料などの検討 ④ 利用促進に向けた、感染症防止対策への取り組み	

第4章 計画の推進・進行管理

I 計画の推進

計画を実現するためには、市民をはじめ、健康及びスポーツの関係機関・団体と行政が推進の主体となり、協働し一体となって積極的に取り組むことが重要です。

市では、これまで取り組んできたスポーツの振興に加えて、「夢と健康を育むまち」の実現に向けた運動やスポーツを通じた健康寿命の延伸、活力に満ちた地域の形成などを総合的に推進するため、市民のニーズや運動・スポーツ振興施策の実施状況を把握するとともに、第5期恵庭市総合計画、恵庭市健康づくり計画及び他の関連する計画との整合性を図りながら、本計画に掲げた具体的な施策を推進していくものです。







II 計画の進行管理

市は、「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」第16条に基づき、計画や運動・スポーツの施策に関する検証及び評価を行う機関として「恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会」（以下「審議会」という。）を設置し、スポーツ関係団体などからの意見も聴取して計画の達成状況・実施効果などの検証・評価を行い、これを公表するものとしています。

評価に関しては指標を設け、達成度の進行管理に努めています。

また、市民の健康や運動・スポーツを取り巻く情勢並びにニーズの変化に柔軟に対応するため、計画期間の中間年度にあたる令和2年度、アンケート調査を実施し、実態把握に努め、前半の施策や事業、計画の進捗状況などについて総合的に評価を検証し、計画後半の推進に努めます。

【成果指標】

成 果 指 標	数 値 目 標	
	中間年度 (令和2年度)	最終年度 (令和7年度)
健康である・どちらかといえば健康であると 感じている人の割合 * 1	81%	
成人が運動やスポーツを週1回以上実施 している人の割合 * 1	72%	
成人が運動やスポーツを週3回以上実施 している人の割合 * 1	34%	
散歩やウォーキングなどを行っている人 の割合 * 1	26%	
スポーツボランティアを行っている人の 割合 * 1	4.7%	
国際・全国大会出場者の拡充 * 2	延べ250個人 延べ 23団体	

* 1 令和2年度運動・スポーツに関するアンケート調査（恵庭市）より。

* 2 令和元年度全道大会等派遣費補助金交付者数より。

資 料

資料1. 基本施策のこれまでの取組と評価・課題、今後の方向性

資料2. 恵庭市運動・スポーツ推進計画総合評価の推移（H28～R元年度）
*総合評価：恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員による中項目別評価

資料3. 恵庭市運動・スポーツ推進計画中間見直しに係るアンケート一式
（設問及び結果）

資料4. 恵庭市スポーツ振興まちづくり条例

資料5. 恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員名簿

基本施策のこれまでの取組と評価・課題、今後の方向性

(恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会資料)

現行の「恵庭市 運動・スポーツ推進計画」では、「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」や「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」に基づき、スポーツを通じた健康で活力あるまちづくり実現のため、3つの基本方針のもと、様々な取り組みを行いました。

計画（計画期間：平成28（2016）～令和7（2025）年度）の中間年度にあたる本年度（令和2年度）に、前半の基本施策の進捗状況を評価・検証を示します。

□現行計画の進捗状況の確認

- ・基本施策に係る事業について、担当課が実施した関連事業の実施状況を確認。
- ・市民アンケート調査（無作為2,000名）

□評価

- ・担当課による自己評価
- ・恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員による事業評価

評価基準	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。
------	--

□課題

- ・関連事業に係る進捗状況や評価、市民アンケート結果を踏まえ課題を抽出

□今後の方向性

- ・担当課及び審議会委員の評価、市民アンケート結果を踏まえ、今後の方向性を抽出

基本方針 I 運動やスポーツを通じた健康の保持増進

基本施策 I - 1 : 子どもの運動やスポーツ活動の推進

(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供	子育て支援課	B
②	幼児期の身体活動の促進	子育て支援課	B
③	幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立	子育て支援課 保健課	B B
④	子どもひろばなどの活用	子ども家庭課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供として、就学前の子どもと親を対象に「のびのびパーク」「親子エクササイズ」を実施しました。
- ・ ②幼児期の身体活動の促進として、保育園児の体力づくりや運動機能を促進するため楽しく身体を動かす活動を実施しました。また、望ましい食習慣形成を図るため必要な給食を提供しました。
- ・ ③幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立として、食育講座にクイズなどを取り入れ「実践・参加型」とし、食育を身近なものとして実施しました。
- ・ ④子どもひろばなどの活用として、ひろば事業で「ホール遊び」、「ドッチビー」、「卓球」など積極的に身体を動かす遊びや運動を取り入れ実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○広く多くの方に利用できる企画にするための検証が必要。 ○保育園では、幼児の成長に必要な運動活動を提供した。 ○関係機関と連携し事業を行ったことにより、一定の成果につながっている。 ○子どもひろば事業では、子どもの自主性を尊重しながら積極的に身体を動かす遊びや運動を取り入れている。		○幼児期から様々なことを経験することが大切。各事業では成長過程で重要な「運動と食」に関してふれることができる点が良い。 ○一時の経験で終わらずより多くの子ども達が末永く経験できるとなお良い。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 幼児期の運動継続に向け親の世代に向けた堅苦しくなく気軽な講習等が必要です。

【今後の方向性】

- ・ 講座や講習の企画・実施、参加促進のための周知活動や情報発信を推進します。

(2) 子どもの体力向上

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成	子育て支援課	B
②	運動やスポーツ体験機会の充実	健康スポーツ課	B
③	学童クラブ等でのニュースポーツの普及	健康スポーツ課	A
④	トップアスリートなどとの交流	健康スポーツ課	B
⑤	スポーツ少年団への加入促進支援	健康スポーツ課	B
⑥	保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実	健康スポーツ課	—
⑦	丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進	子育て支援課	B
		学校給食センター	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成として、幼児期から外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成を目指した活動を実施しました。
- ・ ②運動やスポーツ体験機会の充実として、小中学校を対象に初心者教室やジュニア教室などの各種スポーツ事業を企画・実施しました。
- ・ ③学童クラブ等でのニュースポーツの普及として、「島松コミュニティスクール」といった学校・PTA行事やクラブ活動でニュースポーツを体験する機会を企画・実施しました。
- ・ ④トップアスリートなどとの交流として、北海道ハイテク AC のコーチや所属選手の指導により、陸上競技の魅力を伝える機会を提供しました。
- ・ ⑤スポーツ少年団への加入促進支援として、スポーツ少年団一覧表を作成・配布したほか、年2回スポーツテスト会や交流会を開催しました。
- ・ ⑥保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実として、スポーツ指導者研修会を実施しました。
- ・ ⑦丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進として、保育園で成長に必要な栄養素を確保した献立により給食を提供しました。

【評 価】

担当課評価		審議会評価	
○ 幼児の成長に必要な運動活動を提供した。 ○ 小中学生を対象に様々なスポーツを体験する機会を提供し、生涯スポーツの芽を育むことができた。 ○ 小学校と連携してニュースポーツを体験する場を提供し、多くの児童が体験することができた。 ○ トップアスリートと触れ合う機会を提供した。 ○ 保育園給食で成長に必要な栄養素を確保した献立を作成し提供した。		○ 近年様々なスポーツイベントがあるが、身体を動かすことに苦手意識を持つ子は、そもそも参加する気持ちをつくるのが難しいと感じる。また、家庭の事情によって少年団やクラブチームへの加入ができない、スポーツイベントに参加できない子もいるため、今後は義務教育課程での取組がより必要と考える。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 体を動かすことに苦手意識を持つ子供や、家庭の都合で少年団やクラブチームへの加入ができない子どもの参加が難しくなっていると考えられることから、今後は義務教育課程との連携などによる取り組みが必要です。

【運動・スポーツに関するアンケート調査結果から】

- 問： 今後参加してみたいと思う健康や運動、スポーツに関する催しは何か。
- 「歩くことを通した健康・体力づくりを目的とした教室や講習会」 (24.2%)
 「体力テスト」 (11.8%)、 「レクリエーション的な事業」 (11.0%)

【今後の方向性】

- ・ アンケート結果より、歩くことを通した健康・体力づくりを目的とした教室や講習会へのニーズがあることから子どもを持つ親世代にも参加しやすい教室、イベントの開催等を推進していきます。
- ・ 受講者減少のため廃止した「スポーツ指導者研修会」にかわる、保護者、教員、指導者向けの研修機会の創出を図ります。

基本施策 I - 2 : 高齢者の健康づくりの推進

(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	ニュースポーツ体験機会の充実	健康スポーツ課	C
②	歩くなどの運動習慣につながる機会づくり	健康スポーツ課	A
③	栄養・食生活や運動などの各種事業の取組み	介護福祉課 保健課	A B

【これまでの主な取組】

- ・ ①ニュースポーツ体験機会の充実として、ニュースポーツ教室を3回実施しました。
- ・ ②歩くなどの運動習慣につながる機会づくりとして、歩くイベント（えにわ花ウォーク、えにわウォークラリー、冬のウォーキングセミナーほか）、まちなか休憩所の設置（39か所）、えにわ健康チャレンジ・スタンプラリーの実施により、運動へのきっかけづくりや気軽に楽しめる事業を実施しました。
- ・ ③栄養・食生活や運動などの各種事業の取組みでは、介護予防の一環として「老人健康ハイキング」や「老人福祉スポーツ大会」など高齢者の外出の機会づくりに取組みました。また、高齢者健康教育事業として、お風呂で健康講座を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○歩くことが楽しくなる仕掛けづくり、歩くことを支援する仕組みづくり、健康づくりと融合したまちづくりの趣旨に沿って実施した結果、成果指標で示す参加人数、休憩所数など目標を上回った。 ○介護予防事業の一環で実施されており、自宅にこもりがちな高齢者の外出の機会をつくる事業であり、現状で目的は十分達成されているものと考えている。 ○「運動と入浴」については、会場が3か所から2か所と減少したが、参加数はおおむね良好である。		○歩くことを通して、運動やいろいろな角度から生活習慣病予防に取り組んでいる。 ○今後とも、運動・スポーツの意識の充実に図り、目的の達成と啓発に益々の努力をしていただきたい。 ○歩くことを通して健康意識や健康増進活動の向上につながっており参加者も年々増えていて良好である。 ○介護予防の一環としてハイキングやスポーツを通じて高齢者の外出機会を作る事業として目的は達成されている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ ニュースポーツを継続的に実施できる場が必要です。
- ・ 多くの市民に参加していただくために、参加者の動向や内容の検証のほか、多様な情報媒体を活用した周知や関係団体や協力団体との連携が必要です。
- ・ 参加者の高齢化により、安全面において協議内容等の見直しが必要です。

【今後の方向性】

- ・ 高齢化の延伸により、年齢に関わらず、気軽に楽しめる運動やスポーツを通じて、生活習慣病予防や介護予防となる事業を継続し推進します。

(2) 高齢者の健康づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	住民主体による介護予防の普及啓発	介護福祉課	B
②	高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進	保健課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①住民主体による介護予防の普及啓発として、「いきいき百歳体操サポーター養成講座」や「地域支え合い・地域づくり事業」など地域住民主体による介護予防の普及啓発を実施し、活動場所開設数やサポーター養成数は増加傾向にあります。
- ・ ②高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進として、高齢者を対象とした恵庭市シニア向けポータルサイト「ウェルネススペースえにわ」を開設し、健康情報や運動スポーツ情報を定期的に掲載、情報発信を行いました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○活動の担い手不足や活動休止等の課題はあるが、住民主体の活動の場は、計画通り増加しており、目的はかなり達成されている。 ○アクセス数は目標を下回ったものの、介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載し、情報発信していることから、目的はおおむね達成されている。		○目的を十分に達成されており、情報のアクセス数を上回っている。 ○サポーター養成数、活動場所開設数等は目標に達していて事業として概ね良好である。 ○ポータルサイトでの情報発信は概ね目的は達成されているが更なる市民への周知が必要。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 担い手不足や活動を休止する会場があり、長期継続的な支援が必要です。
- ・ 市民及び関係機関へのポータルサイト周知の強化やコンテンツの充実が必要です。

【今後の方向性】

- ・ 地域における介護予防活動や普及啓発を担う人材を関係団体等と連携し、育成支援を行います。また、高齢者対象の運動・スポーツに関する情報を広報等の紙媒体に加え、近年高齢者にも利用者が多いインターネット媒体を活用し、高齢者に効果的な広報活動を推進します。

基本施策 I - 3 : 気軽に参加できる多様な機会の充実

(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発	保健課 健康スポーツ課	A
②	生活習慣病予防のための情報の提供	保健課 健康スポーツ課	A
③	年齢や健康状態に応じた相談体制の充実	保健課 健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・ ①日常生活の中で意識して体を動かすことの啓発として、健康・スポーツ以外の異なる分野と組み合わせた楽しさを体感できる歩くイベントの実施や市内各所に設置した「まちなか休憩所」での健康情報の提供、「えにわ健康チャレンジ・スタンプラリー」を実施し、健康づくり無関心層への健康意識の啓発を図りました。
- ・ ②生活習慣病予防のための情報の提供及び③年齢や健康状態に応じた相談体制の充実として、健康づくり講演会や出前講座、検診結果説明会、がん予防普及啓発、パネル展、健康相談を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○歩くことが楽しくなる仕掛けづくり、歩くことを支援する仕組みづくり、健康づくりと融合したまちづくりの趣旨に沿って実施した結果、成果指標で示す参加人数、休憩所数など大きく目標を上回った。 ○国の健康づくりのための身体活動指針に基づき、個人の健康状態に応じ相談対応している。		○「恵庭歩く人達の会」、「楽々歩こう会」、「フットパス愛好会」と三つあり、それぞれが楽しく健康づくりを行っており目的は十分達成されている。 ○歩くことを通して健康意識や健康増進活動の向上に多くの市民が参加しており成果がでている。 ○健康に対しての正しい知識の普及啓発や個人の健康相談に対応しており目的が達成されている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・働き世代への周知が必要です。

【今後の方向性】

- ・運動、スポーツに関心の低い人に向けて、他分野との連携・協力を図り、誰もが運動やスポーツの有効性や楽しさに気づくきっかけとなるような取組みを継続し、事業を推進します。

(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	歩くことによる健康づくり事業の推進【再掲】	健康スポーツ課	A
②	ニュースポーツ体験機会の充実【再掲】	健康スポーツ課	A
③	気軽に参加できるプログラム等の充実	健康スポーツ課	A
④	初心者スポーツ教室などの充実	健康スポーツ課	A
⑤	高齢者も参加しやすいプログラムの充実	介護福祉課 健康スポーツ課	A
⑥	障がいのある人への運動やスポーツの普及啓発	障がい福祉課 健康スポーツ課	A
⑦	施設などへのアクセス向上による運動・スポーツへの参加促進	健康スポーツ課	D

【これまでの主な取組】

- ・①歩くことによる健康づくり事業の推進として、歩くイベント（えにわ花ウォーク、えにわウォークラリー、冬のウォーキングセミナーほか）、まちなか休憩所の設置（39か所）、えにわ健康チャレンジ・スタンプラリーの実施により、運動へのきっかけづくりや気軽楽しめる事業を実施しました。
- ・②ニュースポーツ体験機会の充実として、えにわ健康スポーツフェスティバルの中でニュースポーツ体験イベントを開催しました。
- ・③気軽に参加できるプログラム等の充実として、総合体育館で指定管理者の自主事業で「フィットネスエクササイズ」、「ヨガ教室」、軽スポーツ等の「実技指導」を開催しました。
- ・④初心者スポーツ教室などの充実として、指定管理者の自主事業で「ヨガ教室」や「バレトン教室」、「ZUNMBA」などのスポーツ教室を実施しました。
- ・⑤高齢者も参加しやすいプログラムの充実として、指定管理者の自主事業で「フィットネスエクササイズ（58回）」、「卓球指導（45回）」、「スポンジテニス指導（37回）」、「はじめてのヨガ（42回）」などの実技指導を中心とした軽スポーツ教室を実施しました。

- ・ ⑥障がいのある人への運動やスポーツの普及啓発として、「えにわトリム&ラン」、「スポパラinえにわ」を実施しました。
- ・ ⑦施設などへのアクセス向上による運動・スポーツへの参加促進として、市民スキー場へ送迎バスを運行しました。

【評 価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○えにわ健康スポーツフェスティバルの中で、幼児から高齢者までがニュースポーツを体験することができた。 ○総合体育館で年間を通して誰でも気軽に参加できる事業や、市民のニーズに応じた各種スポーツ教室を開設し、生涯スポーツの推進を図った。 ○パラリンピックへの理解を深める事業を開催した。 ○雪不足による市民スキー場等の開設期間が大幅に縮小したが目的は達成された。 		<ul style="list-style-type: none"> ○健康スポーツ課の努力により、健康・スポーツで気軽に参加しフェスティバルを通して充実し、達成されている。 ○えにわ健康スポーツフェスティバルの中で各年代が気軽にスポーツを体験することができている。 ○市民のニーズに応じたスポーツ教室を年間通して開催し目的が達成されている。 ○パラスポーツを周知啓発する事業として目的が達成されている。 	
A	<ul style="list-style-type: none"> A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。 	A	<ul style="list-style-type: none"> A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 内容の充実や魅力を更に深めていくための事業内容の検討や周知方法が必要です。

【今後の方向性】

- ・ 年齢や性別、体力や障がいの有無に関わらず、誰もが運動・スポーツを楽しめる環境をつくるとともに、運動・スポーツを通じた共生社会の実現を目指し、障がい者スポーツの普及促進にこれまで以上に取組みます。

(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	子育て世代が参加しやすいプログラムの提供	子育て支援課	A
②	親子でできる運動や遊びプログラムの提供	子育て支援課	B
③	働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供	子育て支援課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①子育て世代が参加しやすいプログラムの提供として、子育て支援センター事業で、施設内のホールや公園など活用し親子で気軽に運動を楽しむことができる場を提供しました。

- ・ ②親子でできる運動や遊びプログラムの提供として、親子で共に身体を動かす「親子エクササイズ」を実施しました。
- ・ ③働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供として、働く家庭にも利用していただけるよう、子育て支援センターの「土曜日・日曜日開設」や「サンデーパパ」など開催し、多様な機会の拡大を図りました。

【評 価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○親子の希望に合わせて楽しむことができるように遊具などにより、楽しむ機会の提供することができた。 ○企画に人数の制限があるため、広く、多くの方に利用できる企画にするための検討が必要。 ○家族の過ごし方も多様化しており、働くスタイルも様々であり、的確にニーズを把握し、対応していく必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ○様々なニーズを把握し、可能な範囲でより良いものを提供することは難しいが、ニーズに合わせた活動の変化が読み取れる。 ○実績の低下が見られた「サンデーパパ」に関しても、休日に別の場所(屋外など)で活動する家庭が増えているのか、そもそも親子の活動そのものが減ってしまっているのか。 	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【運動・スポーツに関するアンケート調査結果から】

問：運動・スポーツをしたいと思ってもできなかった理由は何か。

- 「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」、「加齢により体力に自信がない」、「運動・スポーツは嫌いではないが積極的になれない」、「仕事や家事の疲れから」

【課題】

- ・ 多様化するライフスタイルや市民のニーズを的確に把握し、対応していく必要があります

【今後の方向性】

- ・ 子育て世代や働き盛り世代を対象としたプログラムに対し市民のニーズを把握し実施することや、自宅や子育て中、通勤中など、日々の生活において行うことができる運動習慣、気軽に取り組める環境の整備を推進します。

(4) 多様な運動やスポーツの継続支援

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	各種運動プログラムやスポーツ教室の充実	健康スポーツ課	A
②	各種スポーツ大会の開催	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・ ①各種運動プログラムやスポーツ教室の充実として、総合体育館で指定管理者の自主事業で「フィットネスエクササイズ」、「ヨガ教室」、軽スポーツ等の「実技指導」を開催しました。
- ・ ②各種スポーツ大会の開催として、「市民駅伝大会」、卓球やソフトテニス、バトミントンなど15競技の「市民大会」を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○総合体育館で年間を通して誰でもが気軽に参加できる事業や、市民のニーズに応じた各種スポーツ教室を開設し、生涯スポーツの推進に努めた。 ○体育協会や体育協会加盟団体が各種市民スポーツ大会を開催し、スポーツの普及と競技レベルの向上を図った。		○恵庭市民の総合体育館の利用が多いことに驚く。各事業の取組の成果が出ているのを感じる。 ○種目の専門化(1種目主義)が早くなっており、学童期にはもっと幅広く、違う仲間と、様々な活動をする場も設けていければ。その結果、種目を絞る時期になった際により良い活動が出来る、バーンアウトを減らすことが出来る、そんな風潮が高まれば。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 継続的实施のための指導者の確保が課題です。

【今後の方向性】

- ・ 地域や各種競技団体と協力しながら、教室や大会の開催を奨励し、継続したスポーツ活動を支援します。

(5) アウトドア・ウィンタースポーツの振興

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	アウトドアスポーツの普及推進	健康スポーツ課	—
②	ウィンタースポーツの普及推進	健康スポーツ課	D

【これまでの主な取組】

- ・ ①アウトドアスポーツの普及推進として、スポーツ推進員の自主事業として「市民ハイキング」を開催しました。
- ・ ②ウィンタースポーツの普及推進として、市民スキー場リニューアルや市民スケート場の運営、歩くスキーコースの整備を行いました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○市民スキー場・スケート場ともに例年がない雪不足、天候不順により開設期間が遅れ、また、スキー場においては感染症拡大防止策として早期に閉鎖したことから大幅な利用者減となった。 ○恵庭クロスカントリースキー大会も直前まで開催に向けて準備を整えてきたが、雪不足により中止に至った。		○雪不足及び新型コロナウイルス感染拡大防止の為、結果的には大会中止や開設期間短縮で利用者大幅減少となったが、天災の影響であり例年通りの状況であれば活動としては下記評価とする。 ○例年がない雪不足だった状況では、致し方ないとする。	
C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【運動・スポーツに関するアンケート調査結果から】

問1 この1年間に健康のためどのようなスポーツを行いましたか。

「ウォーキングや散歩など（ノルディックウォーキング）」、「体操」、「ランニング・ジョギング」、自転車・サイクリング

問2 今後市としてどのような取組みが必要ですか。

「ウォーキングやジョギングができる道路整備」、「子どもの体力の向上」、「スポーツ施設の整備」、「利用しやすい施設管理」、「高齢者の生きがいづくり」、「歩くことを通した健康・体力づくり事業の充実」

【課題】

- ・ アウトドアスポーツについて、新たな事業内容の検討が課題です。
- ・ ウィンタースポーツについては、利用者が減少傾向にあり、利用者拡大に向けた方策が課題です。

【今後の方向性】

- ・ 事業を引き続き継続しながら、市民誰もが気軽に取り組めるような工夫に取り組み、参加者減少のため廃止した「市民ハイキング」にかわる新たなアウトドアスポーツ事業の創出を図ります。

基本方針Ⅱ 運動やスポーツ活動を支える環境づくり

基本施策Ⅱ－１：地域の運動やスポーツ活動の充実

(1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	体育協会への支援や連携の強化	健康スポーツ課	A
②	スポーツ少年団活動への支援	健康スポーツ課	B
③	競技団体などへの育成支援	健康スポーツ課	A
④	各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援	健康スポーツ課	—
⑤	総合型地域スポーツクラブとの連携	教育総務課	B
		健康スポーツ課	B
⑥	地域団体などにおける運動やスポーツの推進	健康スポーツ課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①体育協会への支援や連携の強化として、体育協会へ事業費補助を行うとともに、運動・スポーツに取り組む加盟団体数の拡大を図りました。
- ・ ②スポーツ少年団活動への支援として、体育協会を通して事業費補助を行いました。
- ・ ③競技団体などへの育成支援として、体育協会加盟団体による協議の普及・振興を図る講習会や研修会、教室の開催に伴う事業費補助を行いました。
- ・ ④各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援として、平成29年に「第71回全国レクレーション大会in北海道（ふれあいフェスティバル全国大会）」の特別協賛種目としての車いすレクダンスを本市で開催しました。
- ・ ⑤総合型地域スポーツクラブとの連携として、北海道ハイテクACアカデミーと連携し、講習会やスポーツの楽しさや各団体の指導者が指導方法を学ぶ機会の提供、小学校体育授業の支援事業を実施しました。
- ・ ⑥地域団体などにおける運動やスポーツの推進として、出前講座を通じ、誰でも気軽に参加できるスポーツである「ニュースポーツ」の実技指導を、各地域団体求めに応じて実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○体育協会や加盟団体、スポーツ少年団の支援と連携を図っている。 ○総合型地域スポーツクラブ（ハイテク A C アカデミー）と連携し、小学校に体育授業への指導者の派遣を通して、スポーツの楽しさや教員の指導方法を学ぶ機会を提供することができた。 ○出前講座による指導員派遣事業を多くの会場で開催することができた。		○体力向上や身体活動への意欲向上に向け、より幅広い年代（園児や中学生など）に対象を広げ、より均等な活動の場の提供が必要になってくると思う。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・各加盟団体や少年団は少子高齢化の影響により会員の減少傾向が見られ、会員拡大に向けた改善策や組織体制の強化が課題です。

【今後の方向性】

- ・会員拡大に向け、体育協会や教育委員会、総合型地域スポーツクラブと連携し、効果的な情報発信や取組みの周知など相互に連携できる体制の構築を推進します。

(2) 活動を支える人材の養成・確保

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	指導者の発掘と研修機会の拡充	健康スポーツ課	—
②	スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充	健康スポーツ課	B
③	運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化	健康スポーツ課	B
④	スポーツボランティアの意識啓発	健康スポーツ課	—
⑤	健康や運動・スポーツ情報の充実（再掲）	健康スポーツ課	B

【これまでの主な取組】

- ・①指導者の発掘と研修機会の拡充として、スポーツ指導者研修会を実施しました。
- ・②スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充、③運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化、④スポーツボランティアの意識啓発として、スポーツ推進委員やスポーツ指導員がニュースポーツの体験事業を地区会館や小学校・公共施設などで開催しました。

- ・ ⑤健康や運動・スポーツ情報の充実として、ポータルサイトを作成し「いきいき百歳体操」などの健康・運動に関する情報をシニア世代に向け発信しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員やスポーツ指導員によるニュースポーツの体験事業を多くの会場で開催することができた。 ○今後、スポーツの振興を図るうえでスポーツボランティアの育成が急務である。 ○アクセス数は目標を下回ったものの、介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載し、情報発信していることから、目的はおおむね達成されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○継続してスポーツ活動の普及を図るには、短期的なプログラムの他に、独自の大会を開くなど、成果披露の場が必要になると考える。 ○シニア世代に関しても、シニアが取り組める競技の大会を増やすことにより、活発に事業を行うことが出来るのではないかと考える。 	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ PR活動をさらに充実させ、参加者の拡大を図ることが課題です。
- ・ 「えにわ・健康スポーツフェスティバル」や「恵庭クロスカントリースキー大会」、競技スポーツの大会運営などの地域スポーツの振興や体験事業、スポーツボランティアを継続的に開催するにあたり、人材の発掘や育成が課題となっています。

【今後の方向性】

- ・ ニュースポーツ体験機会の提供に向け、指導者の養成・確保及び高齢者がニーズに即した情報を得られるよう適切な情報発信を推進します。
- ・ 受講者減少のため廃止した「スポーツ指導者研修会」にかわる、指導者向けの研修機会の創出を図ります。

基本施策Ⅱ－２：競技力の向上

(1) ジュニア期からの競技力向上

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充	健康スポーツ課	B
②	学校部活動などへの専門指導者派遣支援	教育総務課 健康スポーツ課	—
③	選手育成事業などへの支援	健康スポーツ課	A
④	競技指導者などの養成・指導力向上のための研修機会の確保	健康スポーツ課	—
⑤	競技スポーツに必要な栄養・食生活に関する情報の提供	健康スポーツ課	—
⑥	高等教育機関などからのスポーツ医・科学情報の提供	健康スポーツ課	—

【これまでの主な取組】

- ・ ①地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充、③選手育成事業などへの支援として、北海道ハイテクACアカデミーのコーチや所属選手による陸上教室や、市・体協・セガサミーの3者による連携事業であるスポーツ教室、オリンピックによる講演会などプロ選手やトップアスリートからの指導機会を提供し、市内の競技スポーツのレベル向上に向けた事業を実施しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○地元のトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができることにより、子供たちに夢を育む機会を提供することができた。 ○トッププレーヤーに直接指導を受ける機会を通して、選手の育成を図った。 ○指導者の育成やスポーツ医科学等の情報の提供に努めていく必要がある。		○活動内容を評価します。 ○今後、コロナ対策を含め、競技指導者の指導力の向上を図るなど、支援体制のさらなる充実を図ることが必要である。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 競技指導者の指導力向上や育成、スポーツ医科学など各種情報の提供といった支援体制の充実が課題です。

【今後の方向性】

- ・市内競技力向上及び地域スポーツの活性化に向け、魅力的なイベントや事業実施を推進します。

(2) 優秀競技者などへの支援

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	国際・全国大会などの出場者への支援	健康スポーツ課	B
②	優秀競技者などの顕彰	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・スポーツ振興基金を活用し市内の全道・全国大会出場者に対し支援を行いました。
- ・全国大会の成績優秀者や、長年にわたり指導者や役員としてスポーツ振興に貢献した方を「恵庭市スポーツ功労者」として顕彰しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○スポーツ振興基金を活用し、全道・全国大会出場に際し、支援を図った。 ○全国大会等で優秀な成績を収めた選手や長年にわたり指導者又は役員としてスポーツ振興に貢献した方を顕彰している。		○活動を評価します。 ○顕彰事業の充実が図られている。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・表彰式が11月3日の文化の日であることから、それ以降に実績を残した場合は次年度に対象となり、ウインタースポーツを行っている高校3年生などは卒業してしまうため表彰できないことがあり課題です。
- ・補助要綱に則りスポーツ振興基金を活用して、定額の補助金を支出しているが、補助額が十分でないとの意見もあります。

【今後の方向性】

- ・競技団体の意向を調査・把握し、支援や顕彰を機に更に活躍できる環境整備を推進します。

基本方針Ⅲ 運動やスポーツを楽しむ環境づくり

基本施策Ⅲ－1 : 運動やスポーツに関する情報提供の充実

(1) 情報の収集・発信

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	各種情報の収集を目的とした各関係機関などの情報共有体制の構築	健康スポーツ課	—
②	多様な媒体を活用した情報の発信	介護福祉課 健康スポーツ課	B
③	健康や運動・スポーツ情報の充実	介護福祉課 健康スポーツ課	B

【これまでの主な取組】

- ・ ①多様な媒体を活用した情報の発信として、健康や運動・スポーツに関する情報について市広報・市ホームページ・各種パンフレット・地域FM・地域情報誌など様々な媒体を用い情報を発信しました。また関係機関の情報についても、ICT（SNSほか）等各種手段を通じ情報共有を実施しました。
- ・ ②健康や運動・スポーツ情報の充実として、フェイスブックやインスタグラム等を活用し、情報収集・発信の多様化に取り組みました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○アクセス数は目標を下回ったものの、介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載し、情報発信していることから、目的はおおむね達成されている。		○十分にアクセス数の目的を達成されており、各種情報の収集の機能を達成されているものと思慮する。 ○介護予防事業等に関する情報を定期的に掲載している。 ○アクセス数を増やしていくための周知が必要。	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ コンテンツの充実、アクセス数をより一層伸ばす方策を講じることが課題です。
- ・ 全ての市民がデジタル通信に精通している訳ではなく、今後このような方への情報発信の充実も課題です。

【今後の方向性】

- ・LINEや各種アプリ、YouTubeの活用について検討しながら情報の収集発信に取り組めます。

(2) スポーツ観戦の機会づくり

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	スポーツ観戦の推進	健康スポーツ課	—
②	トップアスリートとの交流の機会づくり	健康スポーツ課	B
③	市民と一体となって行う応援活動の推進	健康スポーツ課	—

【これまでの主な取組】

- ・①スポーツ観戦の推進として、平成29年に「大相撲恵庭場所」や各種スポーツイベントの開催など、スポーツ観戦を行いました。
- ・②トップアスリートとの交流の機会づくりとして、セガサミーによるスポーツ振興事業と連携しスポーツ教室の開催のほか、北海道ハイテクACのコーチや元トップアスリートの指導による「かけっこ・陸上教室」を開催し、レベルの高い技術やテクニックに触れる機会を提供しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
<ul style="list-style-type: none"> ○トッププレーヤーに直接指導を受ける機会を通して選手の育成を図った。 ○地元のトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができることにより、子供たちに夢を育む機会を提供することができた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○活動を評価します。 ○トッププレーヤーに直接指導を受ける機会を通して選手の育成を図った。 ○地元のトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができることにより、子供たちに夢を育む機会を提供することができた。 	
B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	B	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・参加者拡大のため実施時期や会場、事業内容の再検討が必要です。

【今後の方向性】

- ・関係機関・団体などのネットワークをフル活用し、積極的に情報収集を実施することで事業に協力可能な個人・団体の発掘へ繋げ、スポーツ観戦の機会拡大やトップアスリートとの交流機会の場の提供へ展開します。

基本施策Ⅲ－２：スポーツ施設及び関連施設の充実

(1) 施設の有効活用

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進	健康スポーツ課	A
②	学校スポーツ施設の活用	教育総務課 健康スポーツ課	B
③	スポーツ施設の有効活用の促進	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・ ①歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進として、「歩くことを通したまちづくり事業」で「歩くイベントの開催」や「まちなか休憩所の設置」、「健康チャレンジ・スタンプラリー」の実施など市民が気軽に歩くことができる環境を整え、健康増進に取り組めました。
- ・ ②学校スポーツ施設の活用として、市内小中学校の体育館を希望する団体に開放し、地域スポーツの振興を図りました。
- ・ ③スポーツ施設の有効活用の促進として、福住屋内運動広場をテニスやフットサル、野球の屋内練習場として開放し有効的に活用しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○健康づくりと融合したまちづくりの趣旨に沿って実施した結果、参加人数、休憩所数など大きく目標を上回った。 ○小中学校の体育館を市民団体に開放し、地域スポーツの振興を図っている。 ○市民ニーズに応じた施設改修に努め、スポーツ施設の有効活用を図っている。		○活動を評価します。 ○市内小中学校の体育館を開放し、地域スポーツの振興を図っている。	
A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	A	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・ 取組内容がマンネリ化せず、長期的に事業を継続していくための方策が必要です。
- ・ 冬期間は屋外スポーツの屋内利用が多いことから利用調整が課題です。
- ・ 指定管理者による自主事業により、更なる施設の特徴を生かした施設の活用が課題です。

【今後の方向性】

- ・「冬のウォーキングセミナーの開催」や「冬の歩くコース」の開設など、冬に着目した「歩くことをとおしたまちづくり」をさらに推進し、一年を通して歩くことを楽しむための環境づくりを推進します。
- ・飽和状態にある学校体育館利用の改善を図るため、福住屋内運動広場の周知 PR を図ることで利用の分散化を図ります。
- ・福住屋内運動広場については、学校開放利用者の分散化による利用者増を図るとともに、指定管理者による新たな自主事業への活用を促すため、常に情報交換や情報共有を行い、新たな事業展開を図ります。

(2) 計画的な施設管理の推進

	事業	担当課	
		課名	個別評価
①	既存スポーツ施設の整備・改修の推進	健康スポーツ課	C
②	通年型屋外スポーツ施設の整備	健康スポーツ課	D
③	利用しやすい施設使用料などの検討	健康スポーツ課	A

【これまでの主な取組】

- ・①既存スポーツ施設の整備・改修の推進として、既存施設の老朽化や経年劣化が著しい中、施設管理者と優先的に整備及び改修が必要な箇所について協議を行い、安心・安全に施設利用が出来るよう計画的な維持管理を行っています。
- ・②通年型屋外スポーツ施設の整備として、民間活力に向けてサウンディング市場調査を行いました。
- ・③利用しやすい施設使用料などの検討として、社会実情を考慮し見直しました。

【評価】

担当課評価		審議会評価	
○施設の老朽化が進む中、安心・安全に施設利用できるよう計画的な維持管理に努めている。 ○既存施設の整備や更新計画のほか、通年型屋外スポーツ施設の整備に関する方向性を早急に検討する必要がある。 ○全庁的に施設使用料の改正を行った。		○既存施設について評価する(62.64) ○通年型屋外スポーツ施設についての方向性についてはコンセプトを明確にして進めて戴きたい。 ○通年型屋外スポーツ施設の方向性について今後も十分な検討が必要と思われる。	
C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。	C	A：目的が十分に達成されている。 B：目的がかなり達成されている。 C：目的がそこそこ達成されている。 D：目的があまり達成されていない。 E：目的が達成されていない。

【課題】

- ・突発的な故障やトラブル等が発生し計画どおり進まない場合もあり、限られた財源の中におけるきめ細やかな対応が課題です。
- ・通年型スポーツ施設の整備は、市民ニーズに対応するための既存施設の計画的改修や整備との一体的な推進を図ることが重要であり、今後の方向性を明確にするためには市民や関係機関・団体、指定管理者等幅広く連携を図りながら、より深い議論及び検討を進めていくことが必要です。

【今後の方向性】

- ・施設改修に係る施設修繕計画を策定するとともに、スポーツ振興基金の計画的な活用について検討します。
- ・通年型スポーツ施設の整備は、民間活力にむけて、事業者から意見や情報を収集します。
- ・各種目ごとに定められているガイドラインを考慮しながら、北海道や関係機関及び市関係部署などと連携した感染症対策を実施し、利用促進に向けた環境づくりに取り組んでいきます。

成果指標の達成度

計画に掲げている成果指標数値目標の達成度は、下記のとおりとなっており、概ね目標は達成されているところです。

成 果 指 標	進 捗 状 況	
	基準年度の状況 (平成26年度)	中間年度の状況 (令和元年度)
子どもが体育の授業以外で運動やスポーツを週1回以上実施している割合 *1	75%	—
健康である・どちらかといえば健康であると感じている人の割合 *2	78%	81%
成人が運動やスポーツを週3回以上実施している割合 *2	30%	34%
散歩やウォーキングなどを行っている人の割合 *2	18%	23%
競技スポーツを行っている人の割合 (体育協会登録会員数) *3	18% (2,506人)	— (2,152人)
国際・全国大会出場者の拡充 *4	延べ142個人 延べ 24団体	延べ 250個人 延べ 23団体

- *1 「全国学力体力・運動能力、運動習慣等調査」(文部科学省)の設問が変更となったため、数値は不明
- *2 「令和2年度運動・スポーツに関するアンケート調査」結果
- *3 「令和2年度運動・スポーツに関するアンケート調査」項目を変更したため、数値は不明のため、参考値として体育協会の登録会員数で比較
- *4 令和元年度全道大会等派遣費補助金交付者数

恵庭市運動・スポーツ推進計画総合評価の推移（平成28年度～令和元年度）

資料2

*総合評価：恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員による中項目別評価

基本理念	基本方針	基 本 策				総 合 評 価						
		大 項 目	中 項 目	No.	小 項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
夢と健康を育むまち 「健康・スポーツコミュニティ えにわ」	I 運動やスポーツを通じた健康の保持推進	1 子どもの運動やスポーツ活動の推進	(1) 幼児期からの遊びや運動の習慣づくり	01	親子で遊びや運動に親しむプログラムの提供	B	B	B	B			
				02	幼児期の身体活動の促進							
				03	幼児期からの望ましい栄養・食生活の確立							
				04	子どもひろばなどの活用							
			(2) 子供の体力向上	05	外遊びや歩くことなどによる運動習慣の形成	B	B	B	B			
		06		運動やスポーツ体験機会の充実								
		07		学童クラブ等でのニュースポーツの普及								
		08		トップアスリートなどとの交流								
		09		スポーツ少年団への加入促進支援								
		10		保護者、教員、指導者向けの研修機会の充実								
		11		丈夫な体をつくる栄養・食生活の推進								
		2 高齢者の健康づくりの推進	(1) 運動やスポーツへのきっかけづくり	12	ニュースポーツ体験機会の充実	A	A	A	A			
				13	歩くなどの運動習慣につながる機会づくり							
				14	栄養・食生活や運動などの各種事業の取り組み							
			(2) 高齢者の健康づくり	15	住民主体による介護予防の普及啓発	B	B	B	B			
	16			高齢者対象の健康や運動に関する広報活動の推進								
	17			日常生活の中で意識して体を動かすことへの啓発								
	3 気軽に参加できる多様な機会の充実	(1) 活動的な生活習慣へのきっかけづくり	18	生活習慣予防のための情報の提供	B	A	A	A				
			19	年齢や健康状況に応じた相談体制の充実								
			20	歩くことによる健康づくりの事業の推進								
		(2) 気軽に参加できる身近な運動やスポーツ機会の提供	21	ニュースポーツ体験機会の充実	B	B	A	A				
			22	気軽に参加できるプログラム等の充実								
			23	初心者スポーツ教室などの充実								
			24	高齢者も参加しやすいプログラムの充実								
			25	障がいのある人への運動やスポーツの普及								
			26	施設などへのアクセシビリティ向上による運動・スポーツへの参加促進								
(3) 子育て世代・働き盛り世代への運動やスポーツの機会づくり		27	子育て世代が参加しやすいプログラムの提供	B	B	B	B					
		28	親子でできる運動や遊びプログラムの提供									
		29	働き盛り世代が参加しやすいプログラムの提供									
		30	各種運動プログラムやスポーツ教室の充実									
		31	各種スポーツ大会の開催									
		32	アウトドアスポーツの普及推進									
(4) 多様な運動やスポーツの継続支援	33	ウインタースポーツの普及推進	A	A	A	A						
	34	アウトドアスポーツの普及推進										
	35	ウインタースポーツの普及推進										
II 運動やスポーツを通じた健康の保持推進	1 地域の運動やスポーツ活動の充実	(1) 地域で活動する団体などへの支援・連携強化	36	体育協会への支援や連携の強化	B	B	A	B				
			37	スポーツ少年団活動への支援								
			38	競技団体などへの育成支援								
			39	各種競技団体が主管する全国大会などの開催支援								
			40	総合型地域スポーツクラブとの連携								
			41	地域団体などにおける運動やスポーツの推進								
		(2) 活動を支える人材の養成・確保	42	指導者の発掘と研修機会の拡充					C	C	C	B
			43	スポーツ推進委員やスポーツ指導員による地域スポーツ活動の拡充								
			44	運動やスポーツに関わる人材と地域との連携の強化								
	2 競技力の向上	(1) ジュニア期からの競技力向上	45	スポーツボランティアの意識啓発	D	C	C	B				
			46	健康や運動・スポーツ情報の充実								
			47	地元トップアスリート・競技者による指導機会の拡充								
		48	学校部活動などへの専門指導者派遣支援									
		49	選手育成事業などへの支援									
		50	競技指導者などの養成・指導力向上のための研修機会の確保									
(2) 優秀競技者などへの支援	51	競技スポーツに必要な栄養・食生活に関する情報の提供	A	A	A	A						
	52	高等教育機関などからのスポーツ医・科学情報の提供										
	53	国際・全国大会などの出場者への支援										
III 運動やスポーツを通じた健康の保持推進	1 運動やスポーツに関する情報提供の充実	(1) 情報の収集・発信	54	各種情報の収集を目的とした各関係機関などとの情報共有体制の構築	D	D	C	B				
			55	多様な媒体を活用した情報の発信								
		(2) スポーツ観戦の機会づくり	56	健康や運動・スポーツ情報の充実								
			57	スポーツ観戦の推進								
			58	トップアスリートの交流の機会づくり								
	2 スポーツ施設及び関連施設の充実	(1) 施設の有効活用	59	市民と一体となって行う応援活動の推進	B	B	B	A				
			60	歩くことで健康を意識でき、快適さを味わうことができる環境づくりの推進								
		(2) 計画的な施設管理の推進	61	学校スポーツ施設の活用								
			62	スポーツ施設の有効活用の推進								
			63	既存スポーツ施設の整備・改修の推進								
64	通年型屋外スポーツ施設の整備											
65	利用しやすい施設使用料などの検討											

恵庭市運動・スポーツ推進計画中間見直しに係るアンケート一式

(設問及び結果)

■調査の実施概要

1. 調査の目的

本市の新たなスポーツの推進計画を検討するにあたり、市民の運動・スポーツ及び健康に関する考え方やニーズを把握するとともに、本計画策定の参考にするため、市民の意見・要望を聴取するアンケート調査を実施した。

2. 調査対象

16歳以上（高校生）の市民2,000人無作為抽出。

3. 調査期間

令和2年7月1日～7月31日（※前回 平成26年12月）

4. アンケート配布・回収方法

郵送により配布し、返信用封筒にて郵送で回収する。

5. 回収状況

①有効回収数 741人（男性 335人, 女性 386人, 未回答20人）

※前回 858人（男性 372人, 女性 486人）

②有効回収率 37.1%

※前回 42.9%

運動・スポーツに関するアンケート調査

日ごろから市民の皆様には、市政の運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび市では、「恵庭市運動・スポーツ推進計画」の後期5カ年計画を策定するにあたり、広く皆様のご意見やご要望を把握し、計画策定の参考にさせていただきたいと考え、本調査を実施することといたしました。

ご回答いただいた内容は、統計の目的以外には使用せず、また個別に公表することはありません。

皆様には、お忙しい中お手数をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

令和2年7月

恵庭市長 原田 裕

ご記入にあたってのお願い 〉〉〉

- 回答は、あてはまる項目の番号を選び、○で囲んでください。
 なお、該当するものを複数選んでいただく回答では、「3つまで」「すべて」などのような選択できる数が指定されている場合がありますので、ご注意ください。
- 回答に迷う場合は、あなたのご意見・お考えにできるだけ近いものを選んでください。



この調査票での

「運動・スポーツ」とは、

勝敗や記録を競ういわゆる「競技スポーツ」だけでなく、健康のためや趣味として行うスポーツ、軽い運動や体操、あるいは自然に親しむ野外活動やレクリエーションなどにいたるまで、すべての活動を幅広く捉えます。

健康のために散歩をしたりラジオ体操を行うなど、健康を意識して身体を動かすものであれば、すべて「運動・スポーツ」として捉えてください。

●投函期限：7月31日

この用紙ごと、同封の返信用封筒にて切手はらずにご投函ください。

〈調査についてのお問合せは、下記へお願いいたします。〉

恵庭市保健福祉部健康スポーツ課

住所：恵庭市緑町2丁目1-1 えにあす2階

電話：0123-25-5727

※本調査の対象者は、6月1日末現在の情報を基に作成しております。

問1 ①あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

②あなたの年齢は、次のどれにあたりますか？

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代
6 60代 7 70代 8 80代以上

③あなたのお住まいの小学校区域は、次のどれにあたりますか？わからない場合は、お近くの小学校名から選んでください。

- 1 恵庭小校区 2 島松小校区 3 柏小校区 4 和光小校区
5 松恵小校区 6 若草小校区 7 恵み野小校区
8 恵み野旭小校区

④あなたは、この1年間に働いていましたか？

《1つ選択》

- 1 働いていない 2 学生
3 働いている・働いていた（フルタイムで）
4 働いている・働いていた（パートタイマーで）

問2 ①あなたは現在、ご自身の健康状態をどう思われていますか？

《1つ選択》

- 1 健康である 2 どちらかといえば健康である
3 どちらかといえば健康ではない 4 健康ではない 5 わからない

②あなたは現在、ご自身の体力についてどう思われていますか？

《1つ選択》

- 1 自信がある 2 どちらかと言えば自信がある
3 どちらかと言えば自信がない 4 自信がない 5 わからない

③あなたは現在、運動不足を感じますか？

《1つ選択》

- 1 大に感じる 2 少し感じる 3 あまり感じない
4 ほとんど（まったく）感じない 5 わからない

④あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか？

《3つまで選択》

- 1 睡眠や休養をできるだけとる 2 規則正しい生活を送る
3 好きなことをする時間をつくる 4 ストレスを溜めない
5 気持ちをなるべく明るく持つ 6 地域の活動などに参加する

- 7 保健薬やサプリメントなどで補う 8 飲酒・喫煙を控える
 9 手洗いやうがいをおこなわない 10 定期的に健診を受ける
 11 バランスのとれた食事をする 12 摂取カロリーを控える
 13 できるだけ添加物の入っていない食品などをする
 14 運動やスポーツをする（散歩，ラジオ体操などを含む）
 15 日常生活の中でできるだけ体を動かす（車を使わず歩くなどを含む）
 16 身体に良い入浴法を取り入れる（サウナや岩盤浴などを含む）
 17 その他（具体的に：
 18 特にしていない 19 わからない

問3 あなたは、学校の授業や職業として行ったものを除き、この1年間で行った健康のための運動やスポーツなどについて、あてはまるものを選んでください。

《複数選択》

- 1 ウォーキングや散歩など（ノルディックウォーキングなどを含む）
 2 体操（ラジオ体操，ストレッチ体操など）
 3 器具や機械などを使った運動やトレーニング
 4 社交ダンス（フォークダンス，民謡などを含む）
 5 ランニング・ジョギング 6 ヨガ・ピラティス 7 水泳
 8 キャッチボール 9 パークゴルフ 10 ボウリング 11 卓球
 12 バドミントン 13 サッカー・フットサル 14 ミニバレー
 15 テニス 16 ソフトテニス 17 バスケットボール
 18 バレーボール 19 野球 20 ソフトボール 21 ゴルフ
 22 柔道 23 剣道 24 空手道 25 弓道
 26 自転車・サイクリング 27 登山 28 ハイキング 29 釣り
 30 キャンプ 31 スキー・スノーボード・クロスカントリースキー
 32 スケート・アイスホッケー
 33 その他（具体的に：
 34 この1年間に運動・スポーツはしなかった 35 わからない

※問3の「運動・スポーツはしなかった」、「わからない」と答えた方

⇒ 問7①へ

※それ以外の方（いずれかの運動やスポーツを行った方） ⇒ 次の問4①へ

問4① あなたは、運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか？

《1つ選択》

- 1 週に3日以上 2 週に2日以上 3 週に1日以上
 4 月に1～3日 5 年に1～3日 6 わからない

②あなたが運動やスポーツ活動を行う際、おもにどのような時間帯に行っていますか？平日・休日の5つの時間帯からあてはまるもの2つまでを選び、もっとも多い時間帯は◎、次に多い時間帯を○で囲んでください。

No.	区分	8時以前	8時～13時	13時～18時	18時～22時	22時以降
A	平日	1	2	3	4	5
B	休日	1	2	3	4	5

問5①あなたは、主にどこで運動やスポーツを行っていますか？利用している施設等の名称から当てはまるものを選び、該当する数字を○で囲んでください。

《複数選択》

- 1 体育館 2 トレーニング室 3 福住屋内運動広場 4 野球場
 5 ソフトボール場 6 サッカー場 7 テニスコート 8 公園
 9 学校開放事業（小中学校体育館） 10 陸上グラウンド（恵庭公園）
 11 公共施設（地区会館等） 12 パークゴルフ場 13 市民水泳プール
 13 スキー場 14 スケート場 15 歩くスキーコース
 16 総合型地域スポーツクラブ 17 民間スポーツクラブ 18 ゴルフ場
 19 ボウリング場 20 海・山・川・湖 21 自宅
 22 その他（具体的に： _____)

②あなたが、スポーツ施設に望むこととはどのようなことですか？

《3つまで選択》

- 1 総合体育館と同じ規模・内容の施設整備
 2 島松・駒場体育館と同じ規模・内容の施設整備
 3 通年で屋外スポーツが練習可能な施設の整備（通年型屋外スポーツ施設）
 4 全天候型陸上競技場の整備
 5 サッカーやフットサルなどが利用可能な屋外人工芝コート of 整備
 6 テニスコートの統合整備・ナイター照明整備
 7 野球場の整備 8 少年野球専用球場の整備
 9 総合運動公園の整備 10 温水プールの整備
 11 学校体育施設の改修 12 武道場の整備
 12 初心者向けのスポーツ教室やスポーツイベントの充実
 13 スポーツ指導者の配置による指導サービスの充実
 14 利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化 15 利用時間帯の拡大
 16 健康やスポーツに関する情報提供の充実 17 託児施設の設置
 18 利用案内の広報の充実 19 駐車場の整備
 20 その他（具体的に： _____)

問6①あなたは、どのようにして運動やスポーツ活動を行っていますか？

《2つまで選択》

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1 学校の部活動で | 2 職場のクラブで |
| 3 仲間で作っているクラブやサークルで | |
| 4 市やスポーツ団体、スポーツ施設などが行う教室などで | |
| 5 民間スポーツ施設の会員制クラブやスクールなどで | |
| 6 個人で | 7 家族で |
| 8 その他（具体的に：_____） | |

②あなたが運動やスポーツを行ったのは、どのような理由からですか？

《2つまで選択》

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 健康・体力づくりのため | 2 楽しみや気晴らしのため |
| 3 運動不足のため | 4 精神の修養や鍛錬のため |
| 5 家族とのふれあいのため | 6 友人・仲間との交流のため |
| 7 美容や肥満解消のため | 8 自己の記録や能力を向上させるため |
| 9 その他（具体的に：_____） | |
| 10 わからない | |

※次は、問8①へ

問7①【問3ですべてに「していない」を選んだ方にお聞きします。】

あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか？

《1つ選択》

- | | |
|------------------------|----------|
| 1 運動やスポーツは好きではない | ⇒ 問8①へ |
| 2 運動やスポーツをしたかったができなかった | ⇒ 次の設問②へ |

②あなたがしたくてもできなかったのは、どのような理由からですか？

《3つまで選択》

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 仕事や家事が忙しくて時間がとれないから | |
| 2 家族の介護や育児などで時間がとれないから | |
| 3 運動やスポーツは嫌いではないが積極的になれないから | |
| 4 きっかけがなかったから | 5 運動やスポーツが苦手だから |
| 6 年をとって体力に自信がないから | 7 身体が弱いから |
| 8 ケガが怖いから | 9 お金がかかるから |
| 10 仕事や家事の疲れから | 11 家族の協力が得られないから |
| 12 仲間がいないから | 13 身近に場所や施設がないから |
| 14 自分が入りたいクラブやサークルがないから | |
| 15 指導してくれる人がいないから | |
| 16 教室やイベントなどの情報を知らなかったから | |
| 17 他にやりたいことがあったから | |
| 18 その他（具体的に：_____） | |

問8①あなたはこの1年間に、市内で行われた健康や運動、スポーツに関する催しなどに参加しましたか？

《複数選択》

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 えにわ健康・スポーツフェスティバル | |
| 2 恵庭クロスカントリースキー大会 | 3 各種市民スポーツ大会 |
| 4 各種スポーツ教室・講習会 | 5 総合体育館指導サービス事業 |
| 6 スタンプラリー（歩くイベント） | 7 食育講座 |
| 8 サイクリング | |
| 9 その他（具体的に：_____） | |
| 10 参加しなかった | |

※「参加しなかった」を選択された方 ⇒ 次の設問②へ

※それ以外の方 ⇒ 問8③へ

②【問8①で「参加しなかった」を選んだ方にお聞きます。】

あなたが参加しなかったのは、どのような理由からですか？

《1つ選択》

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 興味がないから | 2 催しがあることを知らなかったから |
| 3 時間がないから | 4 お金がかかるから |
| 5 参加したいものがないから | 6 会場までの交通手段がないから |
| 7 その他（具体的に：_____） | |

③あなたが、今後参加してみたいと思う健康や運動、スポーツに関する催しは、どのようなものですか？

《2つまで選択》

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1 歩くことを通した健康・体力づくりを目的とした教室や講習会 | |
| 2 レクリエーション的な事業 | 3 各種スポーツ教室・講習会 |
| 4 大会や競技会 | 5 体力テスト |
| 6 アウトドアスポーツの事業 | 7 指導者としての研修会 |
| 8 その他（具体的に：_____） | |
| 9 わからない | |

問9①あなたは、この1年間でスポーツの指導やスポーツ大会の運営、スポーツクラブなどのお手伝いなど運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか？

《1つ選択》

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 日常的・定期的に行った | 2 イベント・大会で不定期に行った |
| 3 行っていない | 4 わからない |

※「3」または「4」を選択された方 ⇒ 問9③へ

※それ以外の方 ⇒ 次の設問②へ

②そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか？

《1つ選択》

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 運動・スポーツの指導 | 2 スポーツの審判 |
| 3 スポーツクラブ・団体の運営や世話 | |
| 4 大会・イベントの運営や世話 | |
| 5 その他（具体的に： _____） | |
| 6 わからない | |

③あなたはどのようなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか？

《複数選択》

- | | | |
|-------------------------------|--------------------|-----------|
| 1 好きなスポーツの普及・支援 | | |
| 2 地域での居場所、役割、生きがい | | |
| 3 出合い・交流の場 | 4 指導・大会運営スキルの取得・活用 | |
| 5 社会貢献 | 6 顕彰や表彰 | 7 実費程度の謝金 |
| 8 特に動機づけは必要ない | | |
| 9 その他（具体的に： _____） | | |
| 10 どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない | | |
| 11 わからない | | |

問10①あなたは、スポーツが個人や社会にもたらす効果について当てはまると思うものはどれですか？

《複数選択》

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 健康・体力の保持増進 | 2 精神的な充足感 |
| 3 青少年の健全な育成 | 4 リーダーシップ・コミュニケーション能力 |
| 5 夢と感動 | 6 リラックス・癒し・爽快感 |
| 7 達成感の獲得 | 8 生産性の向上、仕事・学業の能率アップ |
| 9 経済の活性化 | 10 人と人との交流 |
| 11 地域の一体感や活力 | 12 国際相互理解の促進 |
| 13 国際的地位の向上 | 14 長寿社会の実現 |
| 15 他者を尊重し協働する精神 | 16 フェアプレー精神の醸成 |
| 17 豊かな人間性 | |
| 18 その他（具体的に： _____） | |
| 19 どれもあたらない | 20 わからない |

②あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか？

《1つ選択》

- | | | |
|----------|---------|-------------|
| 1 大切 | 2 まあ大切 | 3 あまり大切ではない |
| 4 大切ではない | 5 わからない | |

問11①あなたは、スポーツ観戦に関心がありますか？

《複数選択》

- 1 テレビやラジオ中継で視聴する
- 2 よく会場まで行って観戦する
- 3 スポーツはしないが観戦するのは好き
- 4 ファンクラブなどに加入して会場で応援している
- 5 スポーツをすることは好きだが観戦には興味がない
- 6 スポーツにはまったく興味がない

※「5」または「6」を選択された方 ⇒ 問10①へ

※それ以外の方 ⇒ 次の設問②へ

②【問11①で1から4を選んだ方にお聞きします。】

あなたは、どのようなスポーツの観戦をしていますか？

《複数選択》

- 1 野球や相撲、サッカーなどのプロスポーツ
- 2 オリンピックやワールドカップなどの国際大会
- 3 国体や駅伝などの全国大会
- 4 全道大会や市町村規模の大会
- 5 学校行事や職場内での親睦大会
- 6 家族などが出場する大会
- 7 自分の関心が高い競技の大会
- 8 その他（ ）

③あなたが観戦した、または観戦したい種目は、どのようなものですか？

《複数選択》

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------|----------|
| 1 野球 | 2 サッカー | 3 バスケットボール | 4 バレーボール |
| 5 テニス | 6 ゴルフ | 7 陸上競技 | 8 ボクシング |
| 9 相撲 | 10 卓球 | 11 ソフトテニス | 12 カーリング |
| 13 マラソン・駅伝 | 14 スキージャンプ | 15 スピードスケート | |
| 16 フィギュアスケート | 17 その他（具体的に： ） | | |
| 18 特にない | | | |

問12①あなたの知りたい健康や運動、スポーツに関する情報とは、どのようなものですか？

《複数選択》

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 運動・健康づくりに関する情報 | 2 大会・イベントの情報 |
| 3 サークルなどの団体に関する情報 | 4 指導者に関する情報 |
| 5 障がい者スポーツに関する情報 | 6 スポーツ施設等の概要の情報 |
| 7 ボランティアに関する情報 | 8 施設の予約状況 |
| 9 その他（具体的に： ） | |
| 10 特にない | |

②あなたは、健康や運動、スポーツに関する情報をどこから入手しますか？また、どこから入手したいと思いますか？

《複数選択》

- | | | |
|-------------|------------------------------|-----------|
| 1 市広報誌 | 2 新聞・雑誌 | 3 テレビ・ラジオ |
| 4 公共施設 | 5 地域コミュニティ紙 | 6 インターネット |
| 7 メール配信サービス | 8 Face book、Instagram、などのSNS | |
| 9 その他（具体的に： | | ） |
| 10 特にな | | |

問13 あなたは、今後の恵庭市が、夢と健康を育むスポーツ都市として発展していくためには、どのようなことに取り組むべきとお考えですか？

《3つまで選択》

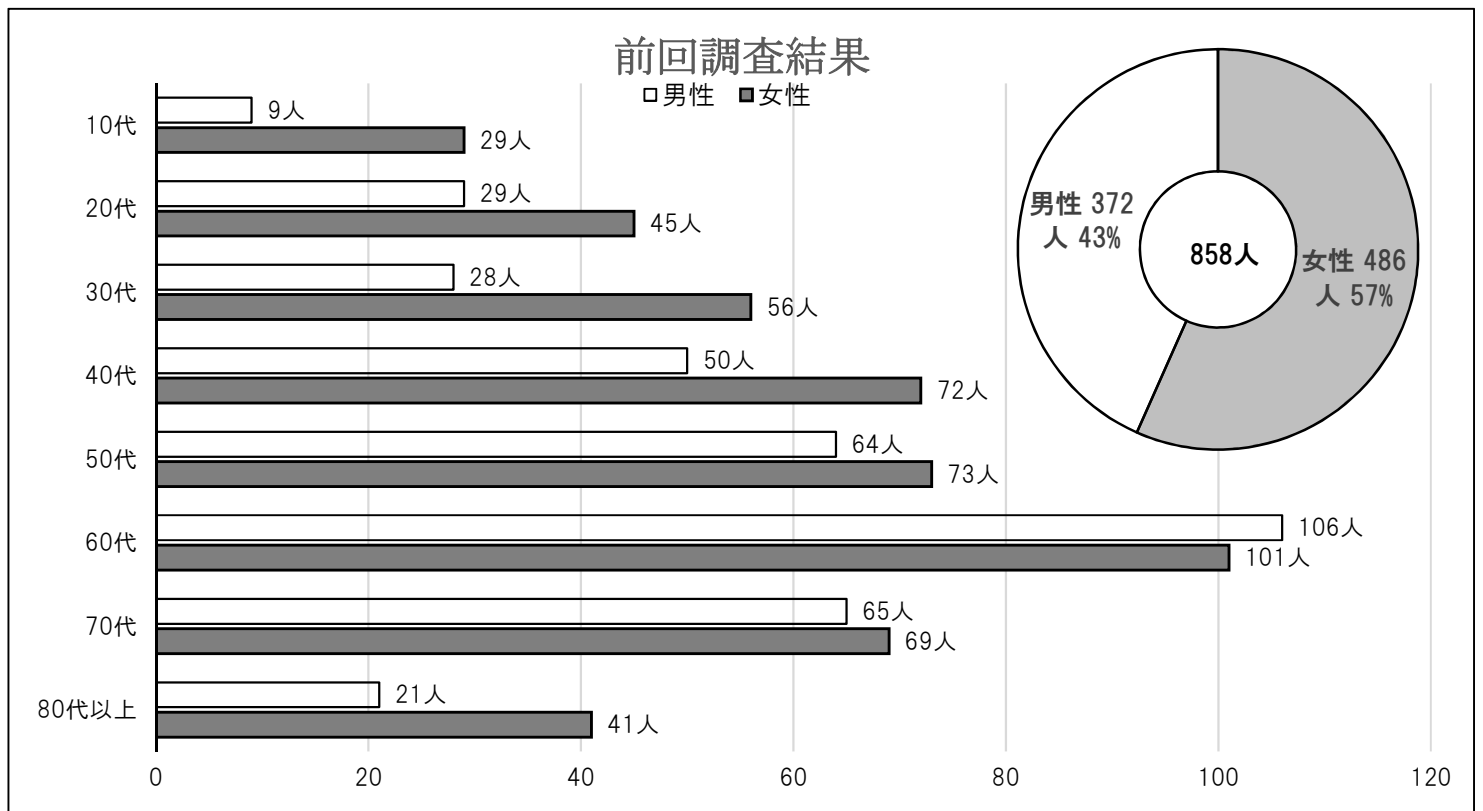
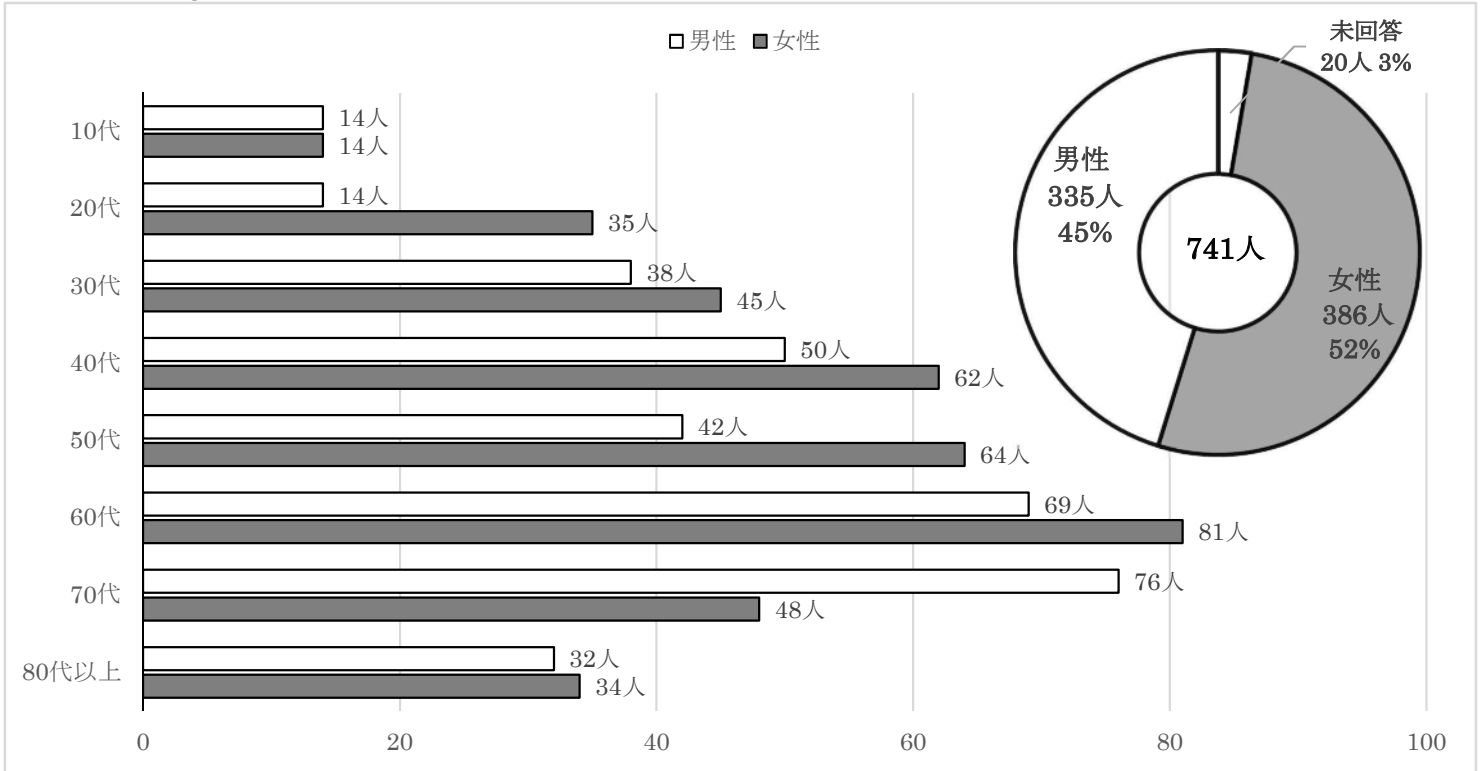
- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 スポーツ教室等の充実 | 2 大会やイベントなどの開催 |
| 3 競技力向上の促進 | 4 スポーツ施設の整備 |
| 5 スポーツ指導者の養成 | 6 全道・全国規模スポーツ大会の誘致 |
| 7 子どもの体力の向上 | 8 高齢者のいきがいづくり |
| 9 歩くことを通した健康・体づくり事業の充実 | |
| 10 障がい者も参加しやすいスポーツイベントなどの実施 | |
| 11 健康・体づくりを含めたスポーツに関する相談窓口の開設 | |
| 12 スポーツ情報提供の充実 | 13 スポーツボランティアの養成 |
| 14 スポーツ団体の活動支援 | 15 eスポーツの普及・振興 |
| 16 学校運動部活動の充実 | 17 全国大会等出場者への補助制度の充実 |
| 18 利用しやすい施設運営 | 19 広域なサイクリングロードの整備 |
| 20 ウォーキングやジョギングなどができる道路整備 | |
| 21 手軽にスポーツができる公園整備 | |
| 22 スポーツ活動を通じた青少年の健全育成 | |
| 23 その他（具体的に： | ） |
| 24 期待するもの、力を入れる必要はない | 25 特にな |

【本調査にご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。】

この用紙ごと同封の返信用封筒にて、**7月31日まで**にご投函ください。
なお、いただいたご意見は、これからのスポーツ振興に役立ててまいります。
ご協力、誠にありがとうございました。

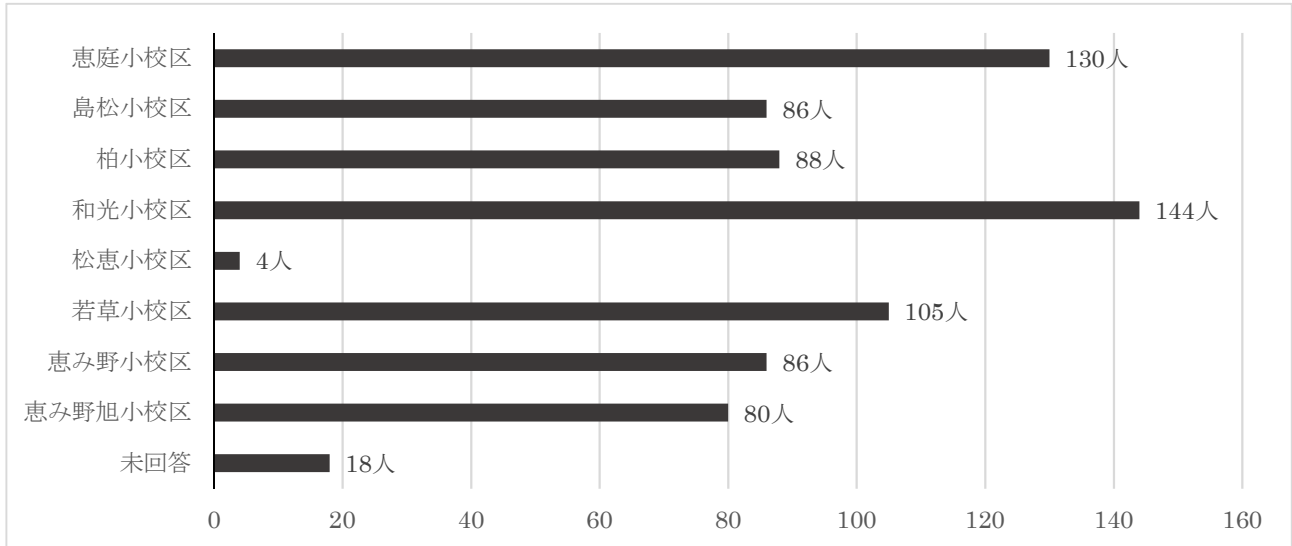
■ 調査結果の分析

問1 ①あなたの性別を教えてください。
 ②あなたの年齢は、次のどれにあたりますか？

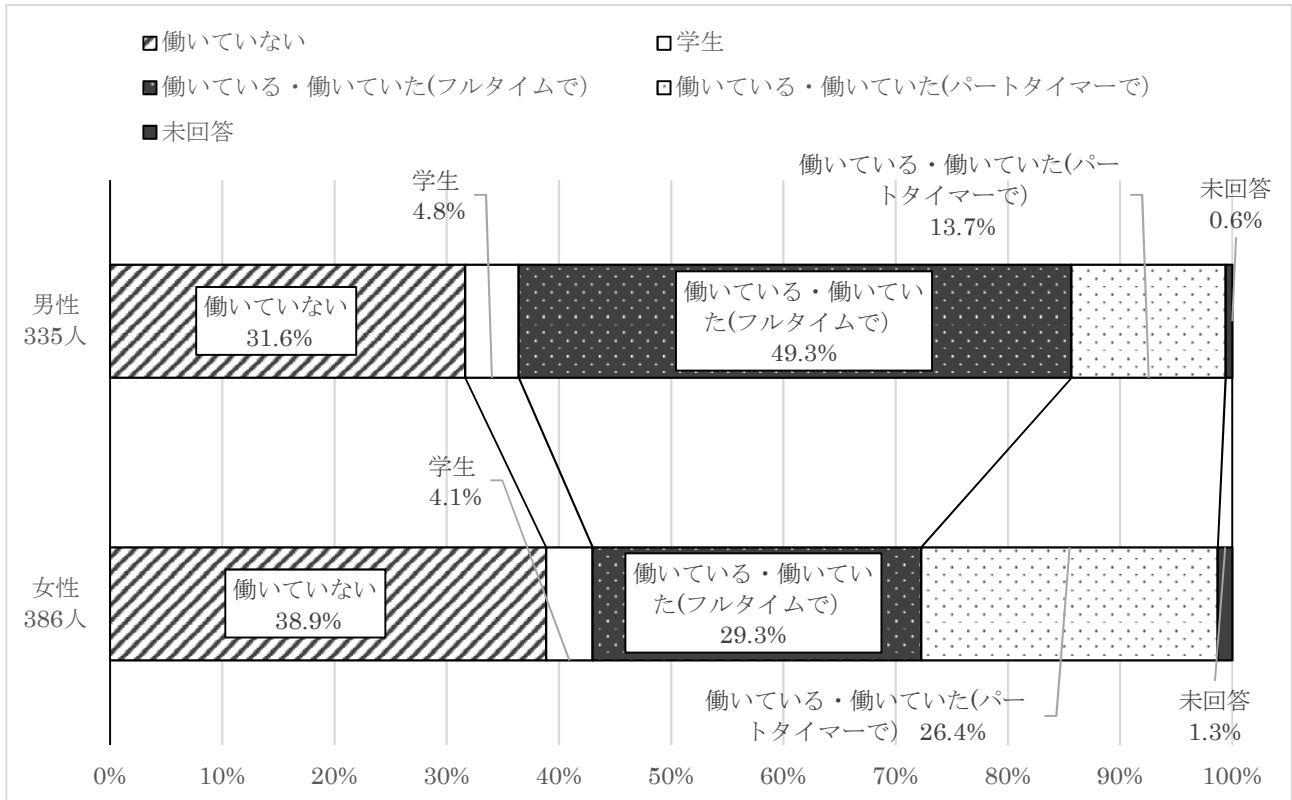


□回答については、前回に比べ回答数が減少しているものの割合への大きな変化はなかった。もっとも回答が多いのは、前回と同様に60代であった。

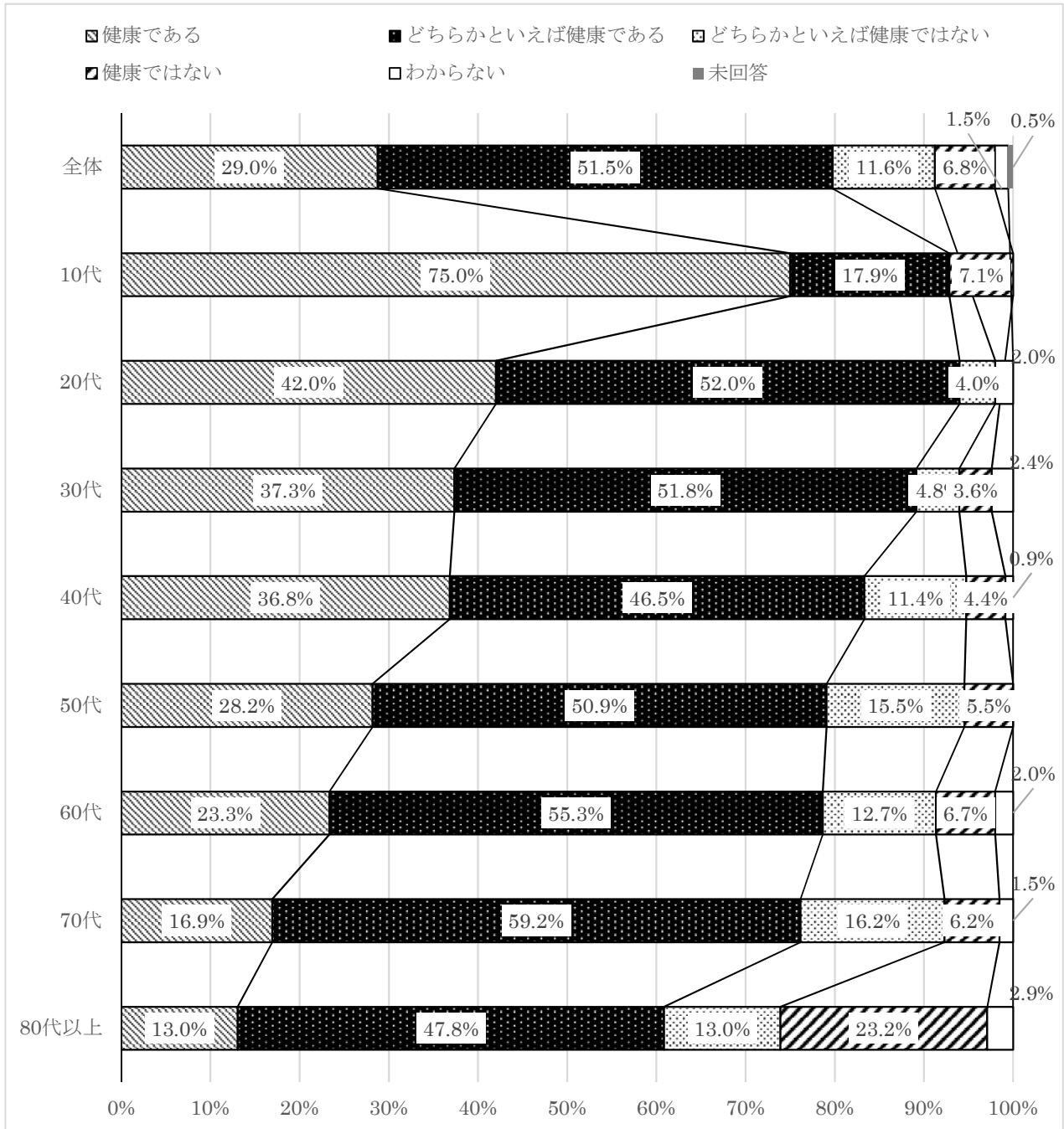
③あなたのお住まいの小学校区域は、次のどれにあたりますか？わからない場合は、お近くの小学校名から選んでください。



④あなたは、この1年間に働いていましたか？《1つ選択》

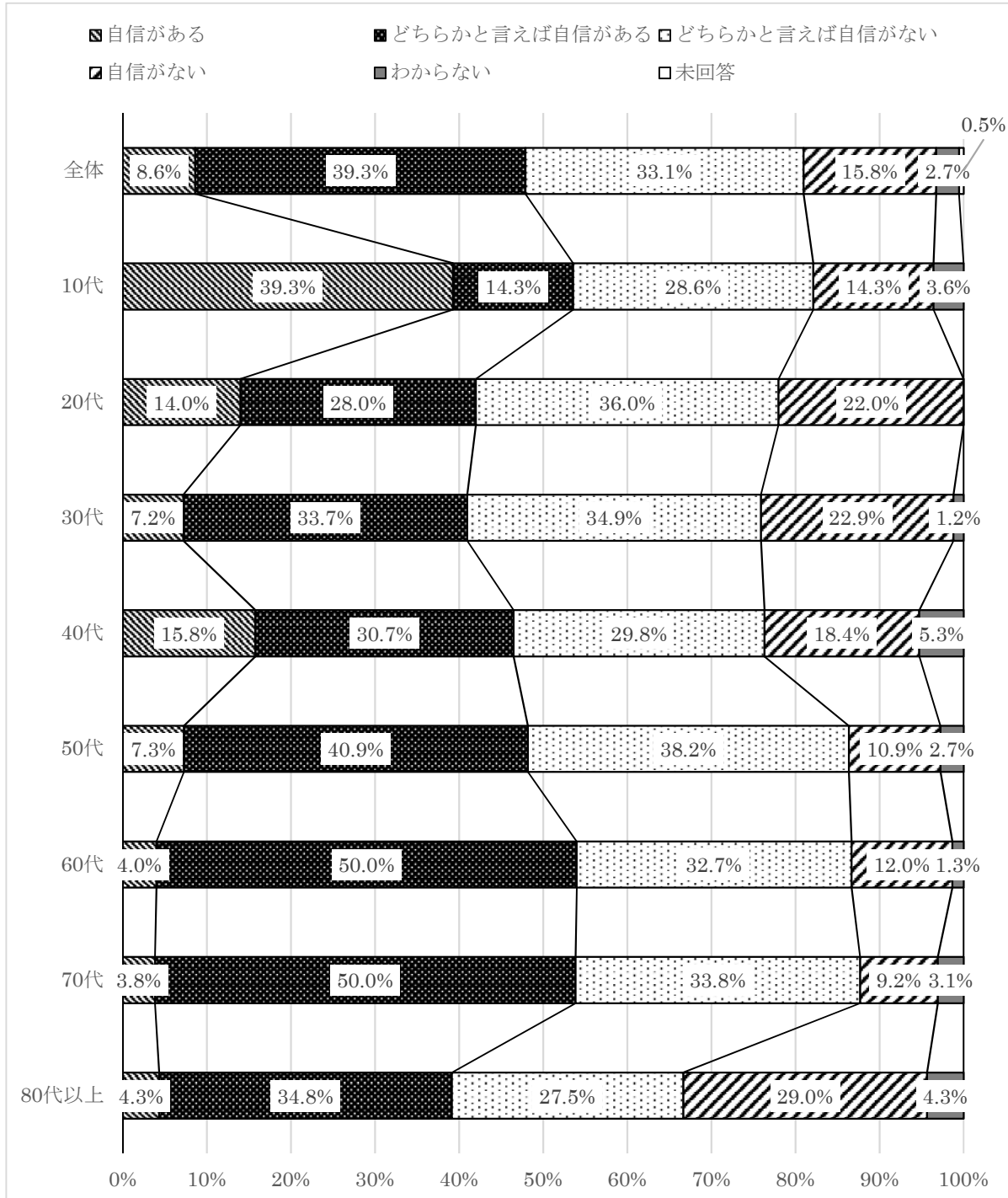


問2①あなたは現在、ご自身の健康状態をどう思われていますか？《1つ選択》



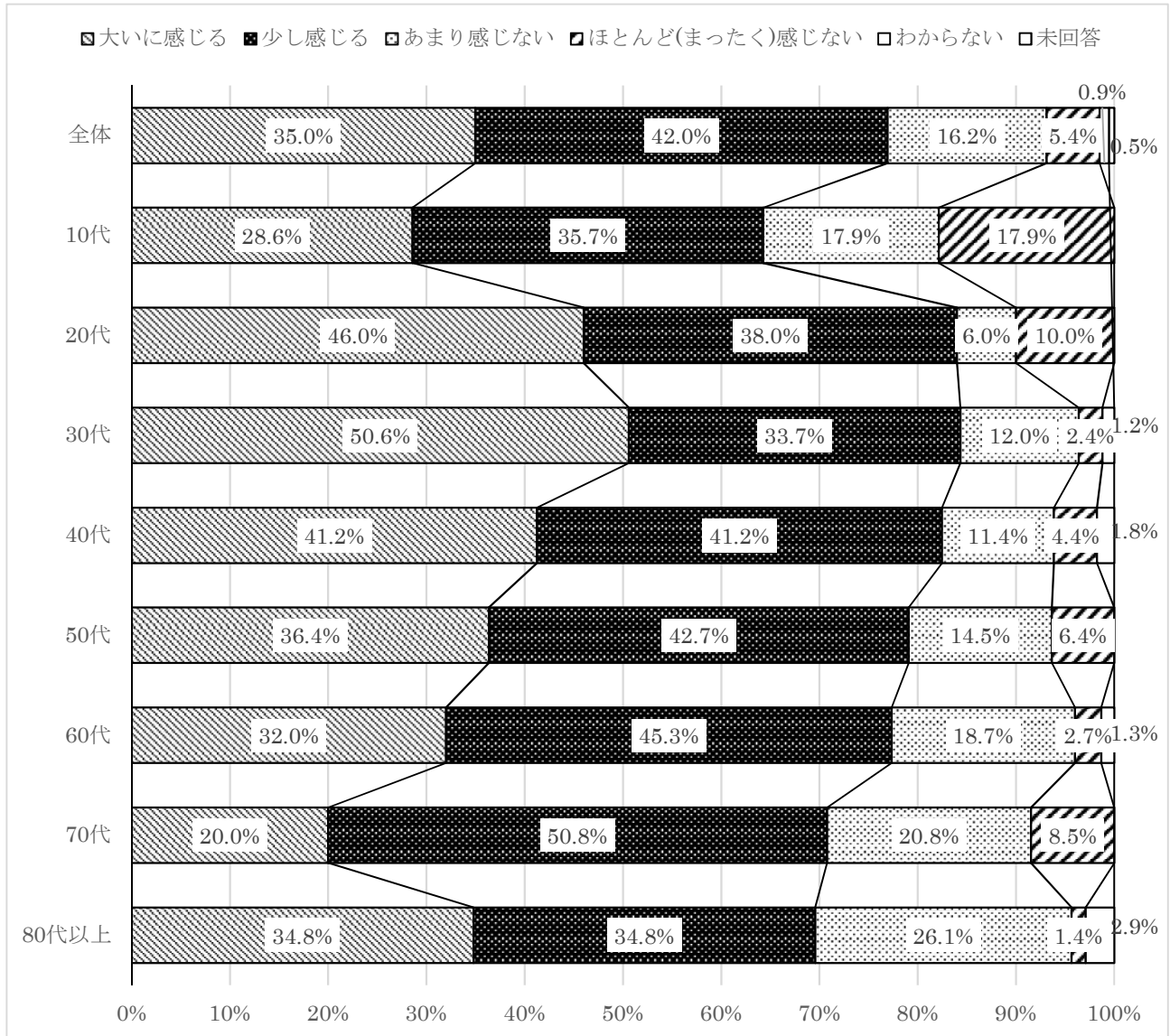
□「健康である」、「どちらかと言えば健康である」と回答した人は前回と同様に全体のおよそ8割であり、各年代とも自らを健康と思っている割合が高いが、20代をピークに年代が上がるにしたがって減少傾向がみられる。

②あなたは現在、ご自身の体力についてどう思われていますか？《1つ選択》



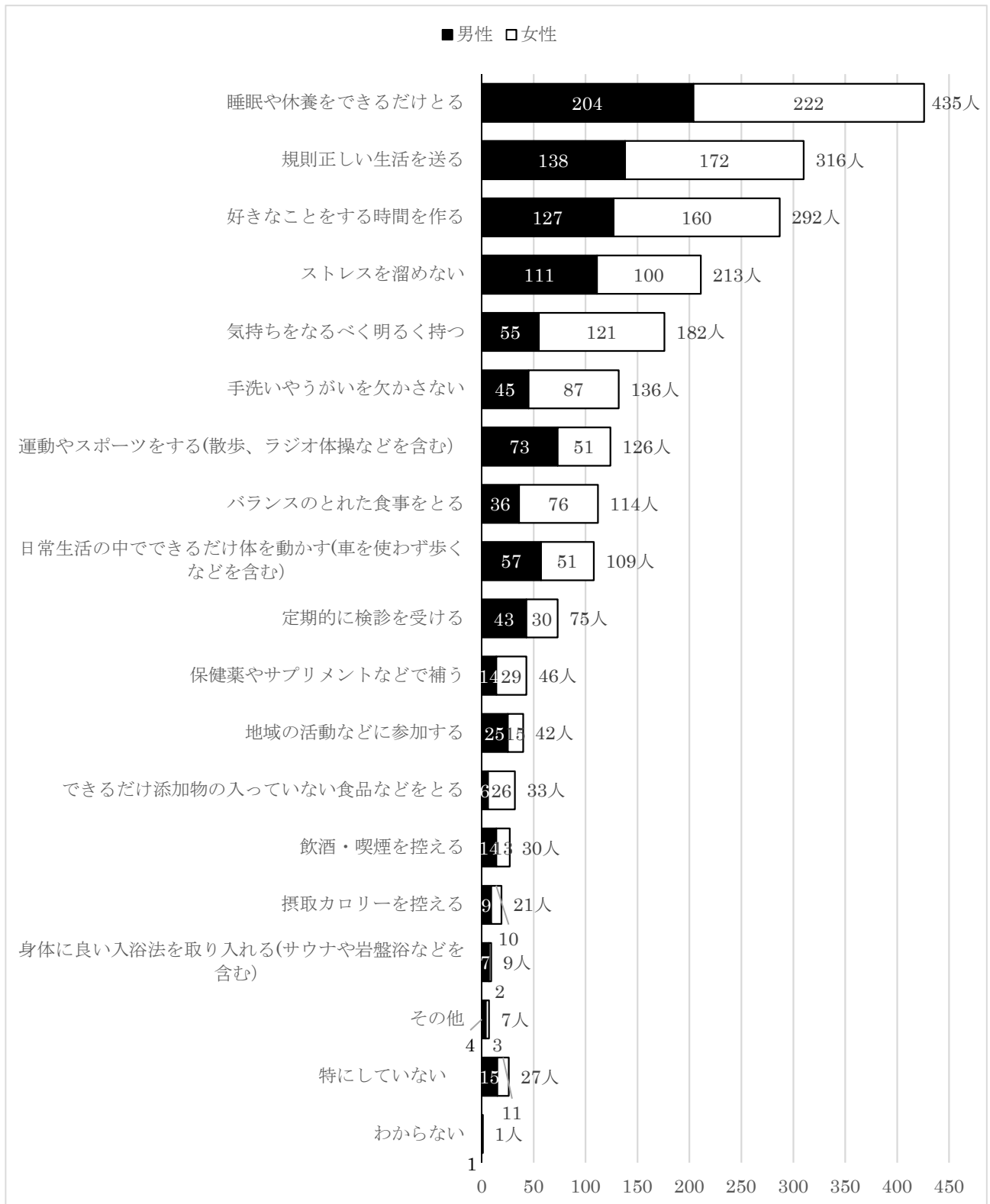
- 「自信がある」「どちらかと言えば自信がある」と回答した人は全体の5割弱であり、前回と同様に60・70代に比べ、20・30・40・50代の割合が低い。
- 問2①の設問で、8割の人が「健康である」、「どちらかといえば健康である」と感じているにもかかわらず、本設問の「体力に自信がある」、「どちらかといえば自信がある」と感じている人の割合が5割弱という結果になっており、この傾向は前回と同様である。

③あなたは現在、運動不足を感じますか？《1つ選択》



□前回より改善が見られるものの依然4人に3人は運動不足を感じている。特に、30代では5割以上の方が「大いに感じる」と回答している。

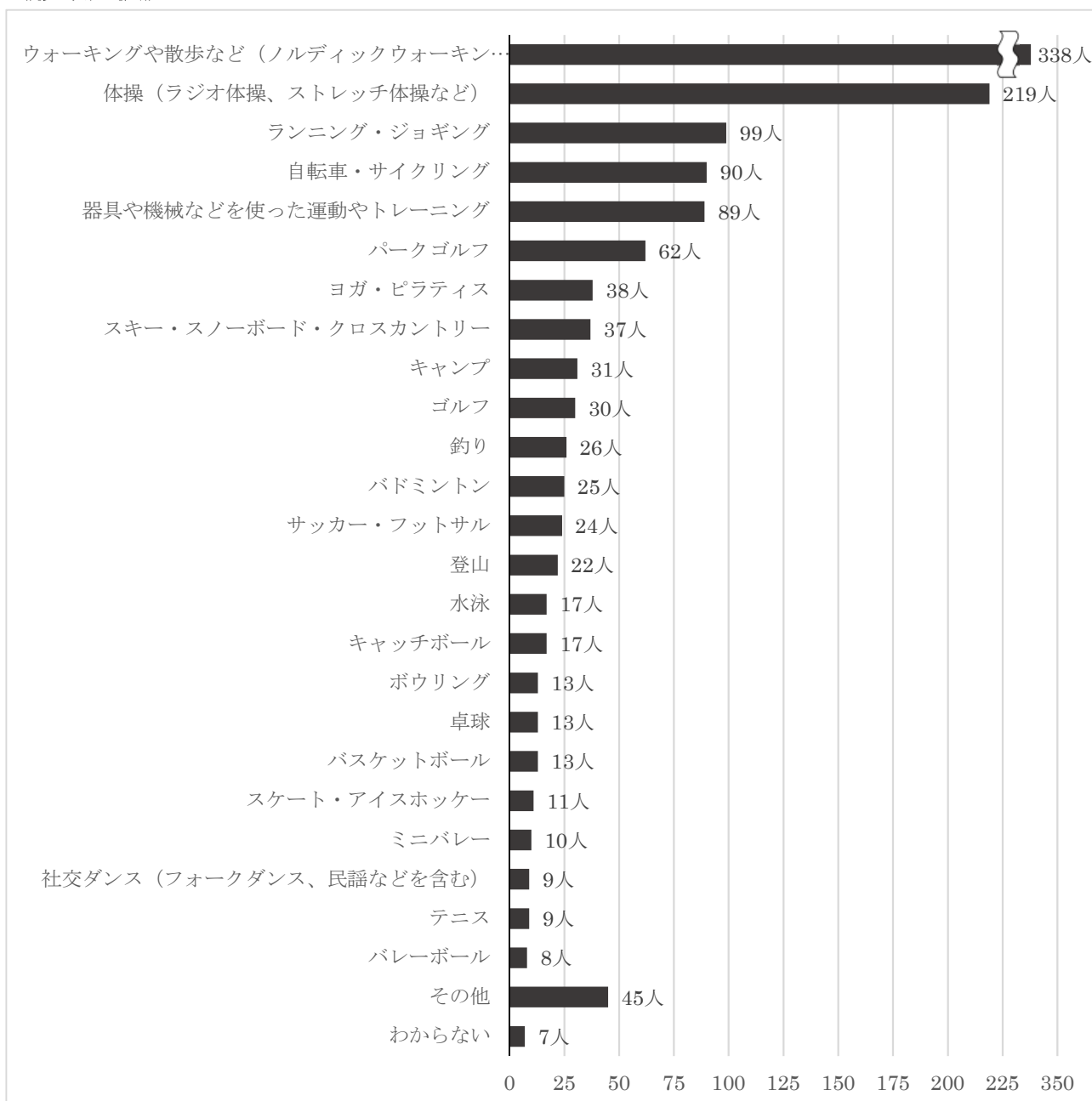
④あなたは、日頃から健康や体力維持のために心がけていることはありますか？
《3つまで選択》



- 「睡眠や休養をできるだけ取る」、「規則正しい生活を送る」、「好きなことをする時間を作る」が前回と同様に、上位を占めている。
- 食生活から健康を気遣う回答も増えている。また、近年は病院や検診などでの指導のほか、あらゆるメディアからの多くの情報を得る機会が増大しており、そこから得た情報なども参考に各自が健康への取り組みを行っているものとする。

問3 あなたは、学校の授業や職業として行ったものを除き、この1年間で行った健康のための運動やスポーツなどについて、あてはまるものを選んでください。

《複数選択》

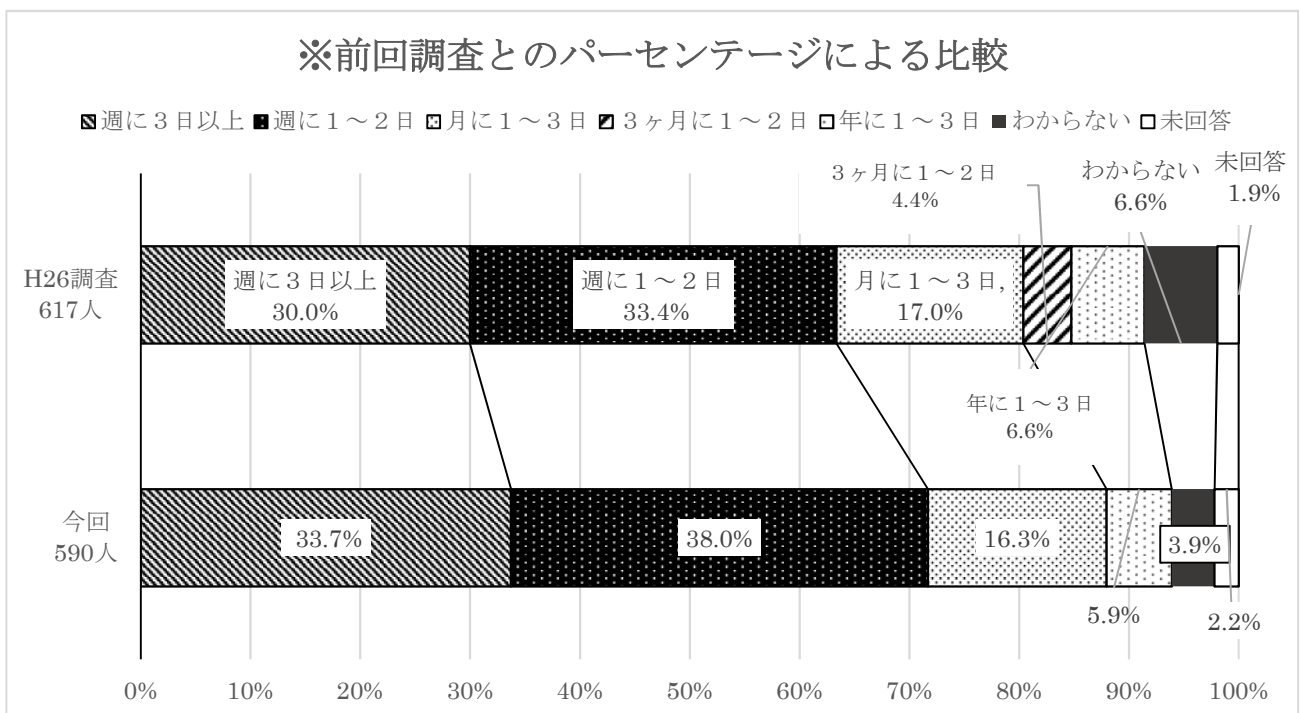
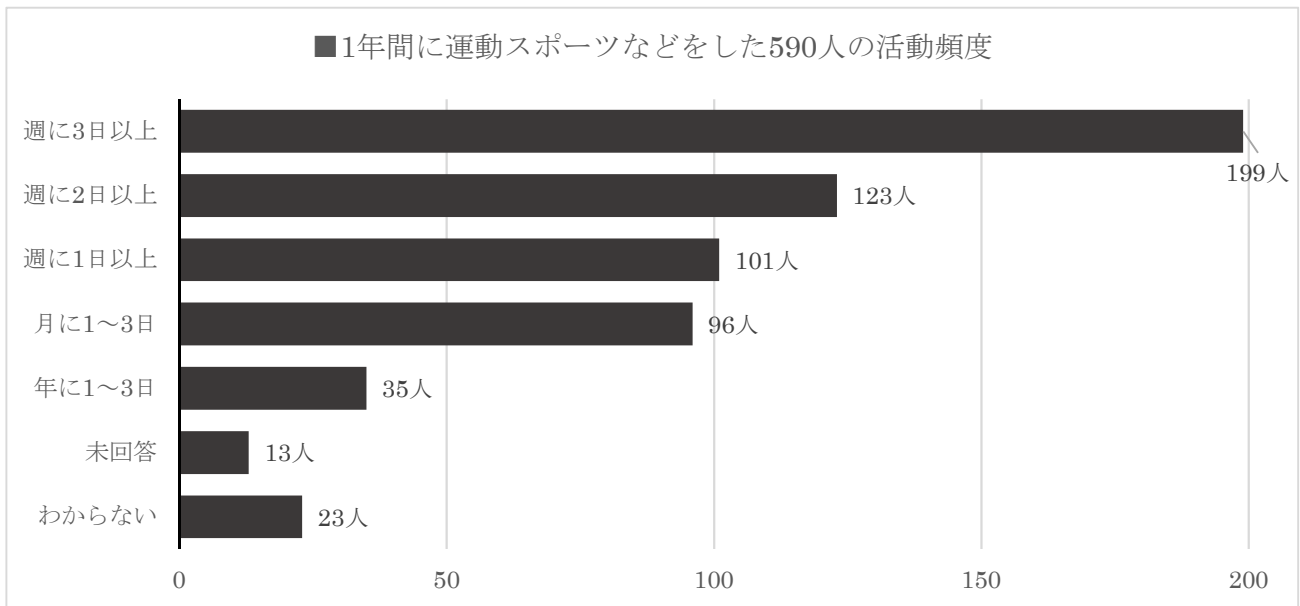


●以下は8人未満の回答

- 6人…野球
- 4人…ハイキング
- 2人…ソフトテニス、弓道

□前回と同様に「ウォーキングや散歩など」の回答がもっとも多く、「体操」、「ランニング・ジョギング」、「自転車・サイクリング」、「器具や機械などを使った運動やトレーニング」、「パークゴルフ」など、個人でも行える運動の回答が多い。

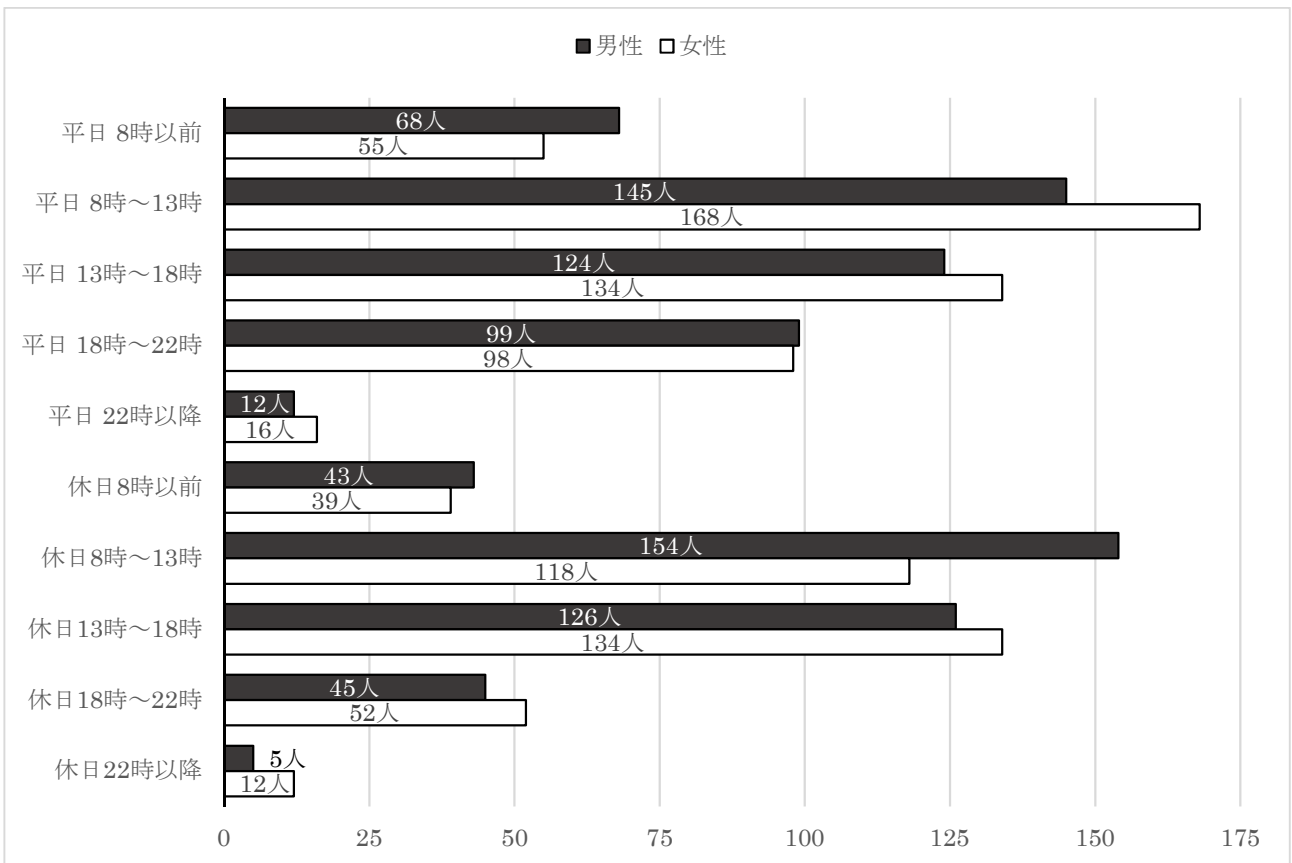
問4①あなたは、運動やスポーツ活動をどのくらいの頻度で行いましたか？
《1つ選択》



※今回調査のグラフについて「週に1～2日」は前回との比較のため数値を合算、また「3カ月に1～3日」は選択肢から削除。

- 前回と比較し、1週間当たりの運動やスポーツ活動の実施頻度は増加している。
- 活動の内容は、「散歩・ウォーキング」、「体操など」、「器具や機械などを使った運動やトレーニング」、「ランニング・ジョギング」、「サイクリング」、「パークゴルフ」となっている。
- 通勤や買い物などの機会を積極的に歩くことで運動に結び付ける人が増えており、毎日が運動機会となっていることも頻度の増加につながっているものと考えられる。

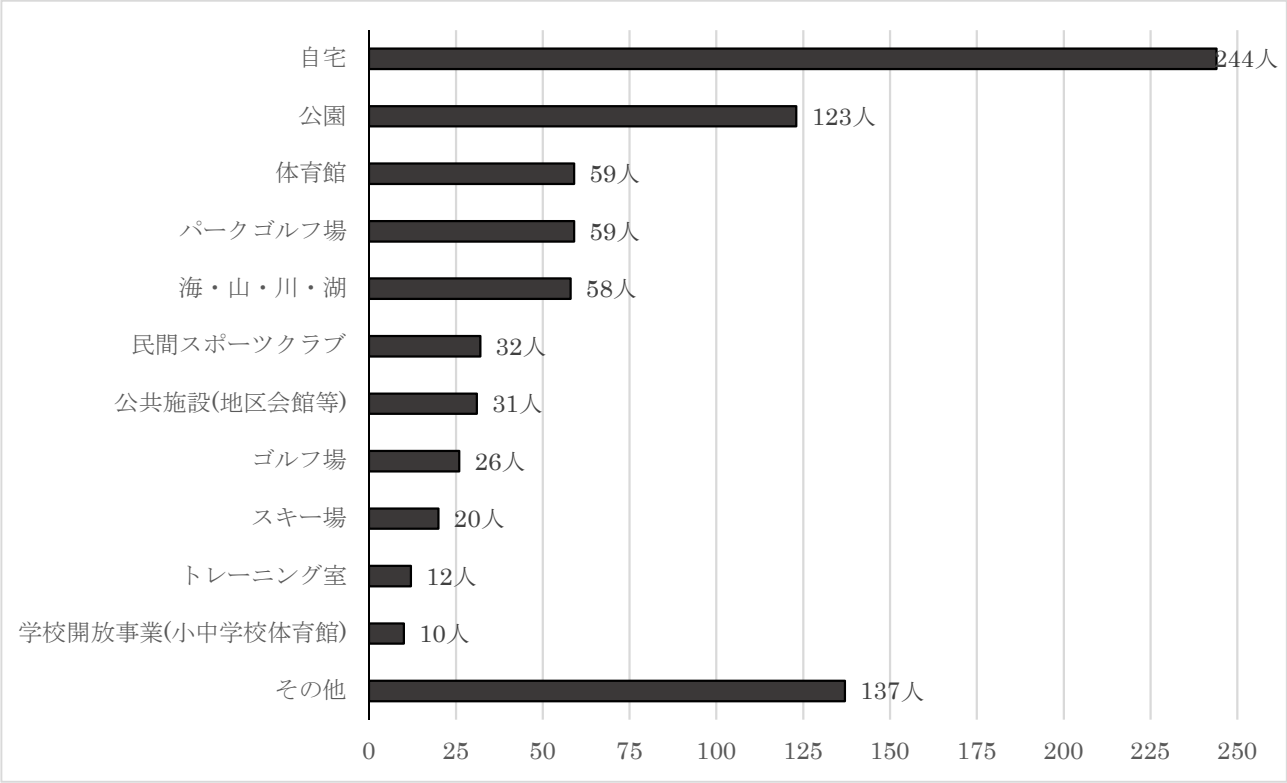
問4②あなたが運動やスポーツ活動を行う際、おもにどのような時間帯に行っていますか？平日・休日の5つの時間帯からあてはまるもの2つまでを選び、もっとも多い時間帯は◎、次に多い時間帯を○で囲んでください。



- 平日の8時～13時、同じく13時～18時の時間帯で特に回答が多かったのは60・70代の人であった。
- 休日の8時～13時、同じく13時～18時の時間帯で特に回答が多かったのは40～70代の人であった。
- 平日の18時～22時の時間帯で回答が多かったのは、20～50代の人であった。
- 休日の18時～22時の時間帯で回答が多かったのは、40代の人であった。

問5①あなたは、主にどこで運動やスポーツを行っていますか？利用している施設等の名称から当てはまるものを選び、該当する数字を○で囲んでください。

《複数選択》



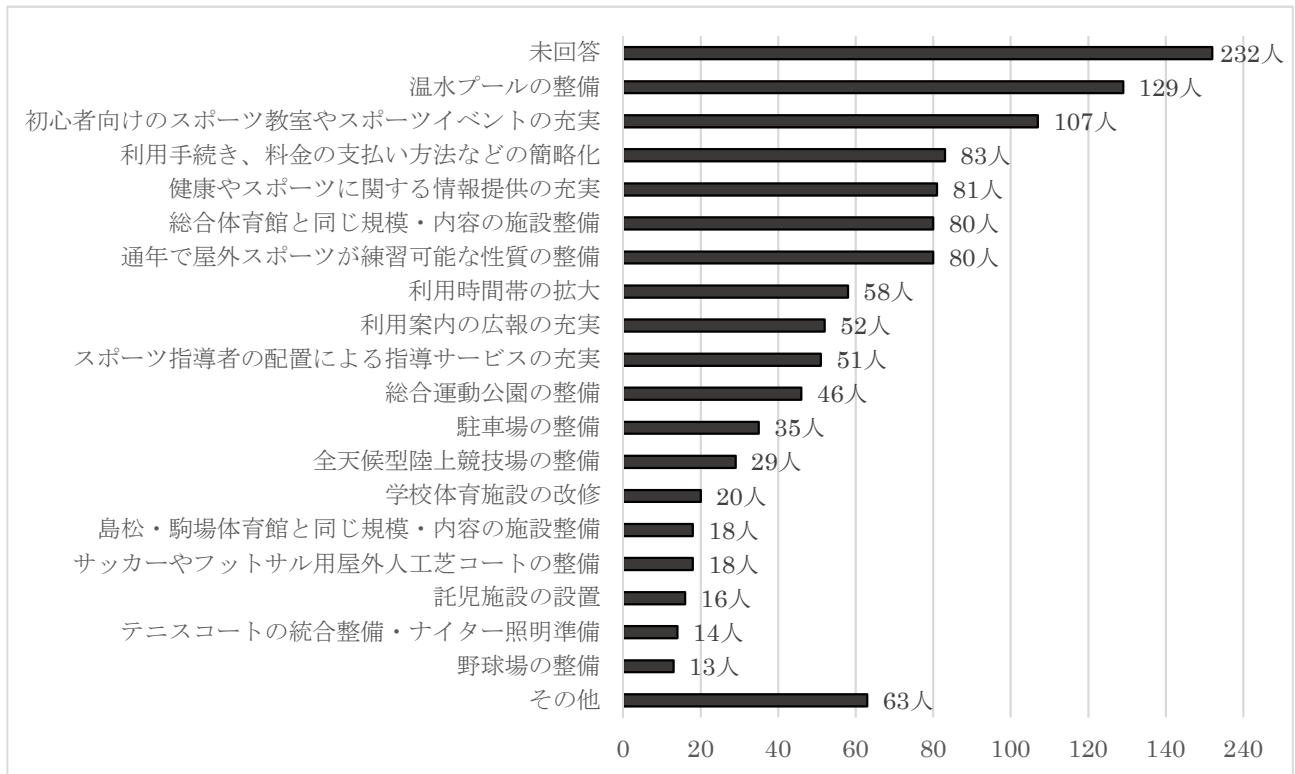
●以下は10人未満の回答

- 8人…サッカー場、テニスコート、陸上グラウンド(恵庭公園)、市民水泳プール、歩くスキーコース
- 7人…スケート場、総合型地域スポーツクラブ
- 5人…野球場
- 4人…福住屋内運動広場、ボウリング場
- 2人…ソフトボール場

□「その他」の回答のうち、道路・歩道と回答した人は90人を占めている。

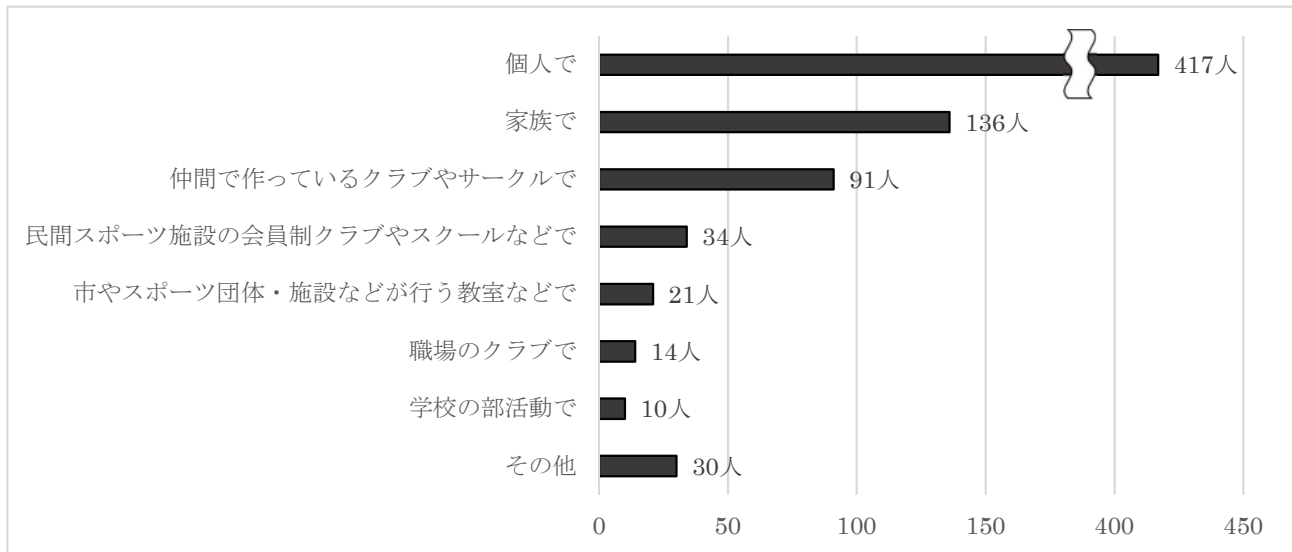
②あなたが、スポーツ施設に望むこととはどのようなことですか？

《3つまで選択》



□前回と同様に「温水プールの整備」が最多(未回答を除く)となっており、年代では特に30～60代の回答が多い。

問6①あなたは、どのようにして運動やスポーツ活動を行っていますか？

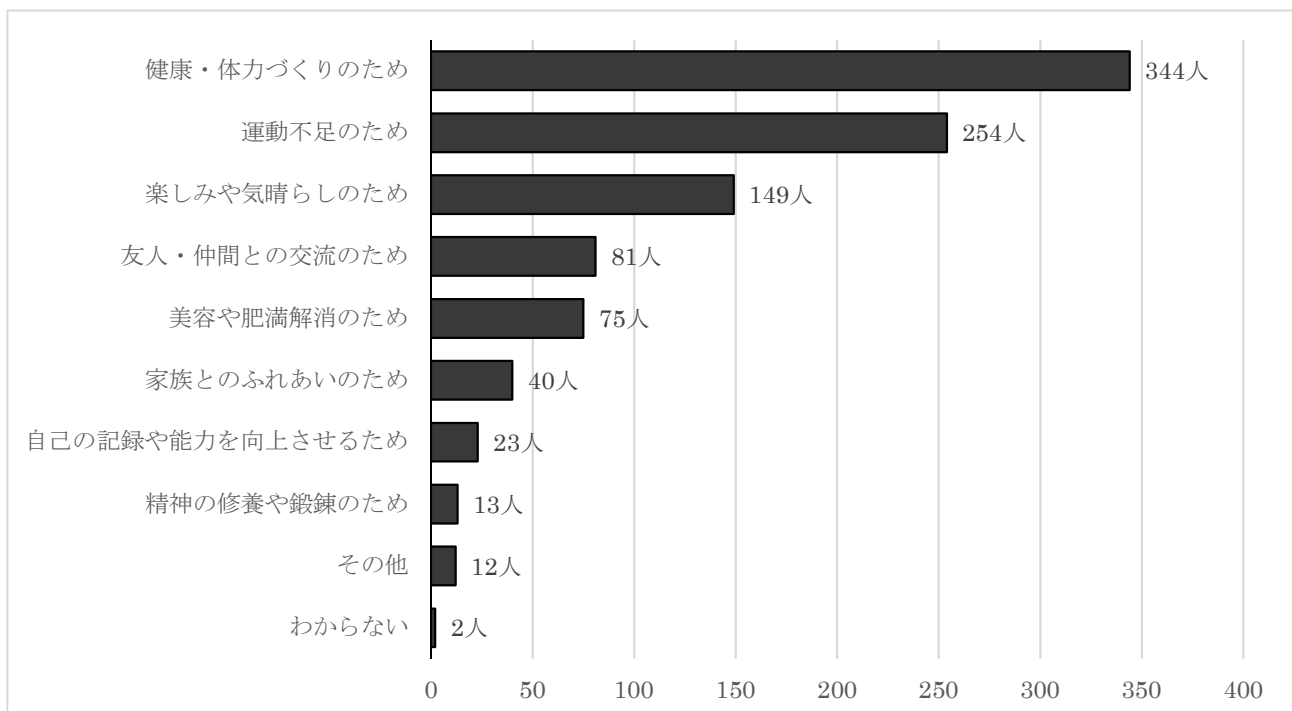


□「個人で」を回答した人が行っている主なものは、前回と同様、散歩からランニングまでの歩く・走る系、サイクリング、体操、器具を使ったトレーニング、パークゴルフとなっている。

□「家族で」を回答した人が行っている主なものも、前回と同様、散歩からランニングまでの歩く・走る系、体操、サイクリングとなっている。

②あなたが運動やスポーツを行ったのは、どのような理由からですか？

《2つまで選択》

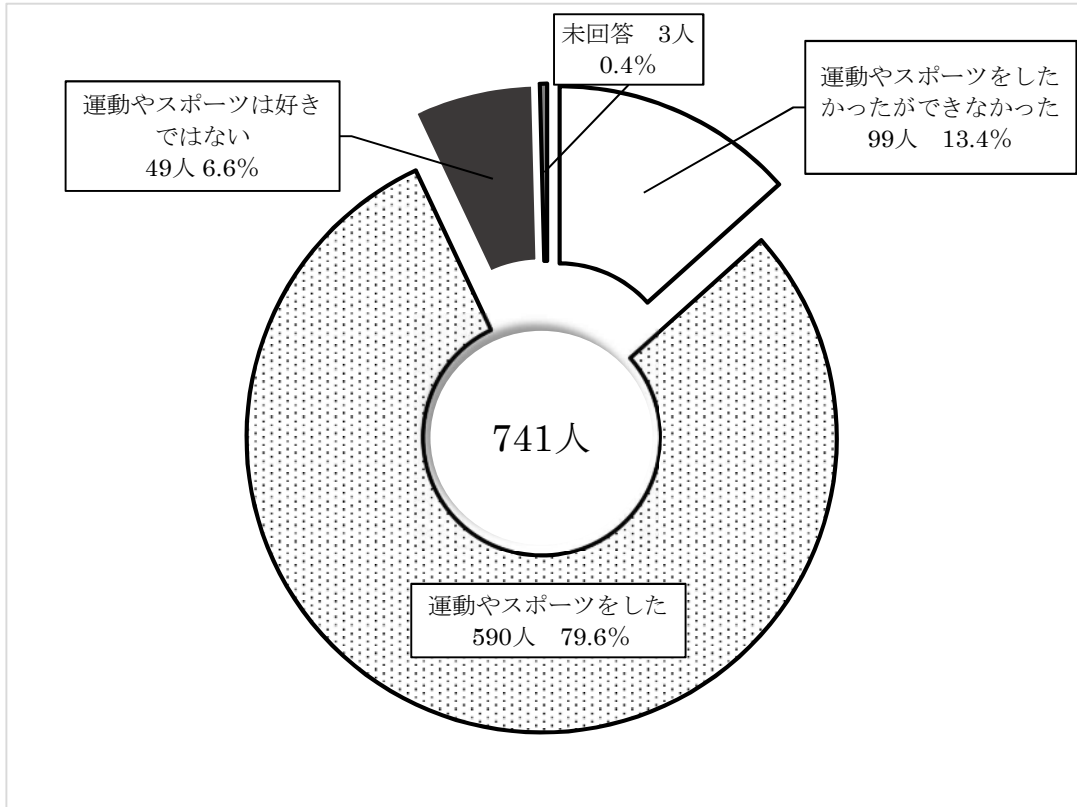


- 「健康・体力づくりのため」と回答された内、およそ6割が問2の②自身の体力についての設問で、「自信がある」、「どちらかと言えば自信がある」と回答している。
- 「運動不足のため」と回答された人の内、およそ8割が問2③「運動不足を感じる」の設問で「大いに感じる」、「少し感じる」と回答している。

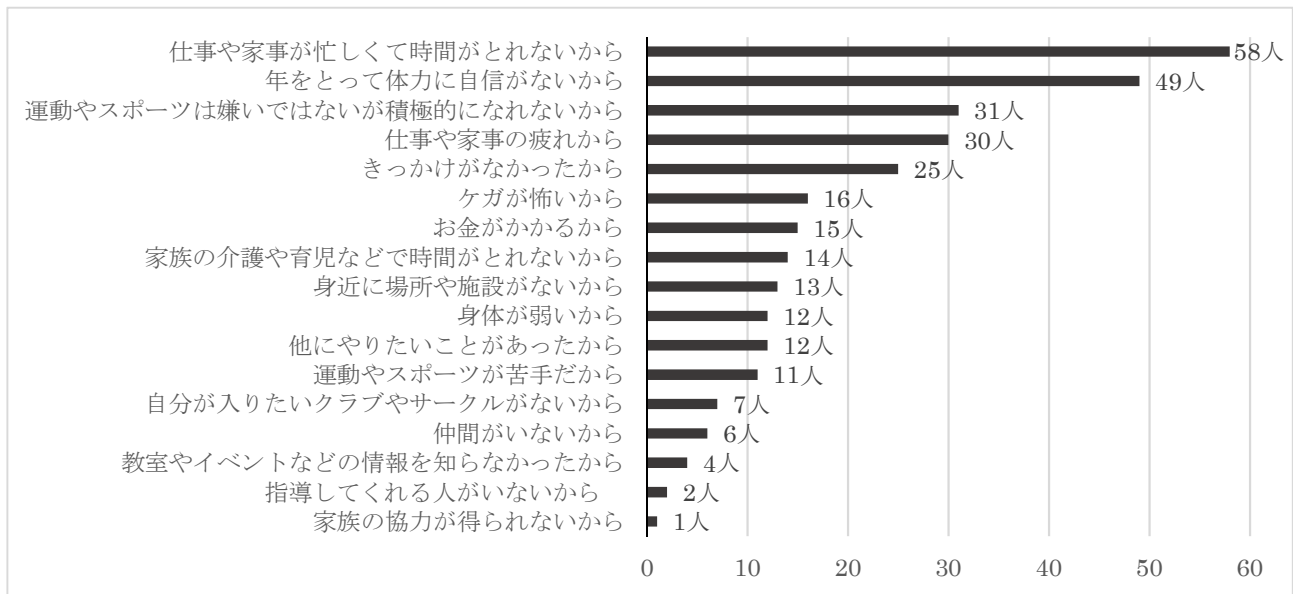
問7①【問3ですべてに「していない」を選んだ方にお聞きします。】

あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか？

《1つ選択》



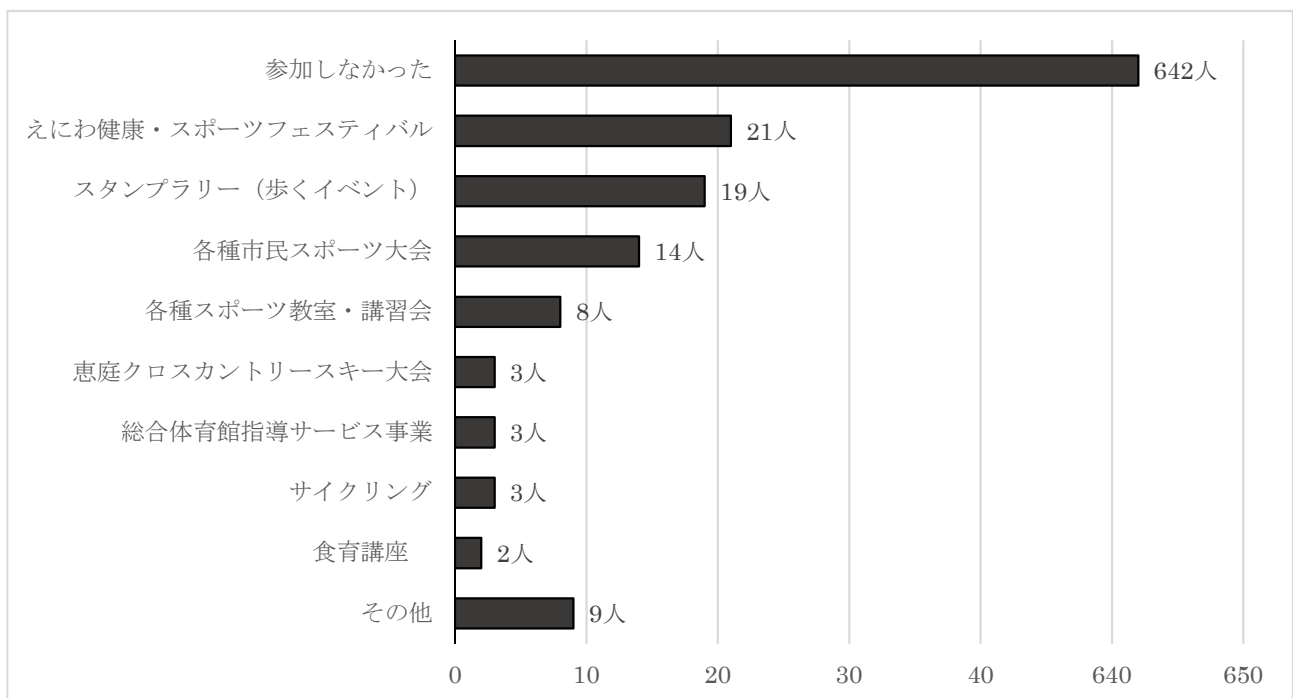
②あなたがしたくてもできなかったのは、どのような理由からですか？
《3つまで選択》



□前回調査に引き続き、「仕事や家事が忙しくて時間が取れない」という理由が多い。

□「運動やスポーツをしたかったができなかった」と回答した人は、女性が6割程度である。

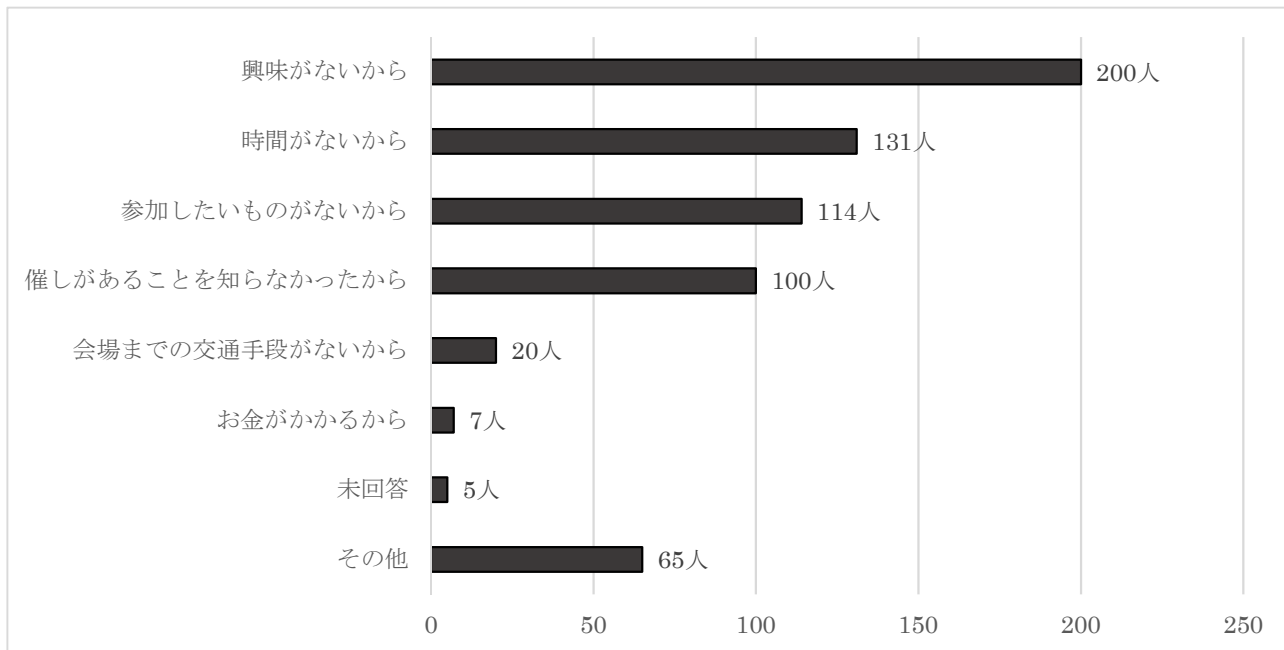
問8①あなたはこの1年間に、市内で行われた健康や運動、スポーツに関する催しなどに参加しましたか？《複数選択》



②【問8①で「参加しなかった」を選んだ方にお聞きします。】

あなたが参加しなかったのは、どのような理由からですか？

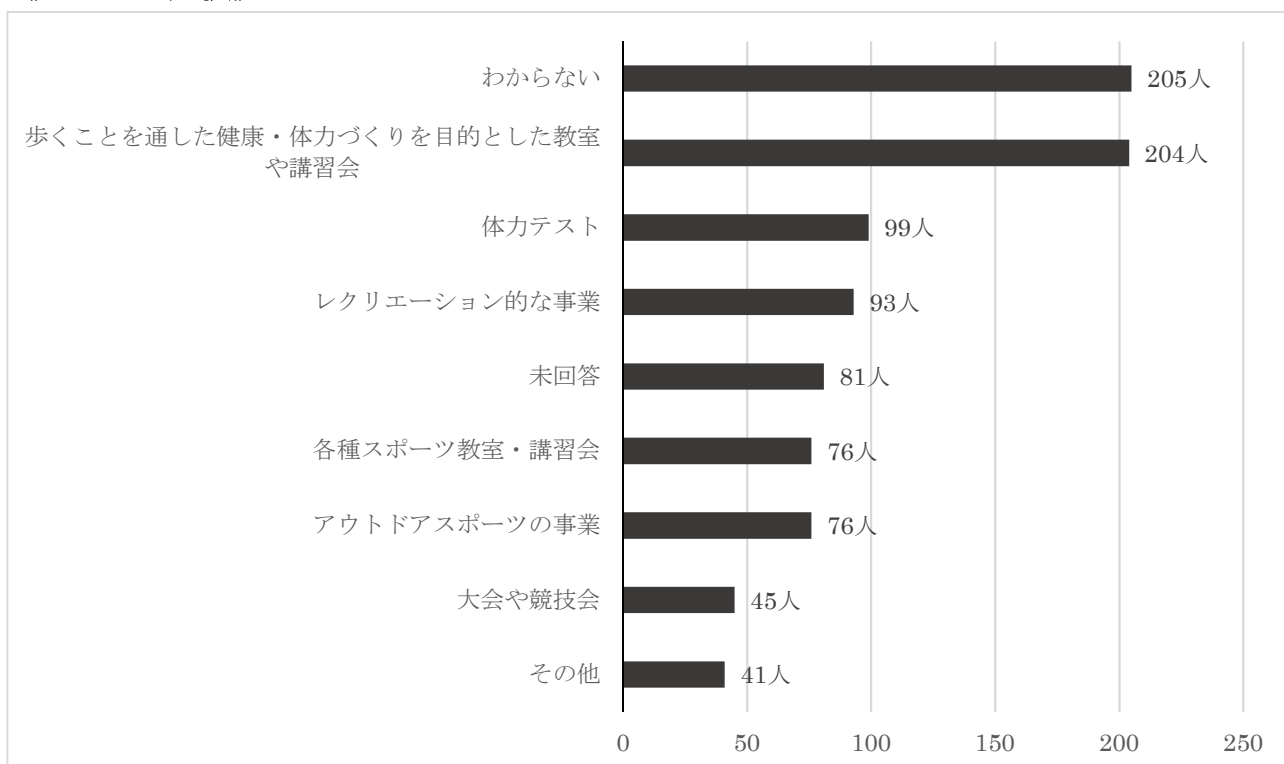
《1つ選択》



□イベントは祝日や連休に設定されることが多く、家庭の行事や他のイベントなどとバッティングするケースもある。

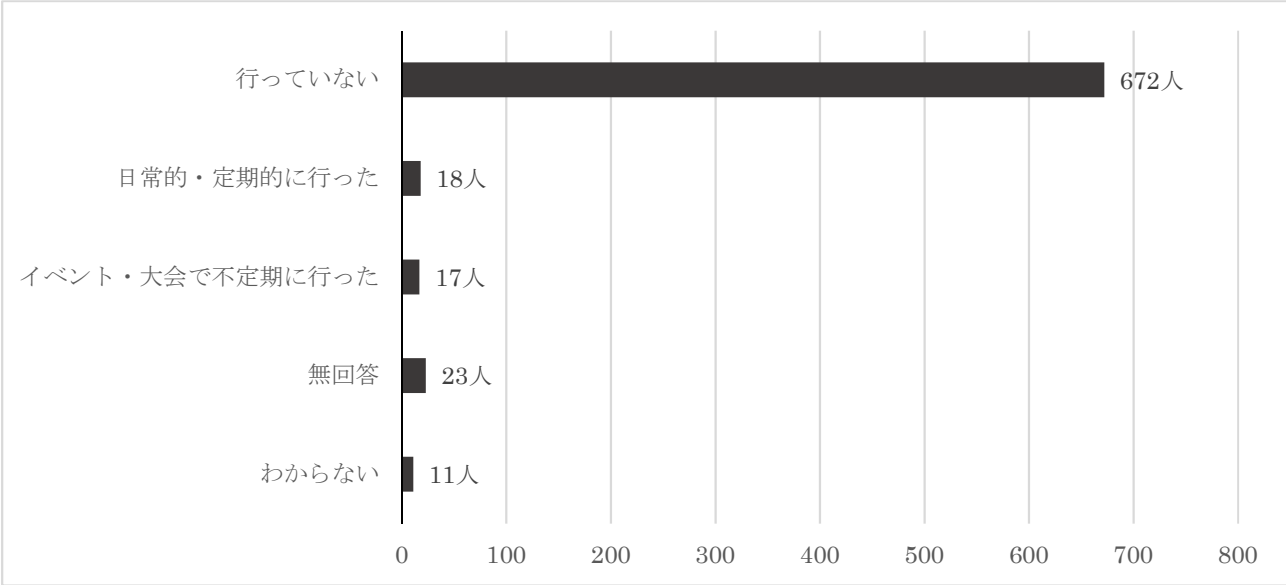
③あなたが、今後参加してみたいと思う健康や運動、スポーツに関する催しは、どのようなものですか？

《2つまで選択》

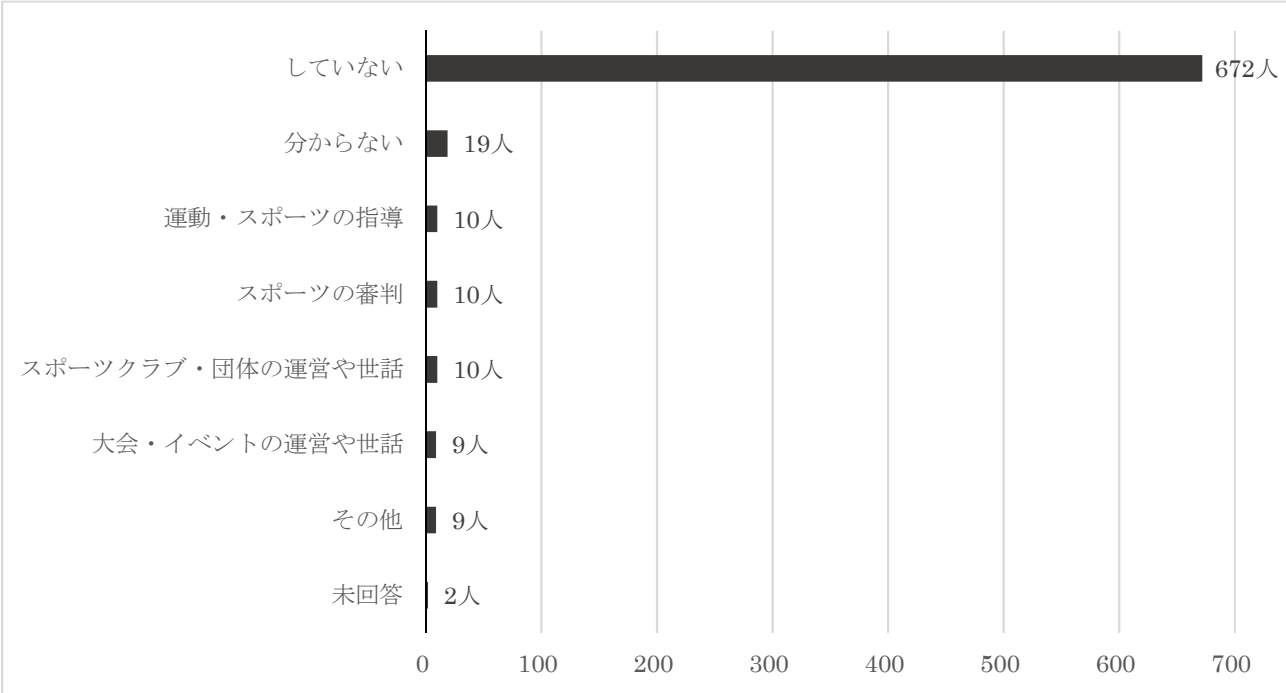


□前回の「健康・体力づくり教室・講習会」と同様に健康・体力づくりに関する回答が多い。

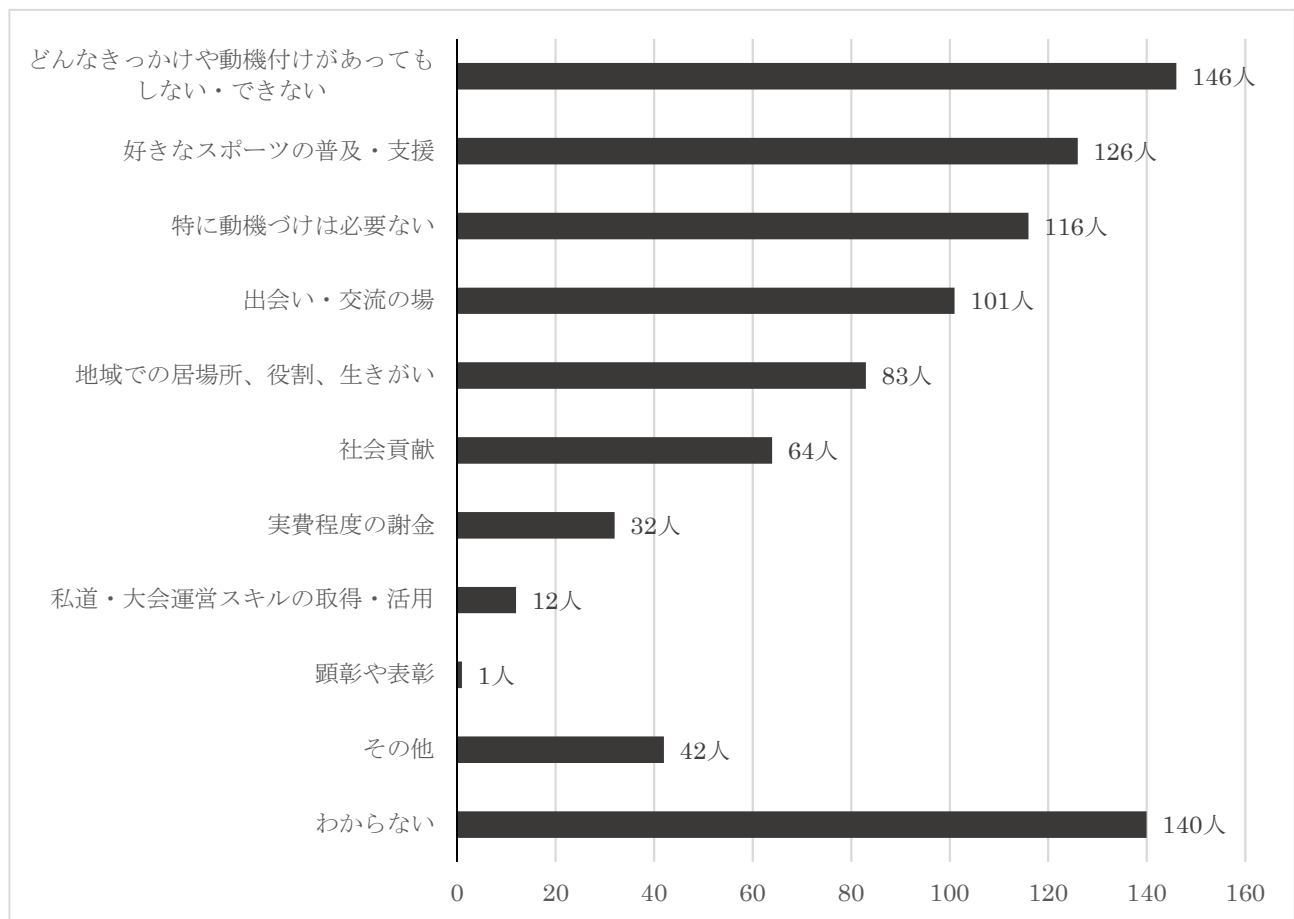
問9①あなたは、この1年間でスポーツの指導やスポーツ大会の運営、スポーツクラブなどのお手伝いなど運動・スポーツに関するボランティア活動を行いましたか？
《1つ選択》



②そのボランティア活動は具体的にどのような内容ですか？
《1つ選択》



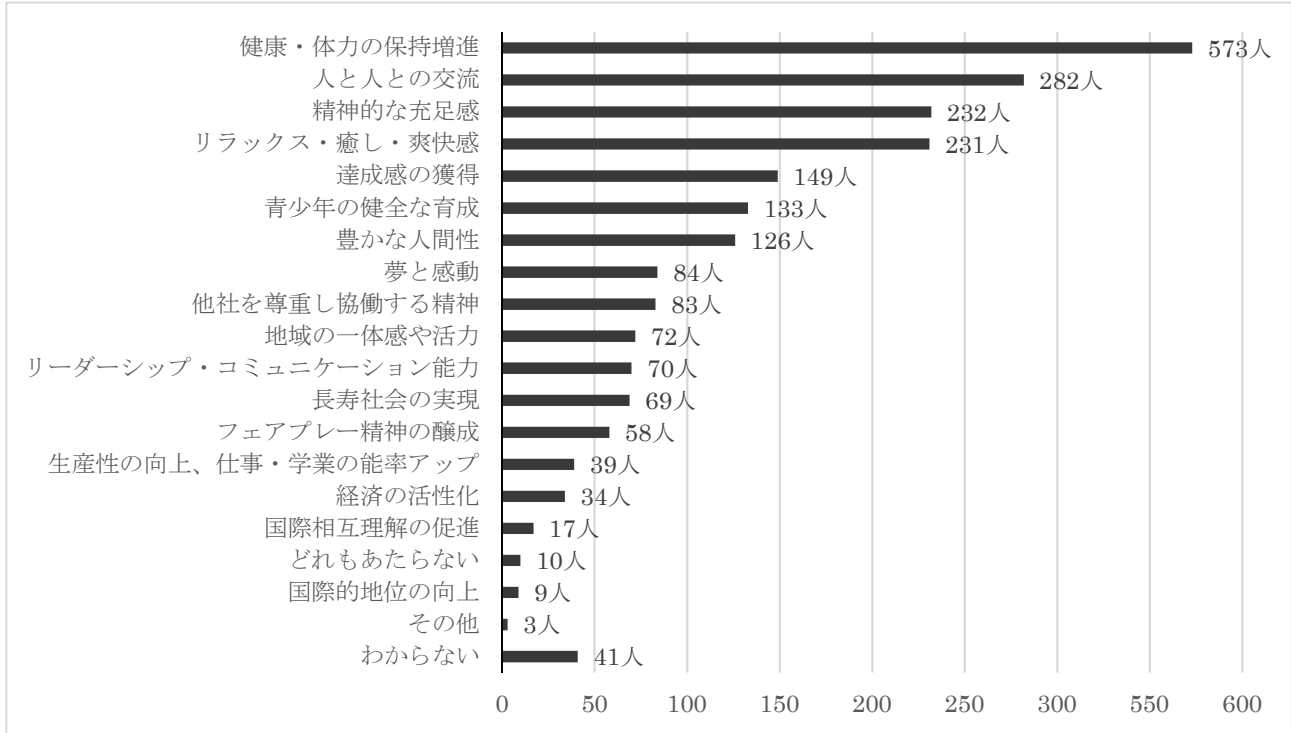
③あなたはどのようなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか？



□運動・スポーツに関するボランティア活動を行っている人の割合は非常に低いことから、今後、スポーツ団体・協会等の活動に携わる人材が不足することが懸念される。

問10①あなたは、スポーツが個人や社会にもたらす効果について当てはまると思うものはどれですか？

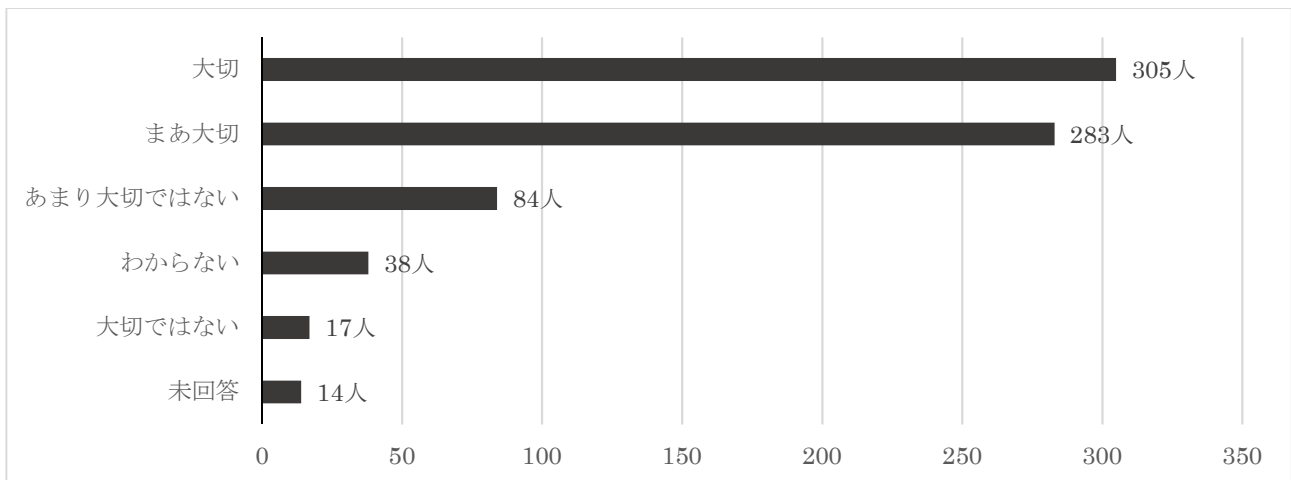
《複数選択》



□「健康・体力の保持増進」が最も高く、次いで「人と人との交流」、「精神的な充足感」、「リラックス～爽快感」と続き、スポーツは身体面だけでなく精神面においても健康に効果をもたらすと認識している人が多い。

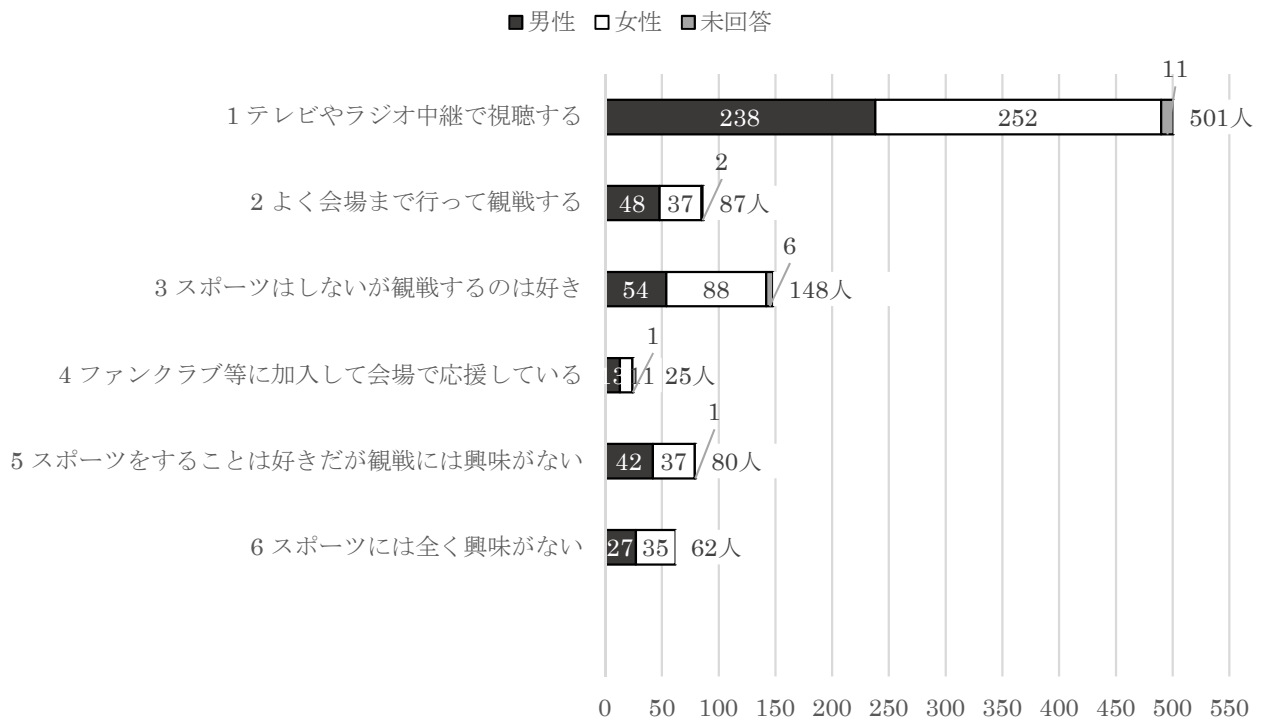
②あなたにとって運動・スポーツは大切なものですか？

《1つ選択》



□「大切」、「まあ大切」の回答率が全体の約8割であり、多くの方はスポーツは大切であると考えている。

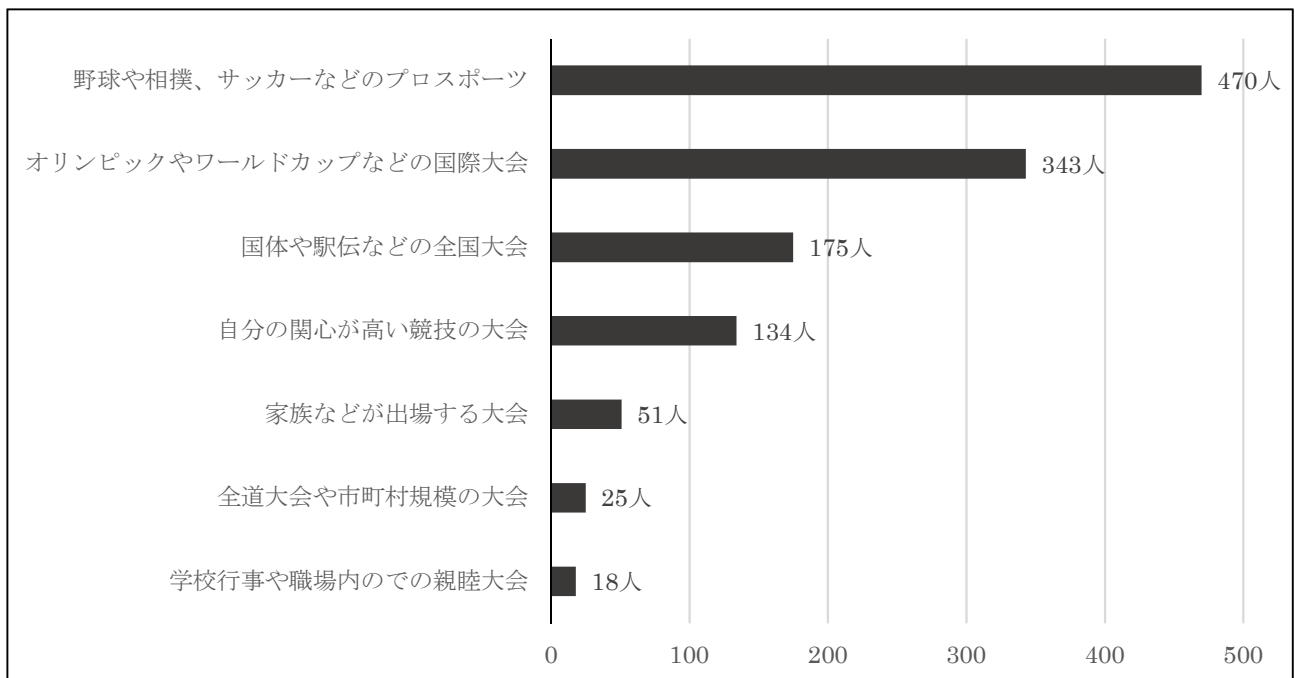
問11①あなたは、スポーツ観戦に関心がありますか？《複数選択》



②【問11①で1から4を選んだ方にお聞きします。】

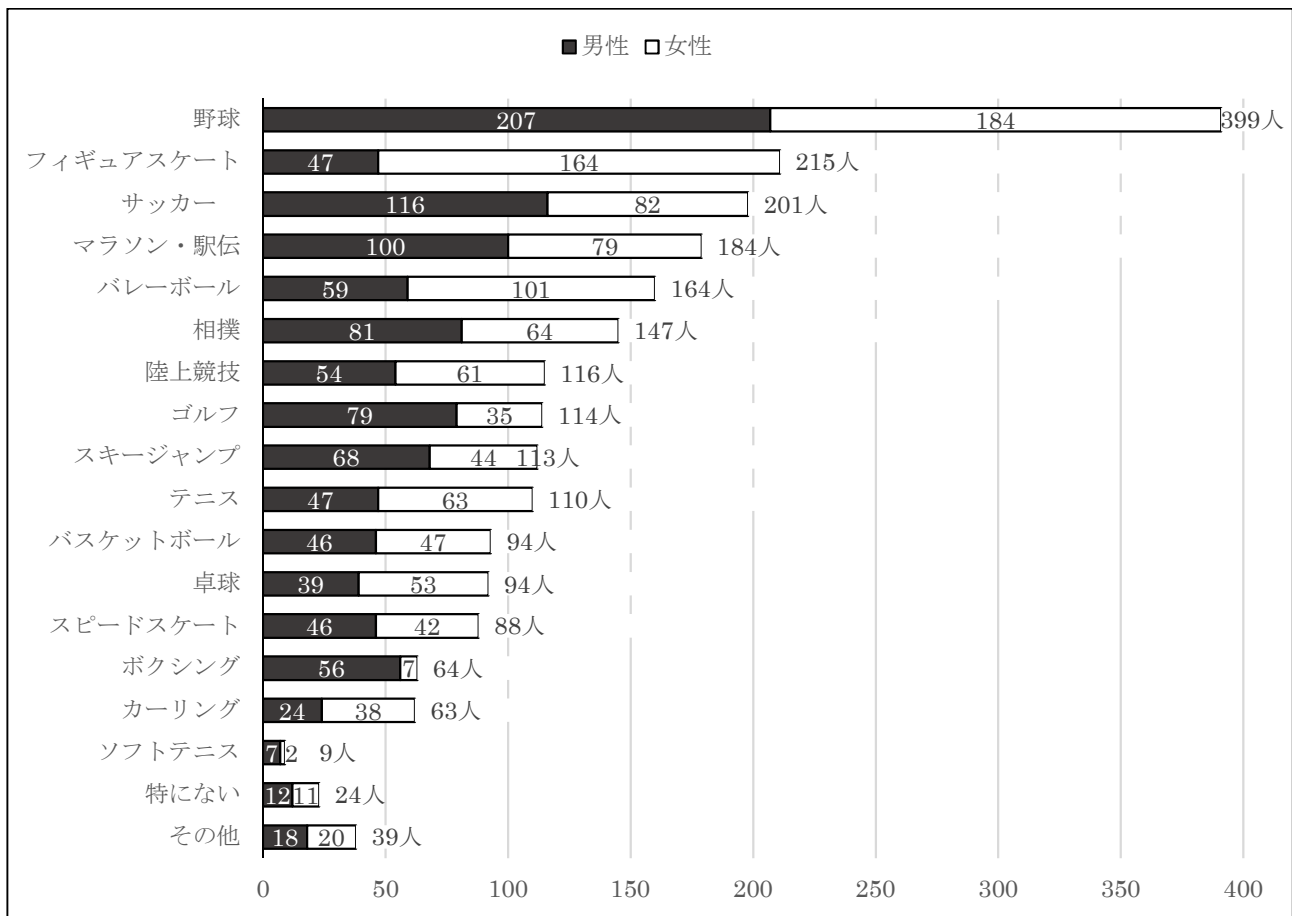
あなたは、どのようなスポーツの観戦をしていますか？

《複数選択》



□問11①の設問では、「テレビやラジオ中継で視聴する」が最も割合が高く、問11②の設問では「野球や相撲～プロスポーツ」の割合が最も高かった。前回同様、北海道にフランチャイズを持つプロスポーツの応援などが影響しているものと考えられる。

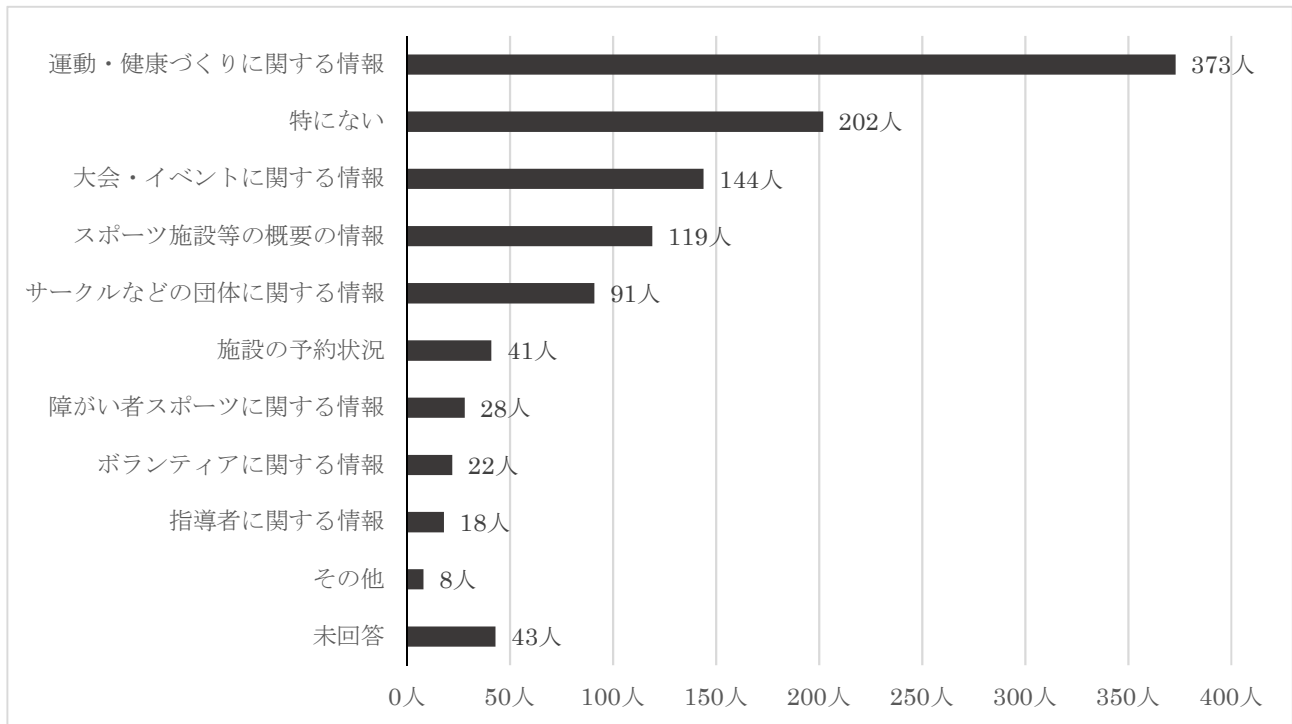
③あなたが観戦した、または観戦したい種目は、どのようなものですか？
《複数選択》



- もっとも回答の多かった種目は野球で、男女ほぼ同数であり、日本ハムファイターズや高校野球の影響もあると考える。
- 次いでフィギュアスケート・サッカー・マラソン、駅伝・バレーボールと続き、ここまで前回調査と順位の変動がなかった。フィギュアスケート、バレーボールは女性が、サッカー、マラソンは男性の割合が高かった。
- 「その他」の中で、前回調査では回答者がいなかったラグビーの回答が目立った。日本でワールドカップが開催され注目されたことが要因と考えられる。
- 男女別の高回答種目
 - 男性…野球，サッカー，マラソン・駅伝，相撲
 - 女性…野球，フィギュアスケート，バレーボール，サッカー

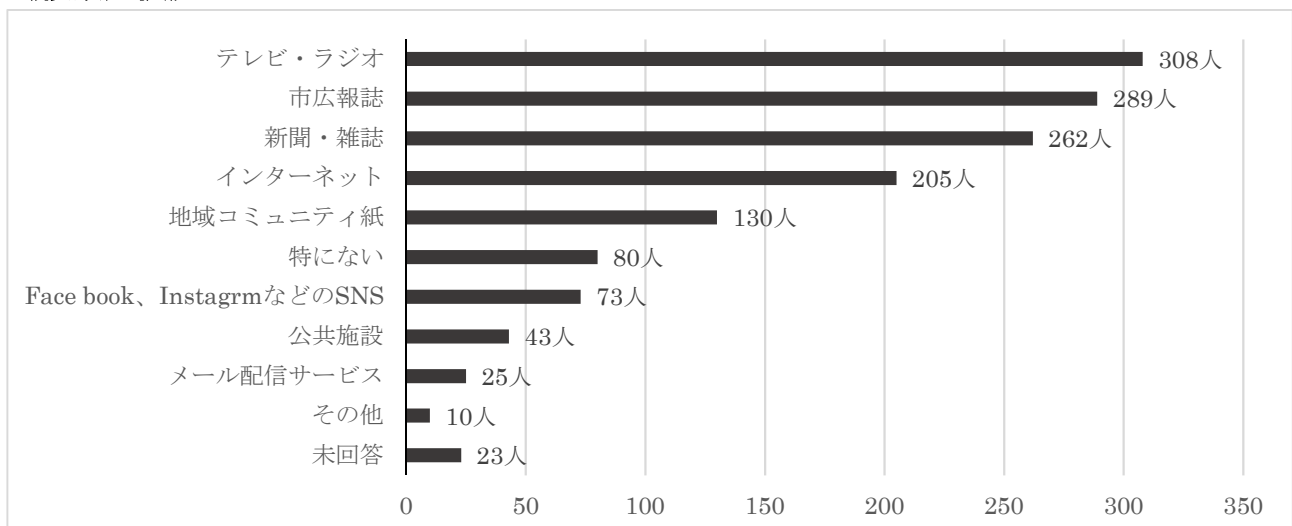
問12①あなたの知り合い健康や運動、スポーツに関する情報とは、どのようなものですか？

《複数選択》



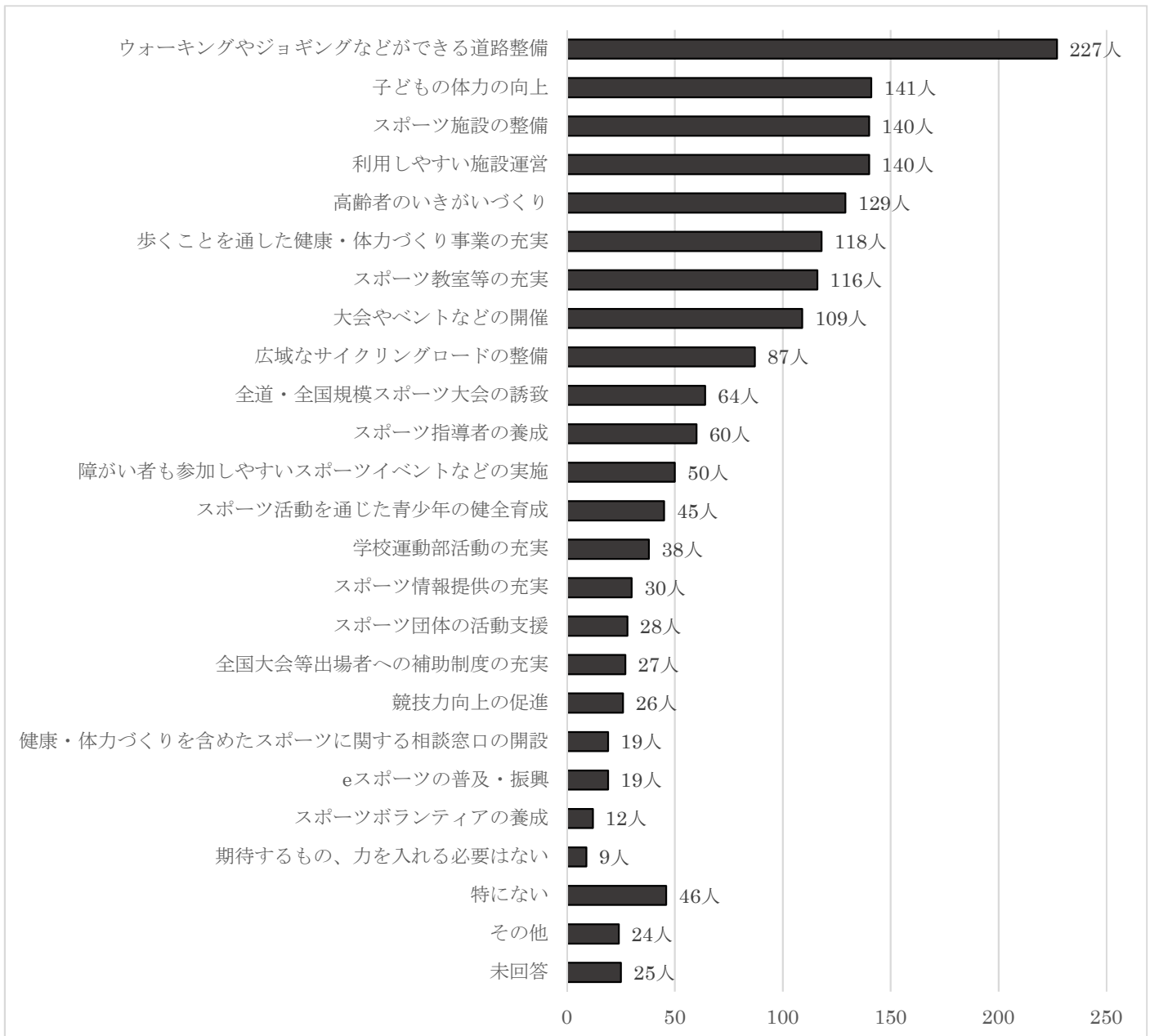
問②あなたは、健康や運動、スポーツに関する情報をどこから入手しますか？また、どこから入手したいと思いますか？

《複数選択》



- 「運動・健康づくりに関する情報」を回答した年代は多い順に60・70・50代、男性では70・60・80代以上、女性では60・50・40代であった。
- 「Face book～などのSNS」は全体の順位は高くないものの、40代以下の回答率が高く、インターネットの回答率も各年代が前回より高くなっている。このことから今後更に、インターネット・SNSが有効な情報媒体になると考えられる。

問13 あなたは、今後の恵庭市が、夢と健康を育むスポーツ都市として発展していくためには、どのようなことに取り組むべきとお考えですか？《3つまで選択》



- 最も多かったのは「ウォーキングや…ができる道路整備」と前回と同様であり、60代の回答が最も多く、次いで70・50代となっている。
- 「子どもの体力の向上」が前回から回答率が高くなったが、子供の運動不足、体力の低下が近年問題視されていることが影響していると考えられる。30代以上の年代の人からの回答率が高かったことから、子育て世代からの意見が多いと考える。
- 「eスポーツの普及・振興」は40代以下の回答率が高く、前問の問12②の「Face book～SNS」と回答した世代と同様の傾向となった。

○恵庭市スポーツ振興まちづくり条例

平成26年11月28日

条例第29号

スポーツは、人々に夢や希望、感動、勇気を与える文化です。

また、花・水・緑のまち恵庭に暮らす市民がスポーツに親しむことは、健康の維持及び増進並びに地域コミュニティづくりなど、多様な効果を生み出します。

これらを踏まえ、恵庭市は、誰もが生涯にわたって健康で元気に暮らせる「夢と健康を育むスポーツ都市」の実現を目指します。

そのため、市は誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境を整え、団体の垣根、世代等を超えてスポーツを振興するとともに、スポーツを活かした活力あるまちづくりを推進するため、この条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、スポーツ振興によるまちづくりを総合的に進めるための施策を明らかにすることにより、市民等の誰もが夢を抱き、生涯を明るく健康で過ごすことができる活力あるまち「えにわ」の実現に寄与することを目的とします。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ各号に定めるところによります。

- (1) 市民等 市内に居住し、通学若しくは通勤する者又は本市が推進するスポーツ振興のまちづくりに賛同し、及び協力する個人をいいます。
- (2) 市 市長及び教育委員会をいいます。
- (3) スポーツ関連団体 市内においてスポーツに関連した活動を行う法人その他の団体（国及び地方公共団体を除きます。）をいいます。
- (4) 事業者 市内において事業活動を行う者（スポーツ関連団体を除きます。）をいいます。
- (5) スポーツ振興 まちづくりの広範な分野において、市民等、スポーツ関連団体、事業者及び市が連携することにより、スポーツを通して健康で活力ある地域社会を形成することをいいます。

(6) スポーツ関連活動 スポーツをすること、観ること、応援すること若しくは学ぶこと又はこれらの活動を支援することをいいます。

(7) スポーツ財産 スポーツ関連活動を行う者、スポーツ施設その他スポーツ振興のまちづくりの推進に寄与する財産をいいます。

(市の責務)

第3条 市は、前文にある、スポーツによる「健康の維持及び増進」、「地域コミュニティづくり」、そのための「環境整備」、「世代等を超えたスポーツ振興」及び「スポーツを活かした活力あるまちづくり」という基本理念にのっとり、本市の特性に応じた施策を総合的に策定するとともに、この条例の目的が真に達成されるよう、スポーツに関する取り組みをスポーツ振興担当部に限定せず、部を横断して計画的に推進しなければなりません。

2 市は、市民等及びスポーツ関連団体が行うスポーツ関連活動に対し、当該団体と協働して適切に環境整備を行わなければなりません。

3 市は、スポーツを「する」だけのものではなく、「観たり、応援したり」といった市民等が参画しやすい環境を整備し、多世代が交流できるコミュニティづくりを支援するとともに、適切に広報を行わなければなりません。

(市民等の役割)

第4条 市民等は、一人一人ができる範囲で、スポーツ関連活動に関わることを考え、行動することで、市民等の誰もが夢を抱き、「えにわ」を元気なまちにするよう努めるものとします。

2 市民等は、幼いころから身体を動かす習慣を身につけ、生涯にわたり健康を維持できるよう努めるものとします。

3 市民等は、スポーツを「する」だけでなく、「観たり、応援したり」する等スポーツに関心を持ち、世代を超えてコミュニティに参加するよう努めるものとします。

(スポーツ関連団体の役割)

第5条 スポーツ関連団体は、心身の健康の保持増進及び安全の確保に配慮しながら、スポーツ関連活動の推進に主体的に取り組むとともに、スポーツに対する市民等の関心及び理解を深め、市民等のスポーツ活動への参加を促進するよう努めるものとします。

2 スポーツ関連団体は、他の競技団体とも協働して、スポーツ全体の魅力を発信し、「観たり、応援したり」できる環境を整えるよう努めるものとします。

(事業者の役割)

第6条 事業者は、自らがスポーツ関連活動を行いやすい環境の整備に努めるとともに、地域社会の一員として自主的なスポーツ活動の実施及び支援を行うことにより、スポーツ振興及び地域の活性化を促進するよう努めるものとします。

(議員の責務)

第7条 議員は、市民等が生涯にわたり健康でいられるよう、その実現に向け、一人一人が日ごろから研さんするとともに、気軽にスポーツに親しむことができる環境を整えるため積極的に提案しなければなりません。

(生涯スポーツの推進)

第8条 市は、市民等が生涯にわたり、体力、年齢、技術等に応じたスポーツを継続的に親しむことができるよう、スポーツに参加する機会及びスポーツに関する情報の提供その他必要な施策を講ずるものとします。

(地域の活性化の推進)

第9条 市は、地域において世代を超えた人々の交流が促進され、地域の活性化及び人々の連帯感並びに協働意識の向上を図るため、地域のスポーツ関連活動への支援その他必要な施策を講ずるものとします。

(子どもの体力向上及びスポーツ関連活動の充実)

第10条 市は、次代を担う子どもの心身の健全な発達及び体力の向上を図るため、市民等、スポーツ関連団体及び事業者との連携等の必要な施策を講ずるものとします。

(障がい者スポーツの促進)

第11条 市は、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツ活動に安心して参加できるよう、スポーツに参加する機会の提供その他障がい者のスポーツ活動を促進するために必要な施策を講ずるものとします。

(スポーツ施設の整備)

第12条 市は、本市のスポーツ施設を整備するため、必要な措置を講ずるものとします。

(スポーツ財産の活用)

第13条 市は、本市のスポーツ財産の効果的及び効率的な活用を図るものとします。

(スポーツ選手の育成)

第14条 市は、スポーツの競技力の向上を図るため、スポーツ関連団体と連携して、選手を育成するため必要な措置を講ずるものとします。

(指導者の養成)

第15条 市は、地域におけるスポーツの指導の充実及び事故の防止を図るため、指導者の養成、その資質を向上させる講習会等の開催その他必要な施策を講ずるものとします。

(審議会)

第16条 市は、スポーツ関連活動に関する計画や施策に関する検証及び評価を行うため、恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会（以下「審議会」といいます。）を設置するものとします。

(取り組みの検証及び評価)

第17条 市は、審議会、市民等及びスポーツ関連団体の意見を聴取して、この条例の目的に基づく取り組みの達成状況、実施効果等を検証及び評価し、これを公表するものとします。

(補則)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に定めます。

附 則

この条例は、公布の日から施行します。

恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会委員名簿

資料5

(任期：令和2年11月30日～令和4年11月29日)

No.	所属団体名	団体内役職等	氏 名	備 考
1	NPO法人 恵庭市体育協会	副会長	末 田 健 丸	
2	恵庭市スポーツ少年団本部	スポーツ少年団本部 副本部長	石 山 豊	会 長
3	恵庭市 スポーツ推進委員 協議会	会 長	阿 部 信 行	
4	恵庭市 老人クラブ連合会	副会長 ・保健体育部会長	峯 垣 伊 佐 美	副会長
5	北海道ハイテクA Cアカデミー	クラブマネージャー	猪 口 実乃里	
6	えにわフットパス 愛好会	事務局長	加 藤 素 己	
7	北海道文教大学	人間科学部 こども発達学科 准教授	平 岡 英 樹	
8	恵庭市校長会	事務局長	前 川 豊 志	



恵庭市運動・スポーツ推進計画

～健康・スポーツ コミュニティ えにわ～

発行：恵庭市保健福祉部健康スポーツ課
